

地域福祉に関するアンケート調査結果報告書

平成 30 年 3 月
西東京市

<この資料は、西東京市より提供されたものです。>

目次

I 調査概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	2
5. 標本誤差	2
II 市民調査結果	3
1. あなたのことについて	3
2. 近所づきあいや地域での暮らしについて	11
3. 地域での活動について	26
4. 福祉について	37
5. 「ほっとネット」について	57
6. 今後について	60
III 民生委員・児童委員調査結果	67
1. 活動について	67
2. 地域について	70
3. 福祉について	74
4. 「ほっとネット」について	79
5. 今後について	81
■経年比較	85
1. 一般市民	85
2. 民生委員・児童委員	93
■自由意見	98
1. 市民調査自由意見抜粋	98

I 調査概要

1. 調査の目的

本調査は、計画の改定にあたり、市民の方の近所付き合いやボランティア活動、地域福祉活動等に関する状況や要望を把握するため実施しました。

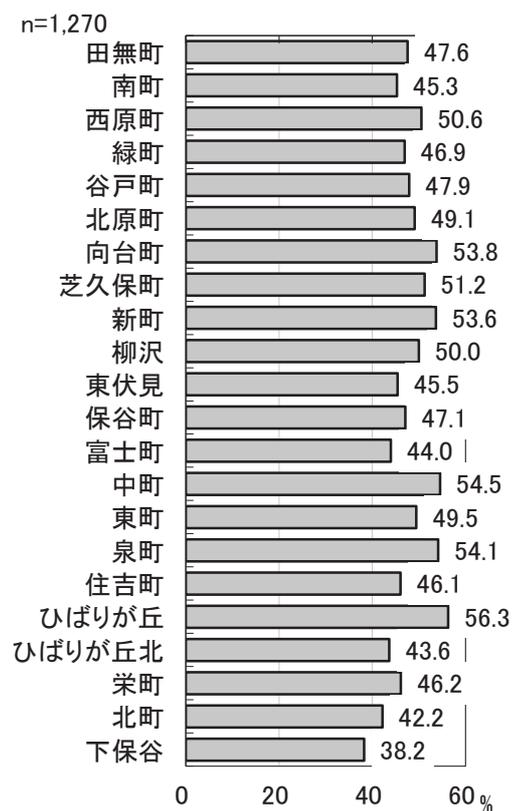
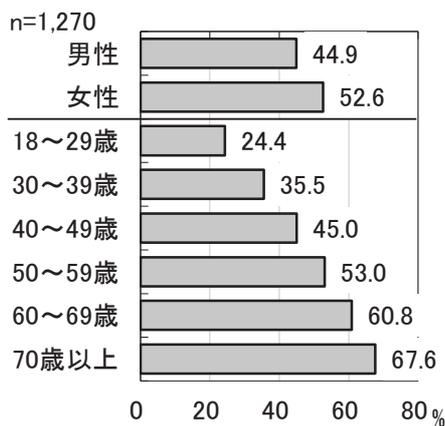
2. 調査設計

種類	①一般市民	②民生委員・児童委員
対象	市内在住の18歳以上市民より 無作為抽出	全民生委員・児童委員
配布回収	郵送配布、郵送回収	民生委員・児童委員会議にて 配布、郵送回収
調査期間	11月6日～11月27日	

3. 回収結果

種類	①一般市民	②民生委員・児童委員	計
配布	2,500件	140件	2,640件
回収	1,270件	137件	1,407件
回収率	50.8%	97.8%	53.3%

※配布数に対する回収率



4. 報告書の見方

- 図表の「n (number of case)」は、質問項目に対する回答者数を表しています。
- 回答比率は百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出するため、合計が100.0%にならない場合があります。
- 質問項目に(○は3つ)などがある場合は、1人の回答者が複数の選択肢に回答することができる質問であるため、すべての回答比率を合計すると100.0%を超えます。
- クロス集計の表やグラフでは分析軸となる設問に「無回答」がある場合は表示しておらず、分析軸のn(回答者数)の合計が全体の合計と一致しない場合があります。

5. 標本誤差

本調査は、調査対象となる母集団(全市民)から一部の方を抽出して実施した調査(標本調査)であるため、元となる母集団(全市民)に対して若干の誤差が生じています。

この誤差は、選択肢の回答割合ごとに異なるもので、詳細は下記の図のとおりとなります。見方としては、「全体」のグラフで、一つの選択肢に対し、回答が「50%前後」であった場合、その回答の母集団に対する誤差の範囲は最高で「±2.74%」であるとみます。一般的にこの誤差が概ね±3%程度であれば調査としての信用性が有るといわれています。

そのため、全体の結果及び男女別の結果については信頼性のある数値となっていますが、年代別に見た場合には、最大で18~29歳の±10.09%の誤差が生じる可能性があるため、結果を見る際には注意が必要です。

	回収数	99%または1%前後	90%または10%前後	80%または20%前後	70%または30%前後	60%または40%前後	50%前後
全体	1,270	0.55%	1.64%	2.19%	2.51%	2.68%	2.74%
男性	551	0.83%	2.50%	3.33%	3.81%	4.08%	4.16%
女性	670	0.75%	2.26%	3.02%	3.46%	3.70%	3.77%
18~29歳	94	2.01%	6.05%	8.07%	9.25%	9.89%	10.09%
30~39歳	129	1.71%	5.16%	6.89%	7.89%	8.43%	8.61%
40~49歳	209	1.34%	4.05%	5.41%	6.19%	6.62%	6.76%
50~59歳	209	1.34%	4.05%	5.40%	6.19%	6.62%	6.75%
60~69歳	205	1.36%	4.09%	5.45%	6.25%	6.68%	6.82%
70~74歳	125	1.73%	5.23%	6.97%	7.98%	8.53%	8.71%
75~79歳	109	1.86%	5.60%	7.46%	8.55%	9.14%	9.33%
80歳以上	142	1.63%	4.91%	6.55%	7.50%	8.02%	8.19%

Ⅱ 市民調査結果

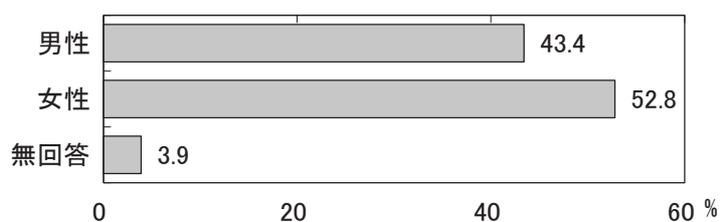
1. あなたのことについて

問1 あなたの性別をお教えてください。(○は1つ)

性別は、「女性」が52.8%と、「男性」の43.4%を上回っています。

年齢別にみると、70～79歳では、「男性」が5割台前半と、女性を上回っています。

n=1,270



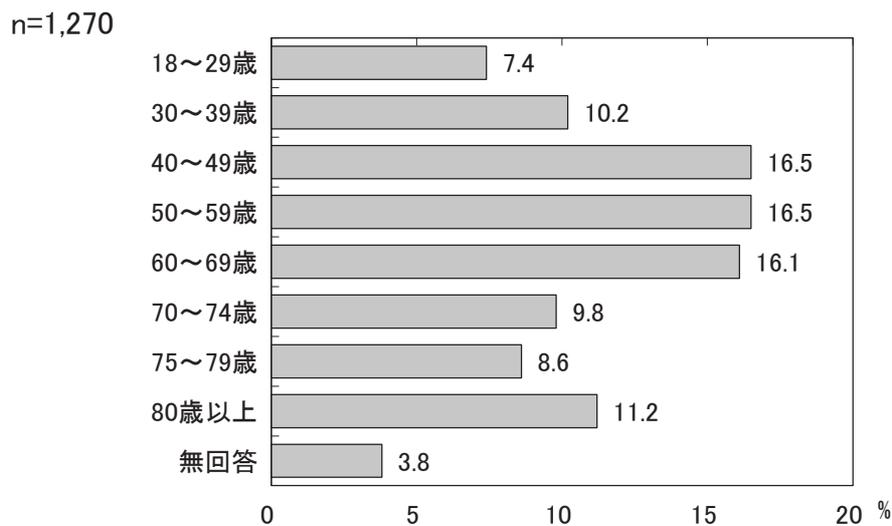
	n	男性	女性	無回答
18～29歳	94	46.8	53.2	0.0
30～39歳	129	47.3	52.7	0.0
40～49歳	209	41.1	58.9	0.0
50～59歳	209	37.3	62.7	0.0
60～69歳	205	45.9	54.1	0.0
70～74歳	125	52.8	47.2	0.0
75～79歳	109	50.5	49.5	0.0
80歳以上	142	47.2	52.1	0.7

問2 あなたの年齢をお教えてください。(〇は1つ)

年齢は、「40～49歳」、「50～59歳」がともに16.5%と最も多く、次いで「60～69歳」が16.1%となっています。

性別にみると、男性は「60～69歳」が17.1%、女性は「50～59歳」が19.6%と、最も多くなっています。

圏域別にみると、中部地区では「50～59歳」、「60～69歳」がともに17.1%、西部地区では「40～49歳」、「60～69歳」がともに17.5%、北東部地区では「40～49歳」が19.9%、南部地区では「50～59歳」が17.9%と、最も多くなっています。



	n	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上	無回答
男性	551	8.0	11.1	15.6	14.2	17.1	12.0	10.0	12.2	0.0
女性	670	7.5	10.1	18.4	19.6	16.6	8.8	8.1	11.0	0.0
圏域										
中部地区	281	7.1	11.4	16.0	17.1	17.1	10.0	9.3	12.1	0.0
西部地区	332	9.6	9.6	17.5	16.6	17.5	9.3	7.8	12.0	0.0
北東部地区	271	6.3	11.1	19.9	17.0	15.1	10.7	9.2	10.7	0.0
南部地区	336	7.4	10.4	15.2	17.9	17.3	11.0	9.2	11.6	0.0

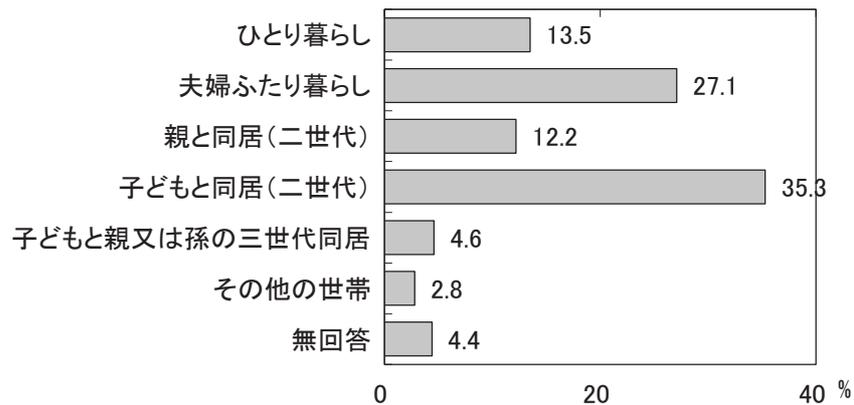
問3 あなたの世帯構成をお教えてください。(〇は1つ)

世帯構成は、「子どもと同居(二世帯)」が35.3%と最も多く、次いで「夫婦ふたり暮らし」が27.1%、「ひとり暮らし」が13.5%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～29歳では「親と同居(二世帯)」が67.0%、30～59歳では「子どもと同居(二世帯)」が4割台後半から5割台半ば、60歳以上では「夫婦ふたり暮らし」が3割台後半から4割台後半と、最も多くなっています。また、「ひとり暮らし」については60歳以上で2割前後で多くなっています。

n=1,270



	n	ひとり暮らし	夫婦ふたり暮らし	親と同居(二世帯)	子どもと同居(二世帯)	子どもと親又は孫の三世帯同居	その他の世帯	無回答
男性	551	11.8	33.0	14.5	33.6	4.2	2.2	0.7
女性	670	16.0	24.0	11.2	39.3	5.4	3.6	0.6
18～29歳	94	3.2	4.3	67.0	12.8	6.4	6.4	0.0
30～39歳	129	4.7	11.6	20.9	55.0	3.9	3.1	0.8
40～49歳	209	9.6	16.3	10.5	54.5	5.7	1.4	1.9
50～59歳	209	12.9	18.7	12.9	48.8	4.8	1.9	0.0
60～69歳	205	19.5	37.1	5.9	28.3	6.3	2.4	0.5
70～74歳	125	18.4	46.4	2.4	22.4	4.0	5.6	0.8
75～79歳	109	18.3	49.5	0.9	25.7	2.8	2.8	0.0
80歳以上	142	23.2	45.1	0.0	24.6	3.5	2.8	0.7
圏域								
中部地区	281	14.9	26.3	13.9	37.4	3.9	2.8	0.7
西部地区	332	12.7	29.8	13.9	38.0	3.9	1.5	0.3
北東部地区	271	15.1	26.2	10.3	36.2	6.3	4.8	1.1
南部地区	336	14.0	29.8	12.5	35.1	5.4	3.0	0.3

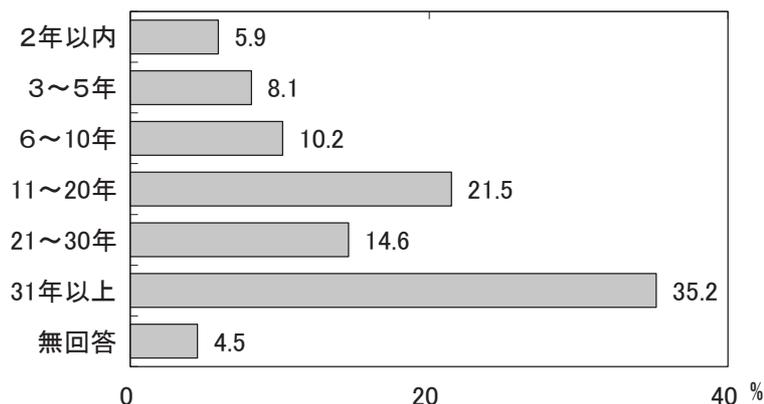
問4 あなたご自身は、西東京市に住むようになってから何年になりますか。(〇は1つ)

西東京市の居住年数については、「31年以上」が35.2%と最も多く、次いで「11～20年」が21.5%、「21～30年」が14.6%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～29歳、40～59歳では「11～20年」が3割台半ば、30～39歳では「3～5年」が20.9%、60歳以上では「31年以上」が4割台前半から7割台前半と、最も多くなっています。

n=1,270

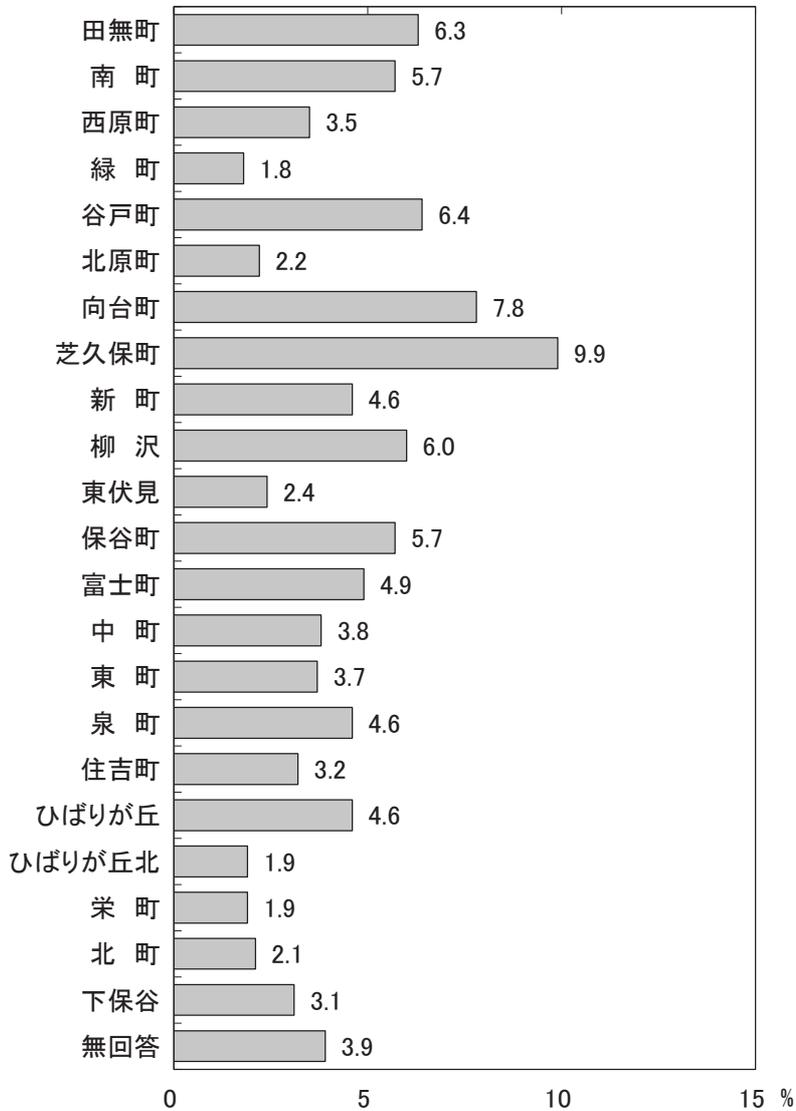


	n	2年以内	3～5年	6～10年	11～20年	21～30年	31年以上	無回答
男性	551	6.2	7.8	10.2	21.8	13.2	39.7	1.1
女性	670	6.1	9.0	10.9	22.8	16.9	33.9	0.4
18～29歳	94	17.0	10.6	12.8	36.2	23.4	0.0	0.0
30～39歳	129	17.1	20.9	18.6	11.6	10.9	19.4	1.6
40～49歳	209	5.3	8.6	21.1	35.9	9.1	19.6	0.5
50～59歳	209	2.9	8.6	9.1	34.9	15.8	28.2	0.5
60～69歳	205	5.4	8.8	6.8	16.1	21.5	41.5	0.0
70～74歳	125	4.8	4.8	5.6	12.0	14.4	56.8	1.6
75～79歳	109	1.8	1.8	2.8	10.1	22.9	59.6	0.9
80歳以上	142	0.7	2.8	4.2	12.0	7.7	71.1	1.4
圏域								
中部地区	281	3.9	9.6	11.7	14.9	14.9	44.5	0.4
西部地区	332	6.6	8.7	10.5	27.7	12.7	32.5	1.2
北東部地区	271	8.9	7.4	11.1	18.8	14.8	38.7	0.4
南部地区	336	5.4	8.0	9.2	25.9	18.5	32.1	0.9

問5 あなたは、現在どの地区にお住まいですか。(〇は1つ)

居住地区については、「芝久保町」が9.9%と最も多く、次いで「向台町」が7.8%、「谷戸町」が6.4%となっています。

n=1,270



問6 あなたのお住まいの形態は、次のどれですか。(〇は1つ)

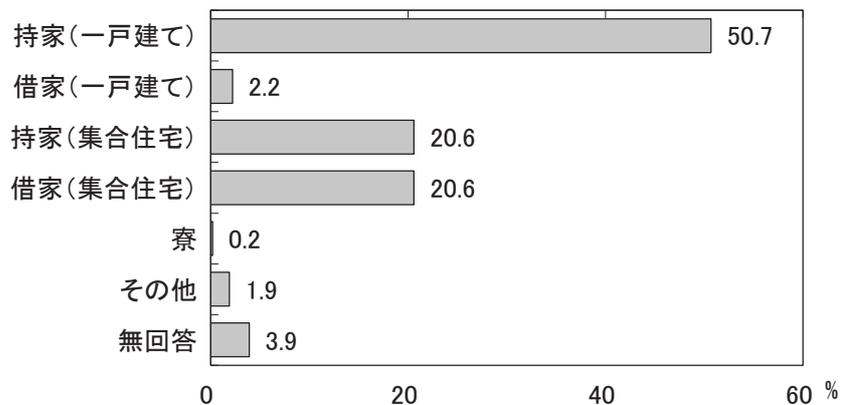
住まいの形態については、「持家（一戸建て）」が50.7%と最も多く、次いで「持家（集合住宅）」、「借家（集合住宅）」がともに20.6%となっています。

性別にみても、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、いずれの年代も「持家（一戸建て）」が多いほか、40～74歳で「持家（集合住宅）」が2割台前半から2割台半ば、18～39歳で「借家（集合住宅）」が2割台後半から3割台前半と、他の年代に比べてやや多くなっています。

圏域別にみると、中部地区・西部地区では「持家（集合住宅）」が2～3割と多くなっています。

n=1,270



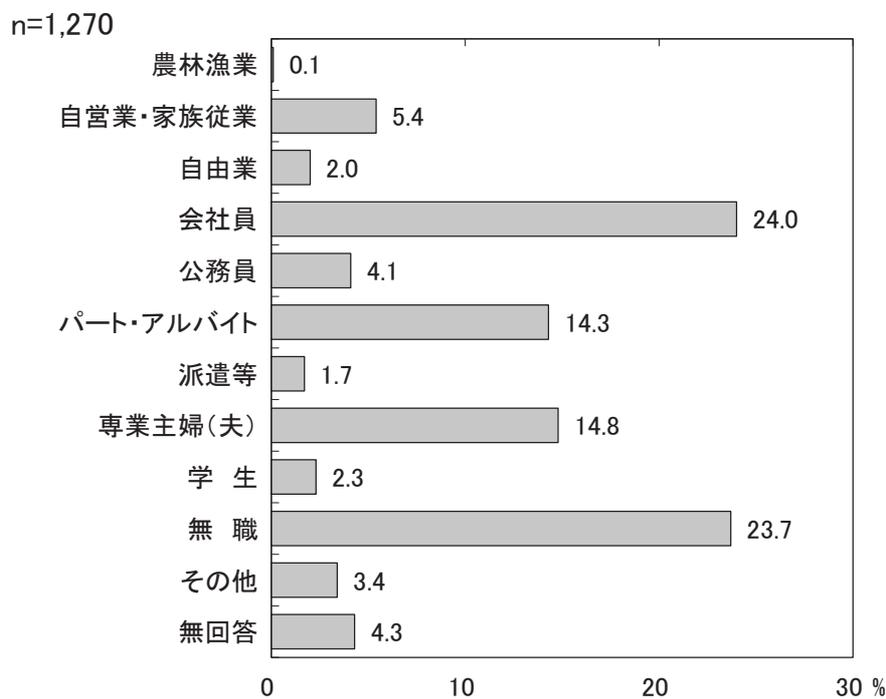
	n	持家(一戸建て)	借家(一戸建て)	持家(集合住宅)	借家(集合住宅)	寮	その他	無回答
男性	551	53.2	2.4	20.1	21.8	0.2	2.2	0.2
女性	670	52.2	2.2	22.4	21.0	0.1	1.8	0.1
18～29歳	94	50.0	1.1	18.1	29.8	1.1	0.0	0.0
30～39歳	129	40.3	4.7	17.1	33.3	0.8	3.1	0.8
40～49歳	209	47.8	2.9	26.3	22.5	0.0	0.0	0.5
50～59歳	209	51.2	2.9	26.3	18.7	0.0	1.0	0.0
60～69歳	205	55.6	0.5	21.5	19.0	0.0	3.4	0.0
70～74歳	125	52.0	1.6	21.6	23.2	0.0	1.6	0.0
75～79歳	109	62.4	2.8	16.5	13.8	0.0	4.6	0.0
80歳以上	142	64.1	2.1	16.2	14.8	0.0	2.8	0.0
圏域								
中部地区	281	54.1	1.1	23.8	18.1	0.0	2.5	0.4
西部地区	332	40.1	3.0	32.8	22.9	0.0	1.2	0.0
北東部地区	271	59.4	3.7	11.8	21.8	0.7	2.6	0.0
南部地区	336	58.6	1.5	15.8	22.3	0.0	1.8	0.0

問7 あなたの職業は、次のどれですか。(〇は1つ)

職業は、「会社員」が24.0%と最も多く、次いで「無職」が23.7%、「専業主婦(夫)」が14.8%となっています。

性別にみると、男性では「会社員」が37.7%、女性では「専業主婦(夫)」が28.1%と、最も多くなっています。また、男性では「無職」が31.0%と女性に比べて多く、女性では「パート・アルバイト」が22.8%と男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、18～59歳では「会社員」が3割台前半から5割台前半、60歳以上では「無職」が2割台半ばから7割台半ばと、最も多くなっています。また、40～59歳では「パート・アルバイト」、60～79歳では「専業主婦(夫)」が、2割を超えてやや多くなっています。



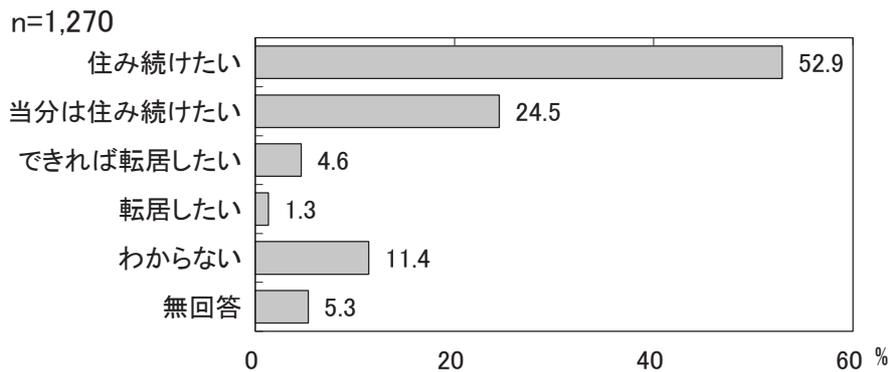
	n	農林漁業	自営業・家族従業	自由業	会社員	公務員	パート・アルバイト	派遣等	専業主婦(夫)	学生	無職	その他	無回答
男性	551	0.2	8.9	3.3	37.7	5.8	5.1	0.9	0.0	3.1	31.0	3.3	0.7
女性	670	0.0	2.8	1.0	14.5	3.0	22.8	2.5	28.1	1.8	19.3	3.7	0.4
18～29歳	94	0.0	0.0	0.0	43.6	6.4	11.7	2.1	1.1	30.9	2.1	2.1	0.0
30～39歳	129	0.0	3.1	1.6	51.9	6.2	16.3	3.1	13.2	0.0	1.6	2.3	0.8
40～49歳	209	0.0	6.7	1.9	39.2	7.7	20.1	2.9	14.8	0.0	3.3	2.9	0.5
50～59歳	209	0.0	7.7	1.9	30.1	6.2	23.4	4.8	14.4	0.0	7.7	2.9	1.0
60～69歳	205	0.0	2.4	2.4	20.0	3.9	18.5	0.0	20.0	0.0	25.4	7.3	0.0
70～74歳	125	0.0	8.0	2.4	6.4	0.0	8.8	0.0	21.6	0.0	48.8	3.2	0.8
75～79歳	109	0.9	11.0	3.7	1.8	0.9	7.3	0.0	20.2	0.0	50.5	2.8	0.9
80歳以上	142	0.0	4.9	2.1	0.7	0.0	0.7	0.0	13.4	0.0	74.6	2.8	0.7

問8 あなたは、これからも西東京市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

これからも西東京市に住み続けたいと思うかについては、「住み続けたい」が52.9%と最も多く、次いで「当分は住み続けたい」が24.5%、「わからない」が11.4%となっています。また、「住み続けたい」と「当分は住み続けたい」を合わせた、「住み続けたい」は77.4%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、全ての年代で「住み続けたい」が最も多くなっていますが、18～29歳では37.2%、80歳以上では76.1%と、年代が上がるにつれ概ね多くなっています。



	n	住み続けたい	当分は住み続けたい	できれば転居したい	転居したい	わからない	無回答
男性	551	53.9	25.8	2.9	1.3	10.0	6.2
女性	670	52.5	23.4	5.7	1.3	12.8	4.2
18～29歳	94	37.2	27.7	7.4	4.3	18.1	5.3
30～39歳	129	47.3	26.4	6.2	3.1	13.2	3.9
40～49歳	209	45.5	29.2	4.8	1.0	13.4	6.2
50～59歳	209	45.0	33.0	5.3	0.0	14.8	1.9
60～69歳	205	52.7	24.9	4.4	2.0	10.2	5.9
70～74歳	125	61.6	20.8	1.6	0.8	7.2	8.0
75～79歳	109	65.1	17.4	4.6	0.0	9.2	3.7
80歳以上	142	76.1	9.9	1.4	0.7	5.6	6.3
圏域							
中部地区	281	47.0	25.3	5.3	1.1	13.9	7.5
西部地区	332	55.1	23.5	5.7	0.9	10.5	4.2
北東部地区	271	52.8	28.4	3.3	2.2	8.9	4.4
南部地区	336	56.5	22.0	3.3	1.2	12.5	4.5

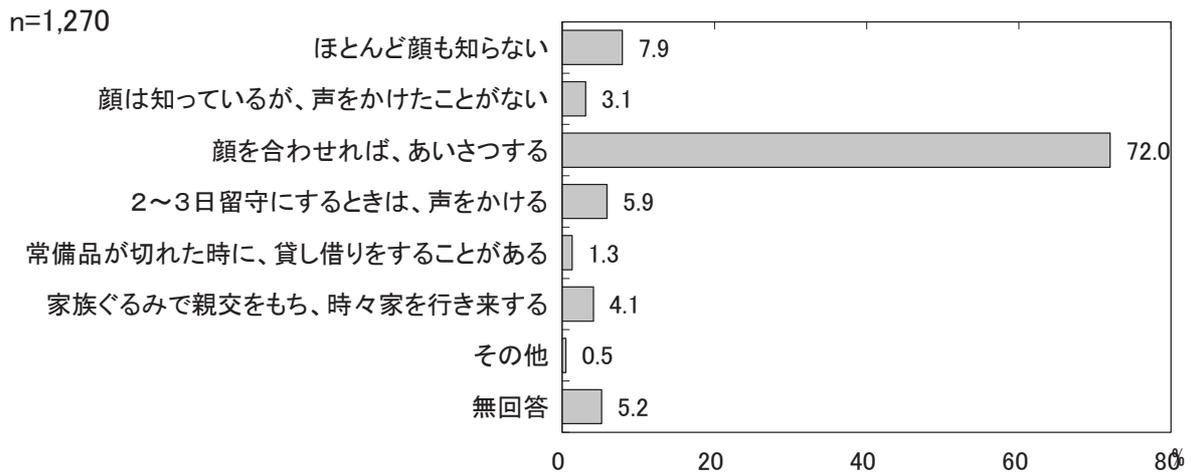
2. 近所づきあいや地域での暮らしについて

問9 あなたは、ふだん近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(〇は1つ)

ふだん近所の方とどの程度のつきあいをしているかについては、「顔を合わせれば、あいさつする」が72.0%と最も多く、次いで「ほとんど顔も知らない」が7.9%、「2～3日留守にするときは、声をかける」が5.9%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～29歳では「ほとんど顔も知らない」が21.3%と、他の年代に比べてやや多くなっています。



	n	ほとんど顔も知らない	顔は知っているが、声をかけない	顔を合わせれば、あいさつする	2～3日留守にするときは、声をかける	常備品が切れた時に、貸し借りをすることがある	家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する	その他	無回答
男性	551	8.9	4.5	72.6	4.7	0.7	2.5	0.2	5.8
女性	670	7.0	1.8	72.1	7.0	1.6	5.4	0.7	4.3
18～29歳	94	21.3	4.3	68.1	0.0	0.0	2.1	0.0	4.3
30～39歳	129	14.7	4.7	66.7	3.9	0.8	5.4	0.8	3.1
40～49歳	209	11.0	1.9	71.3	2.4	1.0	6.2	0.5	5.7
50～59歳	209	6.2	2.4	78.9	6.2	1.4	2.4	0.5	1.9
60～69歳	205	5.4	3.9	66.8	10.2	2.0	3.9	1.0	6.8
70～74歳	125	2.4	2.4	73.6	8.0	0.8	4.8	0.8	7.2
75～79歳	109	0.9	1.8	78.0	11.0	0.9	4.6	0.0	2.8
80歳以上	142	4.2	3.5	74.6	4.9	2.1	2.8	0.0	7.7
圏域									
中部地区	281	8.2	2.8	71.5	4.3	1.8	3.6	0.4	7.5
西部地区	332	7.5	2.7	73.5	4.8	1.2	5.7	0.9	3.6
北東部地区	271	8.5	3.0	72.7	7.0	1.8	2.6	0.4	4.1
南部地区	336	7.4	3.6	71.4	7.7	0.3	4.2	0.3	5.1

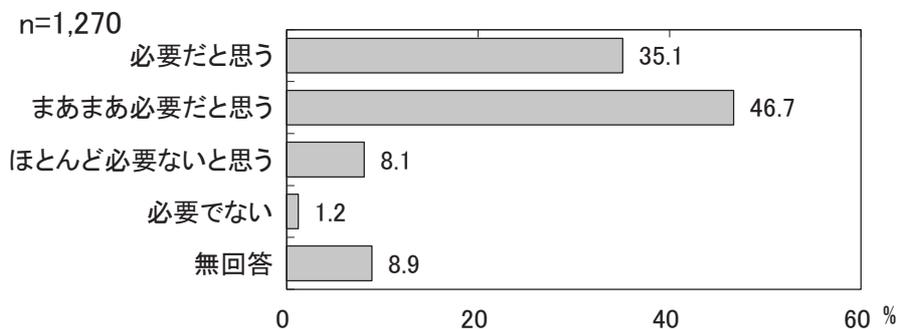
問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかわりが必要だと考えますか。(○は1つ)

地域での人とのつきあいやかわりが必要だと考えるかについては、「まあまあ必要だと思う」が46.7%と最も多く、次いで「必要だと思う」が35.1%、「ほとんど必要ないと思う」が8.1%となっています。また、「必要だと思う」と「まあまあ必要だと思う」を合わせた「必要だと思う」は81.8%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～59歳では「まあまあ必要だと思う」が5割台前半から5割台後半、60歳以上では「必要だと思う」が4割台前半から4割台後半と、最も多くなっています。

ふだんの近所の方との付き合いの程度別にみると、“ほとんど顔も知らない”“顔は知っているが、声はかけたことがない”“顔を合わせれば、あいさつする”では「まあまあ必要だと思う」が5割台前半から5割台後半、それ以外の項目では「必要だと思う」が5割から9割台半ばと、最も多くなっています。



	n	必要 だと思 う	あ ま あ 必 要 だ と 思 う	ほ と ん ど 必 要 な い と 思 う	い ま ま あ 必 要 で な い	無 回 答
男性	551	34.1	46.1	9.3	1.6	8.9
女性	670	36.6	46.9	6.9	0.9	8.8
18～29歳	94	24.5	52.1	12.8	3.2	7.4
30～39歳	129	27.1	58.9	7.8	2.3	3.9
40～49歳	209	25.8	55.5	7.7	1.0	10.0
50～59歳	209	33.5	53.6	7.2	0.5	5.3
60～69歳	205	40.5	40.0	7.8	0.0	11.7
70～74歳	125	42.4	37.6	7.2	0.8	12.0
75～79歳	109	47.7	38.5	4.6	1.8	7.3
80歳以上	142	44.4	31.7	9.9	2.1	12.0
圏域						
中部地区	281	37.4	42.0	9.3	1.4	10.0
西部地区	332	35.8	47.9	6.6	0.9	8.7
北東部地区	271	32.5	50.6	7.7	1.1	8.1
南部地区	336	36.0	45.8	8.3	1.5	8.3
問9 あなたは、ふだん近所の方との程度のつきあいをしていますか						
ほとんど顔も知らない	100	9.0	57.0	24.0	5.0	5.0
顔は知っているが、声をかけたことがない	39	30.8	53.8	10.3	2.6	2.6
顔を合わせれば、あいさつする	915	34.9	51.9	8.1	0.9	4.3
2～3日留守にするときは、声をかける	75	61.3	32.0	1.3	0.0	5.3
常備品が切れた時に、貸し借りをすることがある	17	94.1	5.9	0.0	0.0	0.0
家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する	52	73.1	26.9	0.0	0.0	0.0
その他	6	50.0	16.7	0.0	16.7	16.7

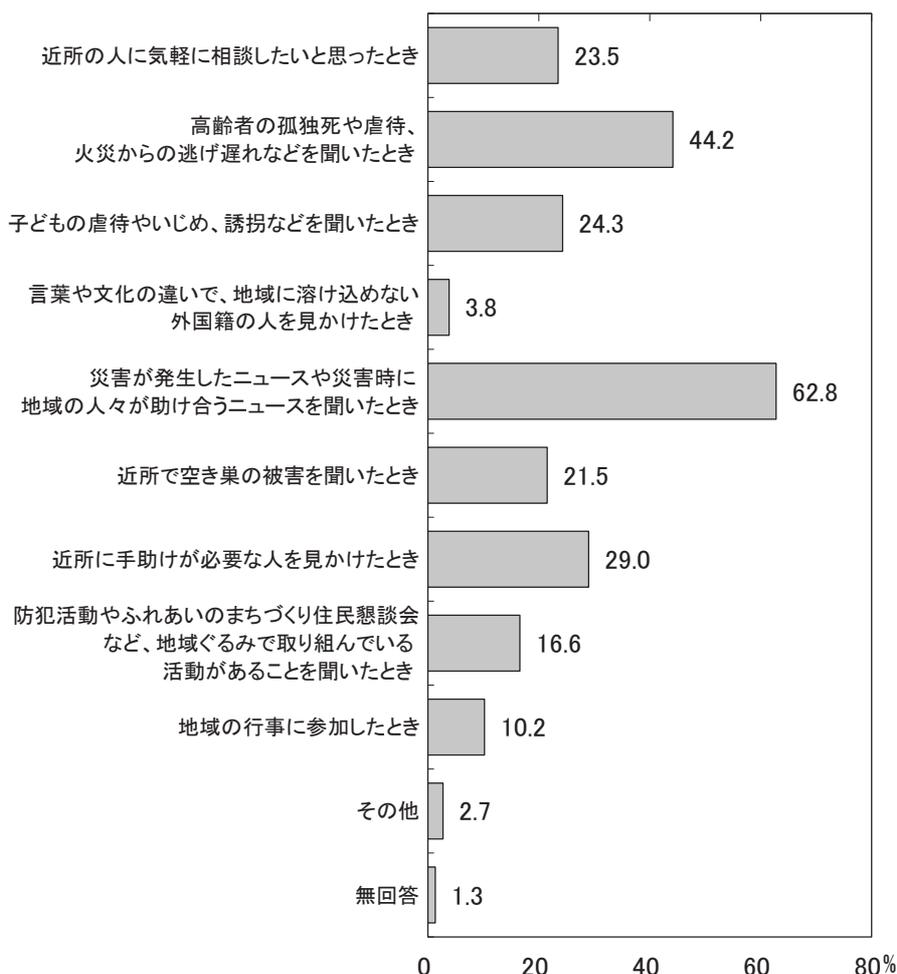
《問 10 で「1. 必要だと思う」又は「2. まあまあ必要だと思う」とお答えの方におたずねします》
 問 10-1 あなたは、どのようなときに地域とのかかわりの必要性を感じますか。(〇は3つまで)

どのようなときに地域とのかかわりの必要性を感じるかについては、「災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき」が62.8%と最も多く、次いで「高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき」が44.2%、「近所に手助けが必要な人を見かけたとき」が29.0%となっています。

性別にみると、男性では「防犯活動やふれあいのまちづくり住民懇談会など、地域ぐるみで取り組んでいる活動があることを聞いたとき」が21.7%と女性に比べて多く、女性では「高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき」が48.7%と男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、18～49歳では「子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき」が、70歳以上では「近所の人に、気軽に相談したいと思ったとき」が他の年代に比べて多くなっています。

n=1,039



	n	近所の人に気軽に相談したいと思ったとき	高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき	子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき	言葉や文化の違いで、地域に溶け込めない外国籍の人を見かけたとき	災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき	近所で空き巣の被害を聞いたとき	近所に手助けが必要な人を見かけたとき	近所にある活動があることを聞いたとき	地域で行事に参加したとき	その他	無回答
男性	442	20.8	38.5	22.4	4.5	58.4	21.9	27.8	21.7	11.8	3.8	1.6
女性	559	25.2	48.7	25.9	3.4	66.2	21.5	29.5	11.8	8.8	2.0	1.3
18～29 歳	72	20.8	51.4	31.9	6.9	50.0	8.3	27.8	11.1	11.1	1.4	2.8
30～39 歳	111	20.7	32.4	45.9	7.2	59.5	21.6	27.0	16.2	9.0	0.9	0.9
40～49 歳	170	20.6	45.3	39.4	3.5	65.9	23.5	26.5	9.4	11.8	4.1	0.6
50～59 歳	182	19.2	44.5	22.5	5.5	72.5	28.6	25.8	9.9	6.0	1.6	0.5
60～69 歳	165	20.6	51.5	18.2	3.0	66.1	20.6	27.9	23.6	12.1	4.8	0.0
70～74 歳	100	28.0	43.0	17.0	1.0	64.0	17.0	33.0	14.0	12.0	4.0	3.0
75～79 歳	94	29.8	47.9	7.4	2.1	59.6	19.1	33.0	26.6	5.3	3.2	2.1
80 歳以上	108	32.4	35.2	7.4	1.9	50.0	24.1	33.3	22.2	13.9	0.9	3.7

問 11 あなたの近所には、次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(〇はあてはまるもの全て)

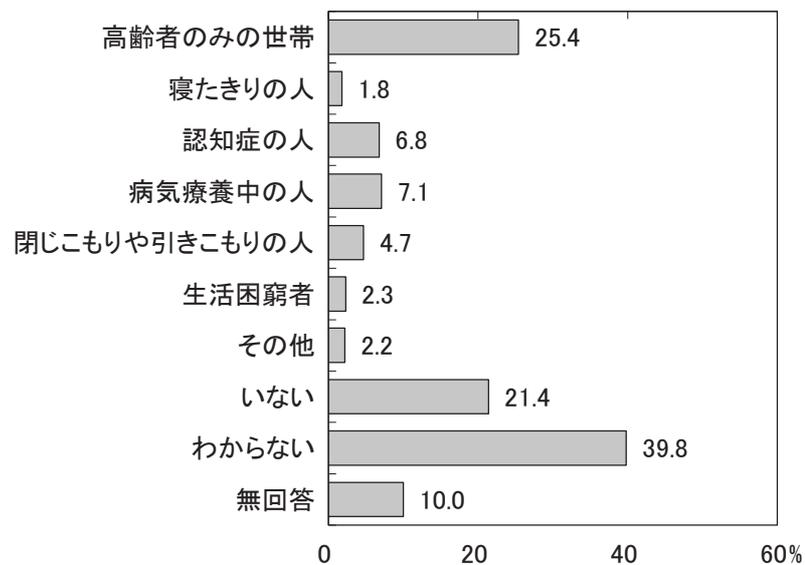
近所に、見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいるかについては、「わからない」が39.8%と最も多く、次いで「高齢者のみの世帯」が25.4%、「いない」が21.4%となっています。

性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、60～74歳では「認知症の人」や「病気療養中の人」が、80歳以上では「高齢者のみの世帯」が、他の年代に比べ多くなっています。

ふだんの近所の方との付き合いの程度別にみると、“ほとんど顔も知らない”“顔は知っているが、声をかけたことがない”“顔を合わせれば、あいさつする”“その他”では「わからない」が4割台前半から8割台前半、“2～3日留守にするときは、声をかける”“常備品が切れた時に、貸し借りをすることがある”“家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する”では「高齢者のみの世帯」が3割台半ばから4割台前半と、最も多くなっています。

n=1,270



	n	高齢者のみの世帯	寝たきりの人	認知症の人	病気療養中の人	閉じこもりや引きこもりの人	生活困窮者	その他	いない	わからない	無回答
男性	551	22.7	2.2	7.1	6.4	6.2	2.7	2.0	23.6	37.9	11.1
女性	670	27.2	1.5	6.3	7.9	3.6	1.6	2.5	20.1	41.8	8.5
18～29 歳	94	14.9	1.1	3.2	3.2	2.1	0.0	1.1	24.5	45.7	10.6
30～39 歳	129	15.5	1.6	3.1	2.3	2.3	1.6	0.8	22.5	57.4	3.1
40～49 歳	209	21.1	2.9	5.3	7.7	6.2	4.8	2.9	23.4	46.9	7.2
50～59 歳	209	28.7	1.4	4.3	3.8	3.3	1.9	2.4	23.4	39.7	4.8
60～69 歳	205	32.2	2.4	12.7	10.7	7.3	3.4	3.4	15.6	37.1	10.2
70～74 歳	125	24.0	0.0	10.4	10.4	3.2	1.6	0.8	19.2	35.2	14.4
75～79 歳	109	26.6	0.9	3.7	9.2	6.4	0.9	5.5	20.2	30.3	13.8
80 歳以上	142	31.0	2.8	7.7	9.2	4.9	0.0	0.7	26.1	27.5	17.6
問9 あなたは、ふだん近所の方とどの程度のつきあいをしていますか											
ほとんど顔も知らない	100	9.0	1.0	4.0	4.0	1.0	3.0	4.0	14.0	67.0	6.0
顔は知っているが、声をかけたことがない	39	20.5	5.1	10.3	0.0	5.1	0.0	5.1	17.9	43.6	12.8
顔を合わせれば、あいさつする	915	26.9	1.9	6.3	6.6	5.1	2.2	1.7	23.2	42.4	4.8
2～3日留守にするときは、声をかける	75	38.7	2.7	9.3	13.3	4.0	4.0	5.3	29.3	17.3	2.7
常備品が切れた時に、貸し借りをすることがある	17	35.3	0.0	23.5	23.5	5.9	5.9	5.9	23.5	11.8	11.8
家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する	52	40.4	1.9	13.5	17.3	9.6	3.8	1.9	25.0	25.0	7.7
その他	6	33.3	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	83.3	0.0

問 12 現在、あなたの住んでいる地域の中で課題に感じることは何ですか。(〇はあてはまるもの全て)

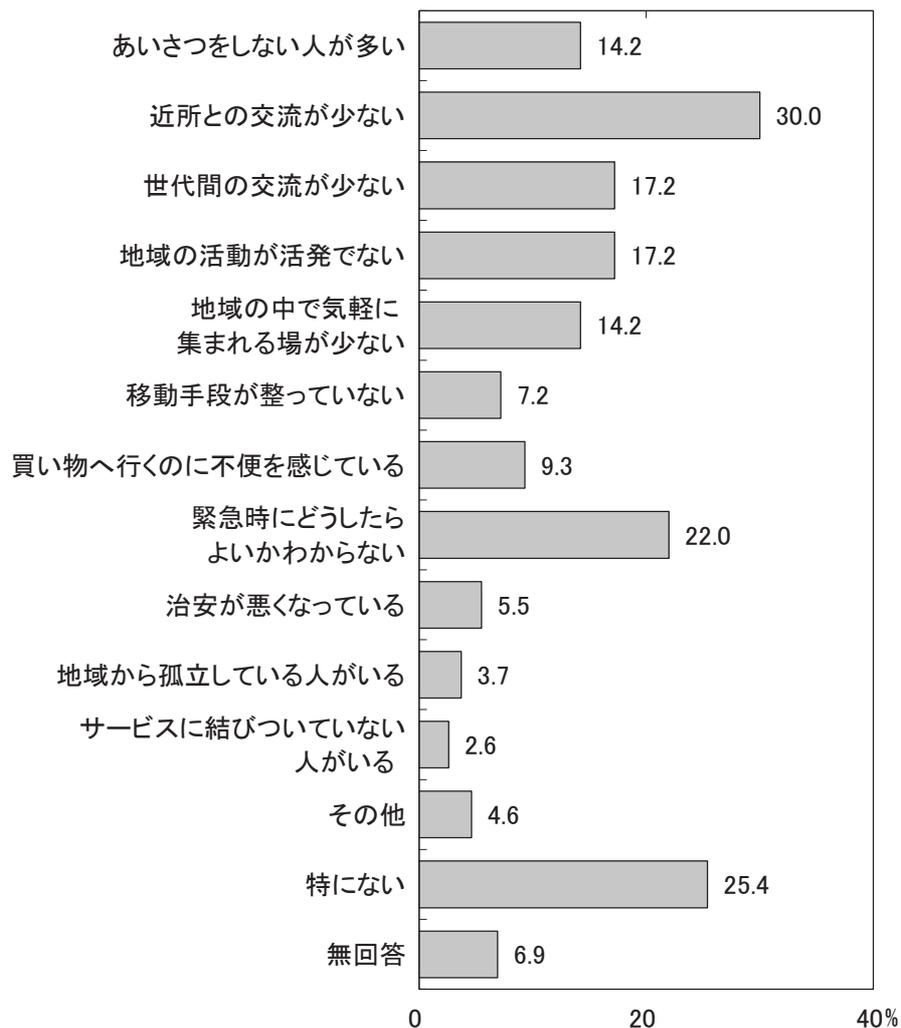
現在、住んでいる地域の中で課題に感じることについては、「近所との交流が少ない」が30.0%と最も多く、次いで「特にない」が25.4%、「緊急時にどうしたらよいかわからない」が22.0%となっています。

性別にみると、女性では「緊急時にどうしたらよいかわからない」が27.0%と、男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、18～29歳、70～74歳では「特にない」が2割台半ばから3割台前半、30～49歳では「緊急時にどうしたらよいかわからない」が2割台半ばから3割台前半、それ以外の年代では「近所との交流が少ない」が2割台後半から4割台半ばと、最も多くなっています。また、75歳以上では「あいさつをしない人が多い」が2割を超え他の年代より多くなっています。

圏域別にみると、西部地区では「世代間の交流が少ない」が、北東部地区・南部地区では「買い物へ行くのに不便を感じている」が他の地区より多くなっています。

n=1,270



	n	あ い さ つ を し な い 人 が 多 い	近 所 と の 交 流 が 少 な い	世 代 間 の 交 流 が 少 な い	地 域 の 活 動 が 活 発 で な い	地 域 中 で 気 軽 に 集 ま れ る 場 が 少 な い	移 動 手 段 が 整 っ て い な い	買 い 物 へ 行 く の に 不 便 を 感 じ て い る
男性	551	15.2	29.6	17.6	17.8	15.1	6.2	8.5
女性	670	13.3	30.6	17.5	16.6	13.1	7.8	9.9
18～29 歳	94	6.4	20.2	14.9	17.0	17.0	6.4	5.3
30～39 歳	129	10.9	28.7	18.6	10.9	9.3	6.2	8.5
40～49 歳	209	13.9	23.0	16.3	14.4	10.0	9.6	10.5
50～59 歳	209	9.6	34.4	17.2	17.7	14.8	6.7	8.6
60～69 歳	205	15.1	28.8	16.1	20.5	15.6	7.3	8.3
70～74 歳	125	14.4	27.2	13.6	16.0	9.6	5.6	5.6
75～79 歳	109	22.0	44.0	23.9	25.7	19.3	3.7	9.2
80 歳以上	142	22.5	35.9	21.1	15.5	19.0	8.5	16.2
圏域								
中部地区	281	13.5	27.4	15.3	16.4	12.8	7.5	8.5
西部地区	332	17.5	32.2	21.4	15.7	12.7	5.4	5.7
北東部地区	271	10.3	31.4	15.5	20.7	18.1	7.4	11.1
南部地区	336	14.9	29.5	17.3	16.4	13.4	8.0	11.9

	n	よ い か わ か ら な い 緊 急 時 に ど う し た ら	治 安 が 悪 く な っ て い る	地 域 か ら 孤 立 し て い る 人 が い る	サ ー ビ ス に 結 び つ い て い な い 人 が い る	そ の 他	特 に な い	無 回 答
男性	551	16.0	6.0	3.4	2.7	5.3	27.2	7.6
女性	670	27.0	5.2	3.9	2.2	4.2	23.7	5.8
18～29 歳	94	21.3	6.4	1.1	3.2	6.4	25.5	7.4
30～39 歳	129	30.2	6.2	3.1	0.0	7.0	28.7	3.9
40～49 歳	209	26.8	8.6	4.3	4.8	5.7	24.4	6.7
50～59 歳	209	23.4	5.7	2.4	1.0	5.7	23.9	2.4
60～69 歳	205	21.5	4.9	4.4	3.9	2.9	24.9	7.3
70～74 歳	125	16.0	2.4	3.2	2.4	3.2	32.0	9.6
75～79 歳	109	12.8	4.6	5.5	0.0	4.6	22.0	7.3
80 歳以上	142	19.0	4.2	4.9	2.8	2.1	22.5	10.6
圏域								
中部地区	281	19.9	7.5	3.9	1.4	5.7	26.3	8.9
西部地区	332	21.7	5.1	3.6	2.4	4.8	22.9	5.4
北東部地区	271	25.1	4.4	4.4	4.1	5.2	22.9	5.9
南部地区	336	21.7	5.4	3.0	2.1	3.3	28.6	6.3

問 13 あなたは、日常生活で困ったときに、手助けを頼める人がいますか。(〇は1つ)

日常生活で困ったときに、手助けを頼める人がいるかについては、「手助けを頼める人がいる」が48.3%と最も多く、次いで「特に困っていることはない」が32.7%、「手助けを頼みたいがない」が8.8%となっています。

性別にみると、女性の方が「手助けを頼める人がいる」が男性より多くなっています。

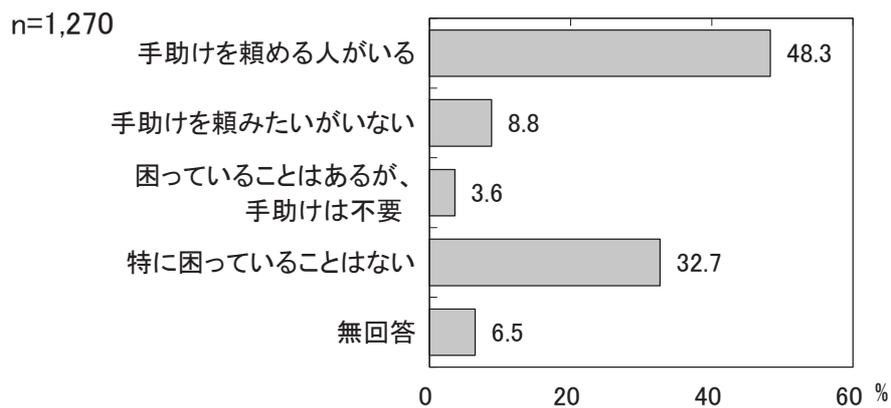
年代別にみると、30～59歳では「手助けを頼みたいがない」が1割を超え、他の年代に比べ多くなっています。

世帯構成別にみると、夫婦ふたり暮らしでは「特に困っていることはない」が40.4%と最も多くなっています。

圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

ふだんの近所の方との付き合いの程度別にみると、“ほとんど顔も知らない”“顔は知っているが、声をかけたことがない”では「特に困っていることはない」が4割台前半と、最も多くなっていますが、「手助けを頼みたいがない」についても1割台後半と多くなっています。

福祉に関するボランティア活動への関心度別にみると、“全く関心がない”では「特に困っていることはない」が46.8%と、最も多くなっています。



	n	いる 手助けを頼める人が	いない 手助けを頼みたいが	が、手助けは不要 困っていることはある	ない 特に困っていることは	無回答
男性	551	43.0	10.2	4.4	35.6	6.9
女性	670	53.0	7.9	3.0	30.6	5.5
18～29 歳	94	52.1	9.6	2.1	31.9	4.3
30～39 歳	129	50.4	11.6	7.0	25.6	5.4
40～49 歳	209	46.4	10.0	4.8	32.5	6.2
50～59 歳	209	44.5	12.9	1.9	37.8	2.9
60～69 歳	205	46.8	6.8	4.9	34.1	7.3
70～74 歳	125	48.0	5.6	2.4	36.0	8.0
75～79 歳	109	53.2	5.5	0.0	33.9	7.3
80 歳以上	142	52.1	7.0	4.2	27.5	9.2
世帯構成						
ひとり暮らし	172	51.7	12.8	4.1	27.3	4.1
夫婦ふたり暮らし	344	39.8	7.6	4.4	40.4	7.8
親と同居(二世帯)	155	49.7	11.6	3.2	30.3	5.2
子どもと同居(二世帯)	448	52.5	8.7	2.9	30.6	5.4
子どもと親又は孫の三世帯同居	59	54.2	3.4	1.7	28.8	11.9
その他の世帯	36	61.1	2.8	2.8	25.0	8.3
圏域						
中部地区	281	44.8	10.0	4.6	31.7	8.9
西部地区	332	52.4	9.6	2.7	30.4	4.8
北東部地区	271	49.4	8.5	3.0	33.2	5.9
南部地区	336	47.0	7.7	3.9	36.0	5.4
問 9 あなたは、ふだん近所の方との程度のつきあいをしていますか						
ほとんど顔も知らない	100	34.0	17.0	7.0	40.0	2.0
顔は知っているが、声をかけたことがない	39	35.9	15.4	5.1	41.0	2.6
顔を合わせれば、あいさつする	915	49.7	9.4	3.6	35.7	1.5
2～3日留守にするときは、声をかける	75	65.3	2.7	2.7	26.7	2.7
常備品が切れた時に、貸し借りをすることがある	17	70.6	0.0	5.9	23.5	0.0
家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する	52	80.8	1.9	1.9	13.5	1.9
その他	6	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか						
非常に関心がある	51	51.0	11.8	3.9	25.5	7.8
ある程度関心がある	620	51.3	8.4	3.5	29.8	6.9
あまり関心がない	429	46.4	10.0	4.2	34.7	4.7
全く関心がない	94	37.2	6.4	3.2	46.8	6.4

問 14 あなたが、もし高齢・障害や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちに何をしてほしいですか。(〇は3つまで)

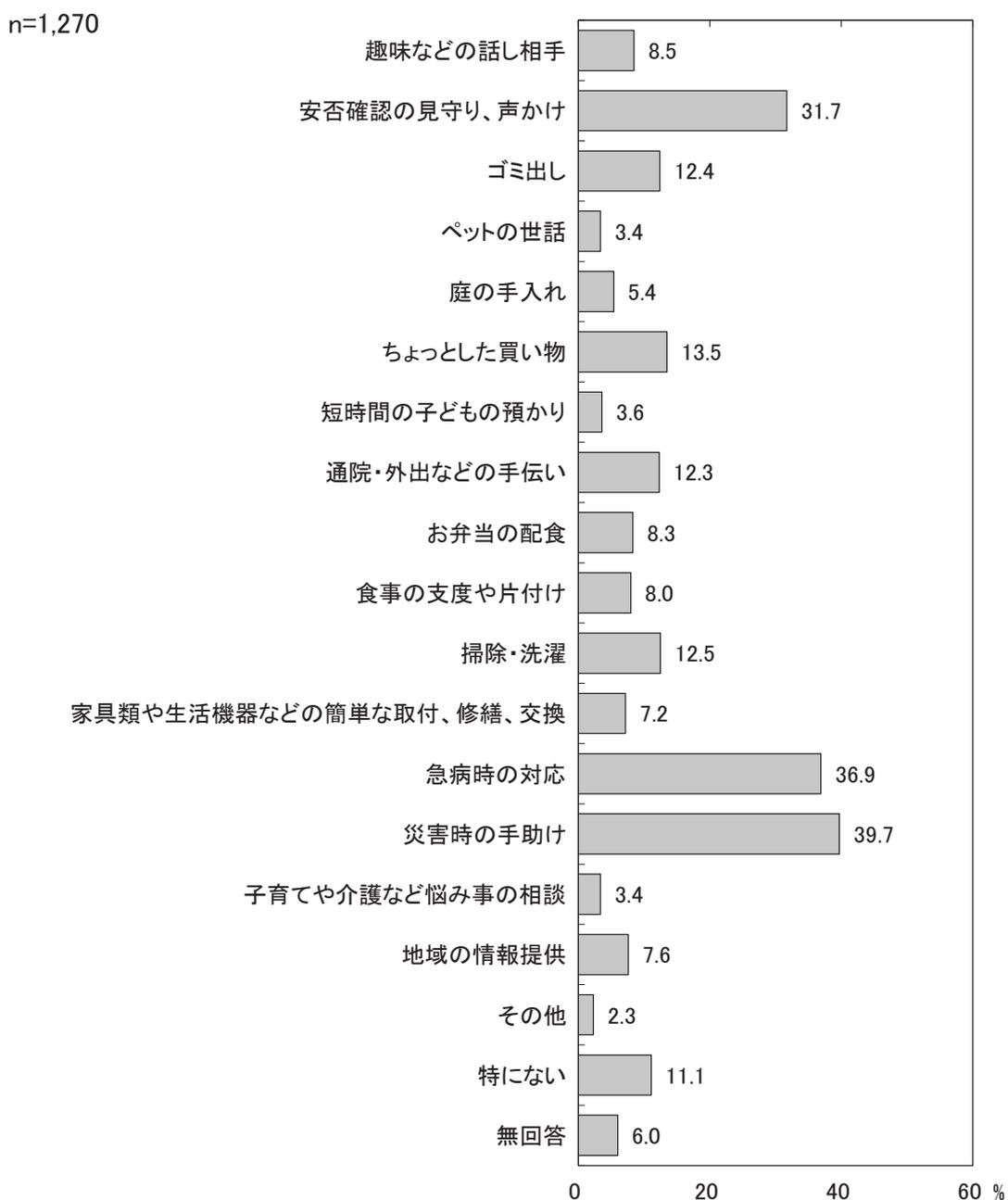
高齢・障害や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちにしてほしいことについては、「災害時の手助け」が39.7%と最も多く、次いで「急病時の対応」が36.9%、「安否確認の見守り、声かけ」が31.7%となっています。

性別にみると、男性では「急病時の対応」が37.7%、女性では「災害時の手助け」が41.8%と、最も多くなっています。

年代別にみると、18～69歳では「災害時の手助け」が3割台後半から5割台前半、70歳以上では「急病時の対応」が2割台後半から4割台前半と、最も多くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし、夫婦ふたり暮らし、その他の世帯では「急病時の対応」が3割台半ばから4割台後半と、最も多くなっています。

圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。



	n	趣味などの話し相手	安否確認の見守り、声かけ	ゴミ出し	ペットの世話	庭の手入れ	ちょっとした買い物	短時間の子どもの預かり	通院・外出などの手伝い	お弁当の配食	食事の支度や片付け
男性	551	9.1	29.6	12.5	2.7	3.6	9.4	1.8	8.3	7.4	8.3
女性	670	8.5	34.0	12.5	4.0	6.7	17.0	5.2	15.7	8.8	7.9
18～29 歳	94	20.2	37.2	6.4	3.2	1.1	7.4	8.5	10.6	5.3	5.3
30～39 歳	129	13.2	34.9	8.5	4.7	0.0	15.5	17.1	10.9	4.7	10.9
40～49 歳	209	12.0	35.9	14.8	4.3	4.8	14.4	6.7	11.0	8.6	10.0
50～59 歳	209	5.7	39.7	12.4	4.8	5.3	16.3	0.5	15.8	9.1	6.7
60～69 歳	205	6.3	30.2	18.0	3.4	7.8	11.7	0.0	12.2	10.2	7.8
70～74 歳	125	4.0	21.6	11.2	2.4	4.8	12.8	0.0	11.2	8.0	9.6
75～79 歳	109	6.4	30.3	11.0	2.8	6.4	14.7	0.0	15.6	9.2	5.5
80 歳以上	142	6.3	21.8	12.0	0.7	9.9	13.4	0.0	10.6	7.7	7.7
世帯構成											
ひとり暮らし	172	8.1	31.4	15.7	1.7	6.4	9.9	0.6	11.0	9.3	7.0
夫婦ふたり暮らし	344	5.8	30.8	15.4	5.2	7.0	14.0	0.3	13.1	8.7	9.6
親と同居(二世代)	155	14.2	32.9	14.2	3.9	2.6	8.4	0.6	11.6	7.7	7.1
子どもと同居(二世代)	448	9.2	32.8	8.9	2.7	4.7	15.4	8.0	12.9	7.1	8.3
子どもと親又は孫の三世 代同居	59	8.5	32.2	10.2	1.7	5.1	8.5	5.1	10.2	8.5	3.4
その他の世帯	36	13.9	30.6	13.9	5.6	2.8	33.3	5.6	13.9	11.1	8.3
圏域											
中部地区	281	8.9	32.7	12.8	2.8	5.0	10.3	2.8	12.1	9.3	6.8
西部地区	332	8.7	28.9	13.9	3.3	5.1	13.9	4.5	12.0	10.2	8.7
北東部地区	271	9.6	33.9	9.2	4.8	5.5	11.8	4.1	12.2	5.9	8.1
南部地区	336	8.0	33.0	14.0	3.0	5.7	17.6	3.3	13.1	7.1	8.6

	n	掃除・洗濯	家具類や生活機器などの 簡単な取付、修繕、交換	急病時の対応	災害時の手助け	子育てや介護など悩み事の 相談	地域の情報提供	その他	特になし	無回答
男性	551	15.4	5.1	37.7	37.6	2.0	6.9	2.5	13.6	6.7
女性	670	10.4	9.0	36.6	41.8	4.3	7.8	2.1	8.5	5.1
18～29 歳	94	19.1	4.3	30.9	39.4	4.3	5.3	1.1	11.7	4.3
30～39 歳	129	17.1	3.9	40.3	51.2	10.1	6.2	1.6	7.0	3.9
40～49 歳	209	15.3	6.2	35.4	43.1	3.8	5.3	2.4	7.2	6.2
50～59 歳	209	8.6	8.6	40.7	48.3	4.8	4.3	1.4	9.6	2.4
60～69 歳	205	12.2	7.8	39.5	41.5	2.0	7.8	2.4	8.3	7.3
70～74 歳	125	8.8	6.4	29.6	24.0	0.8	8.8	6.4	21.6	7.2
75～79 歳	109	11.0	7.3	41.3	33.9	0.0	11.9	2.8	11.9	5.5
80 歳以上	142	12.0	11.3	35.2	29.6	0.0	12.0	0.7	14.1	9.9
世帯構成										
ひとり暮らし	172	14.0	10.5	39.0	36.0	0.6	5.8	2.9	10.5	4.7
夫婦ふたり暮らし	344	12.2	7.8	36.9	35.2	1.2	9.0	1.7	11.0	7.3
親と同居(二世帯)	155	16.1	7.1	32.9	36.8	3.2	5.2	3.9	12.3	4.5
子どもと同居(二世帯)	448	12.1	6.3	37.7	46.7	5.1	6.7	1.8	10.3	5.4
子どもと親又は孫の三世 帯同居	59	8.5	3.4	33.9	44.1	8.5	10.2	3.4	13.6	8.5
その他の世帯	36	11.1	5.6	47.2	30.6	2.8	13.9	2.8	5.6	2.8
圏域										
中部地区	281	12.8	8.2	34.9	39.5	4.3	7.8	1.8	11.4	7.8
西部地区	332	13.6	6.6	37.3	39.5	3.0	8.1	3.0	9.3	4.2
北東部地区	271	11.8	7.4	41.0	43.5	3.0	8.9	1.5	9.6	4.8
南部地区	336	12.5	6.8	35.7	38.1	3.0	5.1	2.7	12.5	6.3

問 15 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすために、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで)

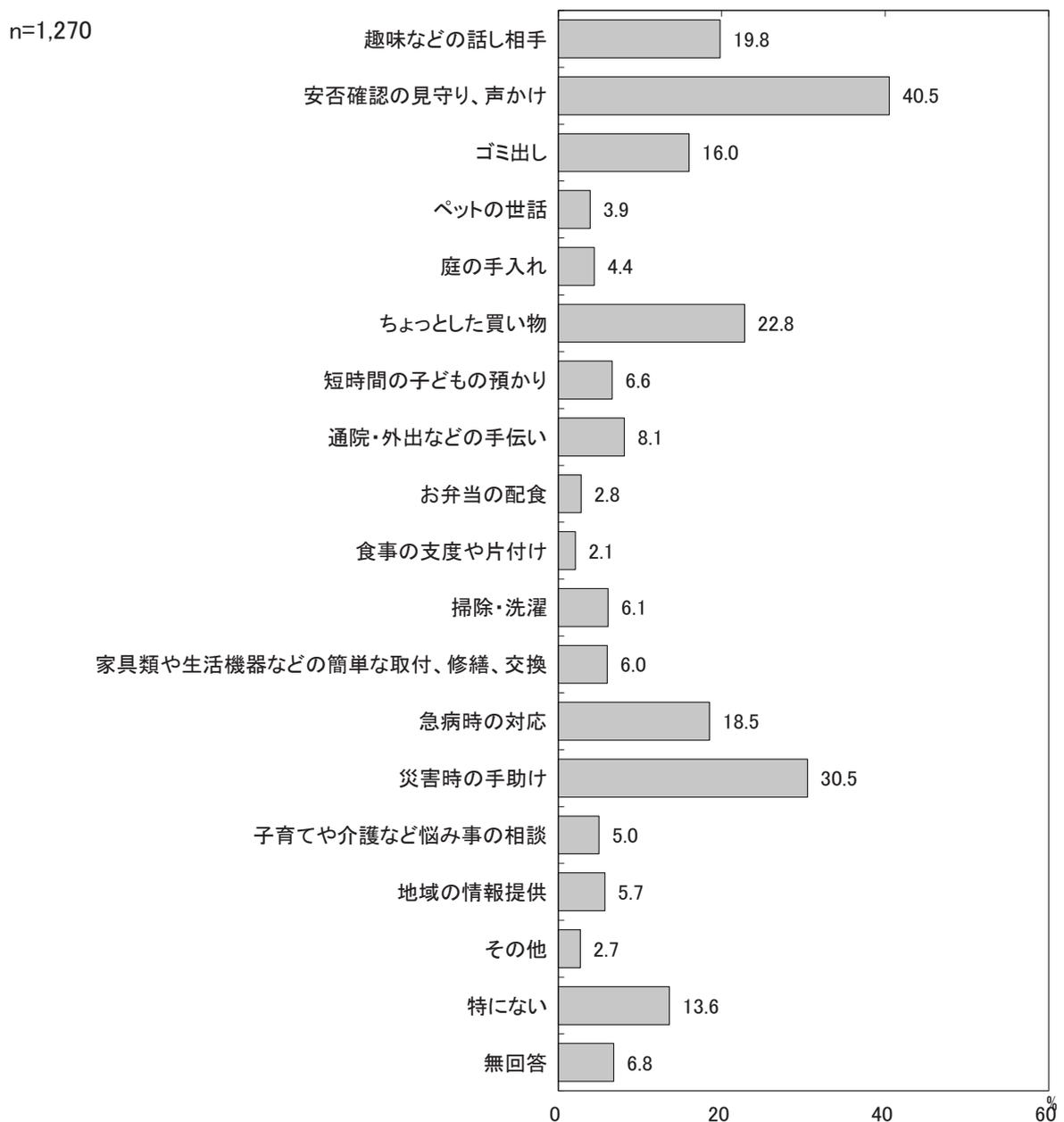
地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすために、自身でできることについては、「安否確認の見守り、声かけ」が40.5%と最も多く、次いで「災害時の手助け」が30.5%、「ちょっとした買い物」が22.8%となっています。

性別にみると、男性では「災害時の手助け」が38.5%、女性では「安否確認の見守り、声かけ」が45.1%と、最も多くなっています。また、女性では「趣味などの話し相手」や「ちょっとした買い物」が男性に比べてやや多く、男性では「家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換」が11.8%と、女性に比べてやや多くなっています。

年齢別にみると、80歳以上では「特にない」が33.1%と、最も多くなっています。

圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

福祉に関するボランティア活動への関心度別にみると、関心がある層ほど、各項目の回答が多くなっています。



	n	話し相手 趣味などの	安否確認の見 守り、声かけ	ゴミ出し	ペットの世話	庭の手入れ	ちょっとした 買い物	短時間の子 どもの預かり	通院・外出な どの手伝い	食 お弁当の配	食事の支度 や片付け
男性	551	14.9	34.5	12.5	2.9	6.0	16.9	3.1	6.4	2.7	1.1
女性	670	24.3	45.1	19.0	4.9	3.4	28.2	9.4	9.3	3.0	2.8
18～29 歳	94	27.7	37.2	14.9	3.2	0.0	18.1	6.4	6.4	2.1	0.0
30～39 歳	129	27.9	44.2	10.1	7.0	0.8	19.4	5.4	7.0	0.8	2.3
40～49 歳	209	20.1	44.5	12.4	5.7	2.4	25.8	11.0	6.2	1.9	1.0
50～59 歳	209	18.7	45.9	16.7	4.3	3.8	29.2	7.2	8.1	4.8	1.0
60～69 歳	205	17.6	46.8	20.0	4.4	8.3	30.2	8.8	11.7	3.4	3.9
70～74 歳	125	16.8	38.4	17.6	3.2	7.2	18.4	5.6	10.4	1.6	4.0
75～79 歳	109	21.1	35.8	21.1	1.8	7.3	24.8	1.8	8.3	4.6	2.8
80 歳以上	142	15.5	19.7	16.2	0.7	5.6	9.2	1.4	4.9	2.8	1.4
圏域											
中部地区	281	19.6	42.0	13.9	3.6	3.9	21.0	5.7	8.9	2.5	2.1
西部地区	332	20.2	38.0	17.5	3.6	4.2	23.5	6.6	5.1	3.6	2.4
北東部地区	271	24.0	39.5	15.9	4.8	5.5	20.3	7.7	8.5	1.5	0.7
南部地区	336	17.3	42.0	17.0	4.2	4.8	26.8	6.3	9.8	3.6	2.7
問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか											
非常に関心がある	51	35.3	43.1	23.5	7.8	9.8	15.7	5.9	11.8	3.9	5.9
ある程度関心がある	620	24.4	47.1	19.2	3.9	4.7	26.3	9.0	10.2	2.4	1.8
あまり関心がない	429	13.8	38.2	11.9	3.0	4.0	22.4	4.7	5.8	3.0	2.1
全く関心がない	94	10.6	12.8	10.6	4.3	4.3	9.6	1.1	1.1	3.2	1.1
	n	掃除・洗濯	家具類や生活機器などの 簡単な取付、修繕、交換	急病時の対応	災害時の手助け	子育てや介護など悩 み事の相談	地域の情報提供	その他	特にな い	無回 答	
男性	551	3.4	11.8	23.6	38.5	1.5	6.0	2.0	15.4	7.4	
女性	670	8.2	1.3	14.5	24.2	8.1	4.9	3.3	11.8	6.0	
18～29 歳	94	6.4	4.3	17.0	37.2	8.5	4.3	0.0	13.8	5.3	
30～39 歳	129	2.3	5.4	16.3	40.3	9.3	5.4	3.1	10.9	3.9	
40～49 歳	209	5.7	5.3	18.2	35.4	4.3	4.3	1.9	10.5	5.7	
50～59 歳	209	5.3	6.7	21.5	39.7	9.1	6.2	2.4	9.1	2.4	
60～69 歳	205	8.3	5.9	22.9	33.2	4.4	7.3	2.4	4.4	6.8	
70～74 歳	125	7.2	7.2	15.2	19.2	2.4	4.8	3.2	19.2	8.8	
75～79 歳	109	8.3	9.2	21.1	19.3	0.0	3.7	5.5	14.7	5.5	
80 歳以上	142	4.9	4.9	13.4	12.0	1.4	5.6	3.5	33.1	16.2	
圏域											
中部地区	281	6.0	3.6	14.6	29.2	5.3	3.9	2.5	16.0	8.9	
西部地区	332	6.3	6.9	19.3	31.9	3.9	6.3	3.3	11.4	5.1	
北東部地区	271	4.8	8.1	19.6	33.6	5.2	5.5	2.2	14.4	5.9	
南部地区	336	6.8	5.7	20.8	28.3	6.0	5.7	2.7	12.2	6.5	
問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか											
非常に関心がある	51	13.7	7.8	17.6	17.6	5.9	15.7	3.9	5.9	11.8	
ある程度関心がある	620	7.6	7.3	21.6	33.9	7.1	5.5	2.7	6.1	6.9	
あまり関心がない	429	4.0	4.2	16.1	32.2	3.5	4.7	2.6	17.9	4.4	
全く関心がない	94	2.1	2.1	8.5	14.9	0.0	3.2	4.3	43.6	5.3	

3. 地域での活動について

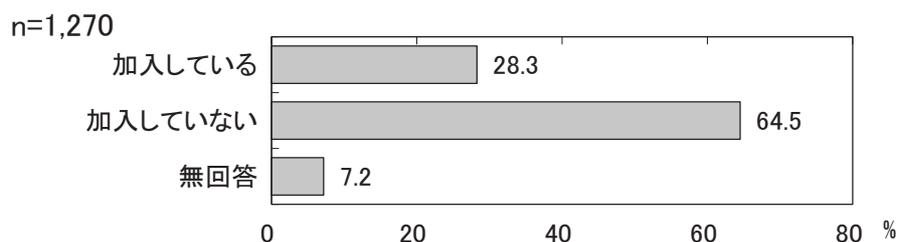
問 16 あなたは、現在自治(町)会に加入していますか。(〇は1つ)

現在自治(町)会に加入しているかについては、「加入していない」が64.5%と、「加入している」の28.3%を上回っています。

性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～39歳では「加入していない」が7割前半から8割台半ばと多く、年代が上がるに「加入している」が多くなる傾向がみられます。

圏域別にみると、北東部地区では「加入していない」が76.0%と、他の地区に比べて多く、西部地区では「加入している」が36.4%と多くなっています。



	n	加入している	加入していない	無回答
男性	551	29.8	64.1	6.2
女性	670	27.2	65.7	7.2
18～29歳	94	12.8	84.0	3.2
30～39歳	129	22.5	73.6	3.9
40～49歳	209	24.4	69.4	6.2
50～59歳	209	24.4	69.4	6.2
60～69歳	205	39.5	54.6	5.9
70～74歳	125	32.0	61.6	6.4
75～79歳	109	31.2	62.4	6.4
80歳以上	142	33.8	50.7	15.5
圏域				
中部地区	281	27.8	65.5	6.8
西部地区	332	36.4	56.9	6.6
北東部地区	271	15.5	76.0	8.5
南部地区	336	31.0	63.7	5.4

《問 16 で「2. 加入していない」とお答えの方におたずねします》

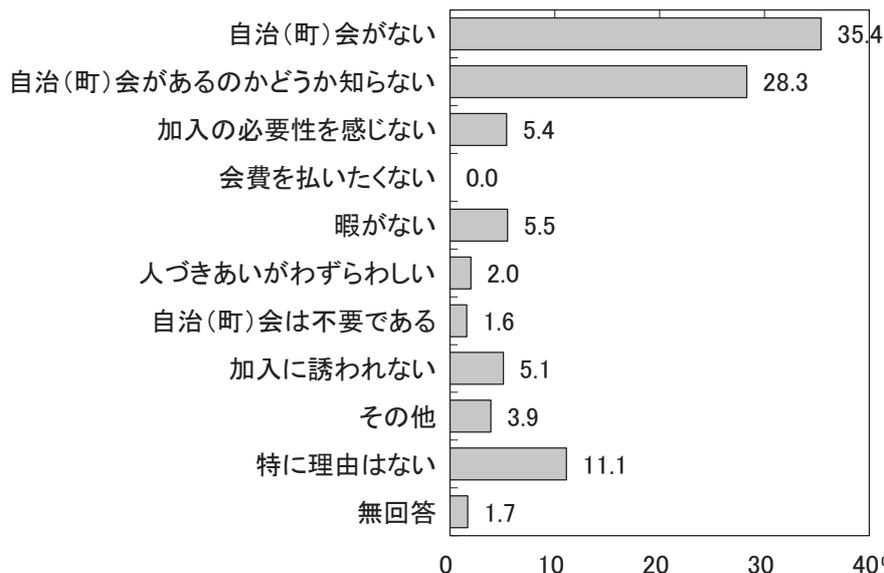
問 16-1 加入していない理由は何ですか。(○は1つ)

加入していない理由は、「自治(町)会がない」が35.4%と最も多く、次いで「自治(町)会があるのかどうか知らない」が28.3%、「特に理由はない」が11.1%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～39歳では「自治(町)会があるのかどうか知らない」が2割台半ばから3割台前半と、最も多くなっています。

n=819



	n	自治(町)会がない	自治(町)会があるのかどうか知らない	加入の必要性を感じない	会費を払いたくない	暇がない	人づきあいがわずらわしい	加入に誘われない	自治(町)会は不要である	その他	特に理由はない	無回答
男性	353	32.6	31.7	5.1	0.0	5.9	2.3	0.3	4.5	3.7	11.9	2.0
女性	440	36.4	26.6	5.5	0.0	4.8	1.8	2.3	5.9	4.1	11.1	1.6
18～29歳	79	13.9	26.6	3.8	0.0	12.7	1.3	0.0	11.4	3.8	22.8	3.8
30～39歳	95	21.1	32.6	9.5	0.0	12.6	0.0	1.1	3.2	5.3	12.6	2.1
40～49歳	145	36.6	32.4	2.8	0.0	5.5	1.4	4.1	6.2	2.8	8.3	0.0
50～59歳	145	38.6	32.4	4.1	0.0	3.4	2.1	0.7	7.6	5.5	4.8	0.7
60～69歳	112	41.1	32.1	3.6	0.0	3.6	0.9	0.0	4.5	4.5	8.9	0.9
70～74歳	77	41.6	24.7	5.2	0.0	1.3	6.5	1.3	2.6	3.9	13.0	0.0
75～79歳	68	39.7	20.6	7.4	0.0	1.5	4.4	1.5	1.5	1.5	19.1	2.9
80歳以上	72	41.7	19.4	9.7	0.0	1.4	1.4	1.4	2.8	2.8	12.5	6.9
圏域												
中部地区	184	32.6	30.4	5.4	0.0	6.0	2.7	1.6	4.3	2.2	11.4	3.3
西部地区	189	31.2	27.0	4.2	0.0	4.2	3.2	2.1	6.3	5.8	13.8	2.1
北東部地区	206	39.3	28.6	5.8	0.0	3.4	1.5	1.0	5.8	3.9	10.2	0.5
南部地区	214	35.0	29.4	5.6	0.0	7.5	0.9	0.9	4.7	3.7	10.7	1.4

問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動※に関心がありますか。(○は1つ)

福祉に関するボランティア活動に関心があるかについては、「ある程度関心がある」が48.8%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が33.8%、「全く関心がない」が7.4%となっています。

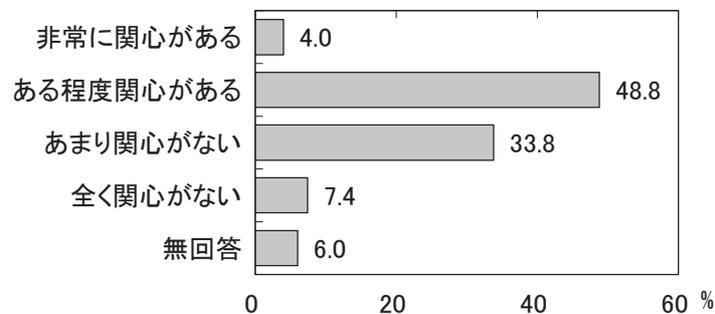
性別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、女性では「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」を合わせた「関心がある」は56.8%と、男性の47.7%と比べてやや多くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「あまり関心がない」と「全く関心がない」を合わせた「関心がない」が5割台半ばから5割台後半と、多くなっています。

圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

ふだんの近所の方との付き合いの程度別にみると、“ほとんど顔も知らない”“顔は知っているが、声をかけたことがない”では「関心がない」が5割台半ばから6割と多く、“顔を合わせれば、あいさつする”“2～3日留守にするときは、声をかける”“常備品が切れた時に、貸し借りをする”“家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する”では「関心がある」が5割台前半から8割台後半と多くなっています。

n=1,270



	n	非常に 関心 がある	ある 程度 関心 がある	あ ま り 関 心 が な い	全 く 関 心 が な い	無 回 答
男性	551	3.6	44.1	36.5	10.3	5.4
女性	670	4.6	52.2	32.5	5.1	5.5
18～29歳	94	3.2	36.2	46.8	10.6	3.2
30～39歳	129	1.6	41.9	41.9	13.2	1.6
40～49歳	209	1.0	48.3	37.3	9.6	3.8
50～59歳	209	2.4	46.9	41.1	4.8	4.8
60～69歳	205	3.4	55.1	33.2	3.9	4.4
70～74歳	125	1.6	57.6	24.8	8.0	8.0
75～79歳	109	12.8	56.0	17.4	2.8	11.0
80歳以上	142	11.3	43.0	27.5	9.2	9.2
圏域						
中部地区	281	3.6	48.8	34.5	8.5	4.6
西部地区	332	3.9	46.7	35.5	7.8	6.0
北東部地区	271	4.4	50.6	35.8	4.4	4.8
南部地区	336	4.8	48.8	31.8	8.6	6.0
問9 あなたは、ふだん近所の方との程度のつきあいをしていますか						
ほとんど顔も知らない	100	1.0	33.0	42.0	18.0	6.0
顔は知っているが、声をかけたことがない	39	0.0	35.9	46.2	10.3	7.7
顔を合わせれば、あいさつする	915	3.8	49.3	35.0	6.7	5.2
2～3日留守にするときは、声をかける	75	6.7	58.7	22.7	5.3	6.7
常備品が切れた時に、貸し借りをする	17	17.6	70.6	11.8	0.0	0.0
家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する	52	5.8	55.8	28.8	1.9	7.7
その他	6	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

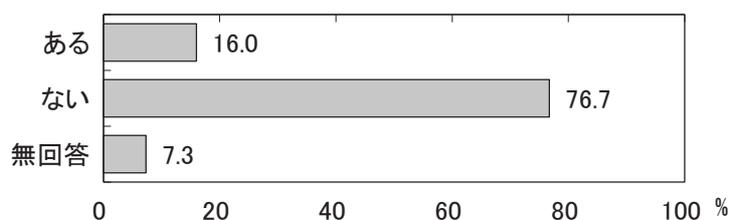
問 18 あなたは、福祉に関するボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

福祉に関するボランティア活動に参加したことがあるかについては、「ない」が76.7%と、「ある」の16.0%を上回っています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～29歳では「ある」が26.6%と、他の年代に比べてやや多くなっています。

n=1,270



	n	ある	ない	無回答
男性	551	12.5	80.4	7.1
女性	670	19.0	74.5	6.6
18～29歳	94	26.6	69.1	4.3
30～39歳	129	17.1	79.8	3.1
40～49歳	209	12.9	82.3	4.8
50～59歳	209	12.4	81.8	5.7
60～69歳	205	16.1	75.6	8.3
70～74歳	125	16.0	77.6	6.4
75～79歳	109	18.3	71.6	10.1
80歳以上	142	16.2	71.1	12.7
圏域				
中部地区	281	15.3	79.4	5.3
西部地区	332	15.7	76.2	8.1
北東部地区	271	17.0	76.4	6.6
南部地区	336	16.4	76.8	6.8

《問 18 で「2. ない」とお答えの方におたずねします》

問 18-1 あなたが、ボランティア活動に参加したことがないのは、どのような理由ですか。

(○はあてはまるもの全て)

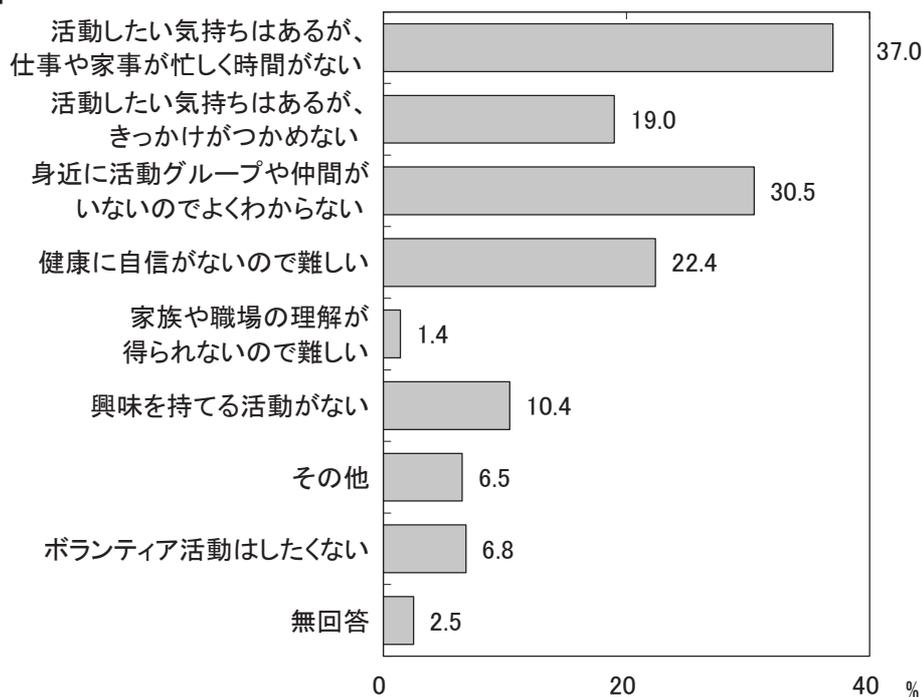
ボランティア活動に参加したことがない理由は、「活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない」が37.0%と最も多く、次いで「身近に活動グループや仲間がないのでよくわからない」が30.5%、「健康に自信がないので難しい」が22.4%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～29歳、60～69歳では「身近に活動グループや仲間がないのでよくわからない」が3割台後半、30～59歳では「活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない」が4割台半ばから5割台半ば、70歳以上では「健康に自信がないので難しい」が3割台後半から5割台前半と、最も多くなっています。

福祉に関するボランティア活動への関心度別にみると、関心がある層では「活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない」が最も多くなっています。また、“あまり関心がない”では「身近に活動グループや仲間がないのでよくわからない」が31.5%、“全く関心がない”では「ボランティア活動はしたくない」が32.9%と、最も多くなっています。

n=974



	n	活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない	活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない	身近に活動グループや仲間がないのでよくわからない	健康に自信がないので難しい	家族や職場の理解が得られないので難しい	興味を持てる活動がない	その他	ボランティア活動はしたくない	無回答
男性	443	35.7	19.2	30.2	20.8	1.6	12.9	3.8	9.5	2.0
女性	499	37.7	19.0	31.1	23.4	1.4	7.6	9.0	4.6	2.8
18～29 歳	65	32.3	18.5	36.9	6.2	1.5	18.5	4.6	4.6	6.2
30～39 歳	103	44.7	18.4	31.1	3.9	0.0	15.5	5.8	8.7	4.9
40～49 歳	172	55.2	14.5	32.6	9.3	2.9	9.9	4.7	5.8	1.2
50～59 歳	171	45.6	20.5	26.9	16.4	2.3	9.9	7.0	8.2	2.9
60～69 歳	155	33.5	21.9	38.7	21.3	0.0	9.0	7.1	6.5	0.6
70～74 歳	97	23.7	20.6	24.7	39.2	1.0	8.2	4.1	7.2	3.1
75～79 歳	78	25.6	30.8	34.6	44.9	0.0	6.4	2.6	3.8	1.3
80 歳以上	101	10.9	10.9	19.8	50.5	3.0	5.9	15.8	8.9	2.0
圏域										
中部地区	223	33.2	21.5	29.6	24.2	1.8	11.2	8.5	5.4	3.6
西部地区	253	37.2	16.2	26.1	21.7	2.8	10.3	5.9	6.7	3.2
北東部地区	207	40.1	18.8	35.3	18.8	0.0	6.3	6.3	7.2	1.4
南部地区	258	36.8	20.2	32.2	23.6	1.2	12.0	5.8	8.1	1.6
問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか										
非常に関心がある	21	47.6	42.9	38.1	19.0	0.0	4.8	0.0	4.8	9.5
ある程度関心がある	459	47.1	30.7	33.6	21.1	1.7	4.4	5.2	0.9	2.0
あまり関心がない	384	29.4	8.1	31.5	23.4	1.3	16.7	6.8	8.3	2.6
全く関心がない	85	17.6	2.4	7.1	21.2	1.2	17.6	10.6	32.9	1.2

《問 18-1 で「8. ボランティア活動はしたくない」とお答えの方の回答は不要です》

問 19 あなたは、今後、福祉に関するボランティア活動に参加したいとお考えですか。(〇は1つ)

今後、福祉に関するボランティア活動に参加したいかについては、「できるだけ参加したい」が 37.7%と最も多く、次いで「あまり参加したくない」が 35.7%、「参加したくない」が 9.7%となっています。また、「あまり参加したくない」と「参加したくない」を合わせた「参加したくない」は 45.4%と、「積極的に参加したい」と「できるだけ参加したい」を合わせた「参加したい」の 39.7%を上回っています。

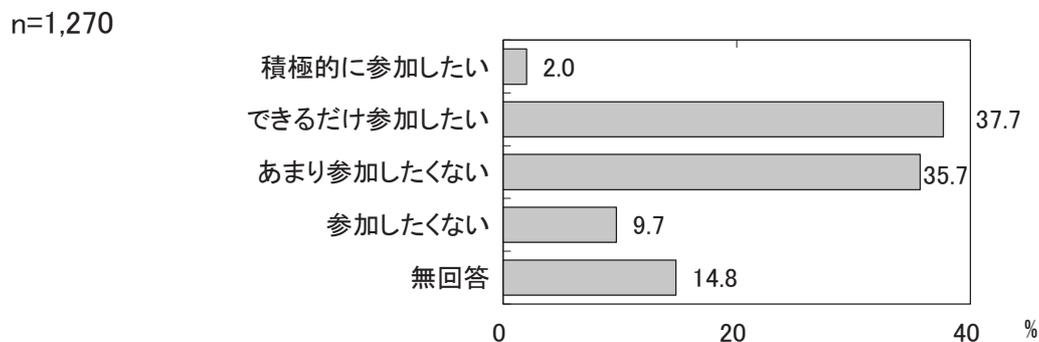
性別にみると、男性では「参加したくない」が 49.2%と、「参加したい」の 36.1%を上回り、女性では「参加したい」が 43.4%と、「参加したくない」の 42.6%を上回っています。

年代別にみると、18～39 歳、50～59 歳、70～74 歳、80 歳以上では「参加したくない」が「参加したい」を、それ以外の年代では「参加したい」が「参加したくない」を上回っています。

圏域別にみると、北東部地区では「参加したい」が 43.6%と、「参加したくない」の 42.4%を上回っています。それ以外の地区では「参加したくない」が「参加したい」を上回っています。

地域での人とのつきあいやかかわりが必要だと思えるか別にみると、必要だと思う層ほど、参加したいとの回答が多くなっています。

福祉に関するボランティア活動への関心度別にみると、関心がある層ほど、参加したいとの回答が多くなっています。



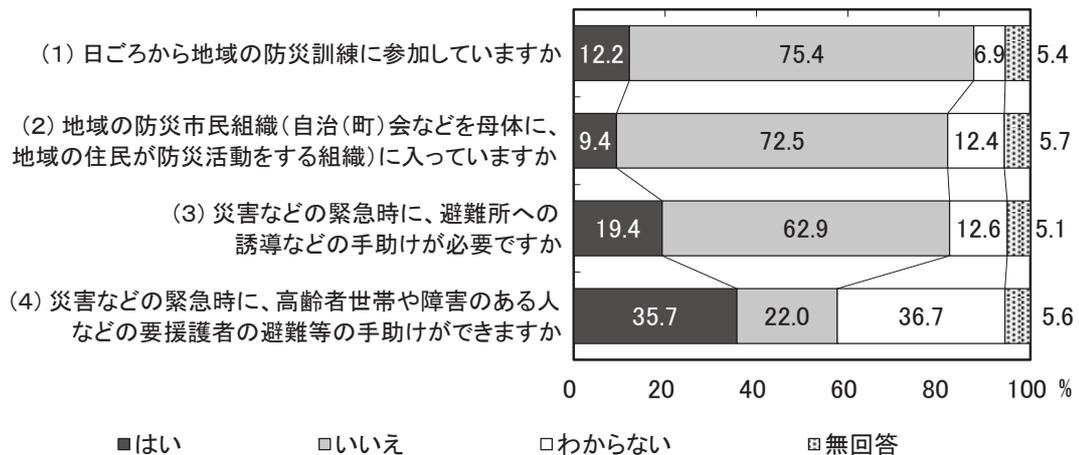
	n	積極的に参加したい	できるだけ参加したい	あまり参加したくない	参加したくない	無回答
男性	551	2.2	33.9	37.9	11.3	14.7
女性	670	1.9	41.5	33.9	8.7	14.0
18～29 歳	94	1.1	41.5	41.5	12.8	3.2
30～39 歳	129	0.8	40.3	37.2	9.3	12.4
40～49 歳	209	0.5	45.5	37.8	6.2	10.0
50～59 歳	209	1.4	37.8	41.6	7.7	11.5
60～69 歳	205	2.4	42.0	37.6	3.4	14.6
70～74 歳	125	0.0	36.8	36.0	9.6	17.6
75～79 歳	109	8.3	36.7	25.7	11.0	18.3
80 歳以上	142	4.2	19.7	23.2	25.4	27.5
圏域						
中部地区	281	1.4	37.7	37.4	12.8	10.7
西部地区	332	1.5	35.2	36.1	10.5	16.6
北東部地区	271	2.6	41.0	38.0	4.4	14.0
南部地区	336	3.0	38.7	32.1	11.0	15.2
問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかわりが必要だと考えますか						
必要だと思う	446	3.8	52.0	23.1	6.3	14.8
まあまあ必要だと思う	593	0.7	33.6	45.2	9.1	11.5
ほとんど必要ないと思う	103	1.0	10.7	38.8	22.3	27.2
必要でない	15	0.0	6.7	33.3	40.0	20.0
問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか						
非常に関心がある	51	39.2	47.1	2.0	0.0	11.8
ある程度関心がある	620	0.8	64.5	22.1	3.2	9.4
あまり関心がない	429	0.0	10.7	67.1	11.4	10.7
全く関心がない	94	1.1	3.2	17.0	50.0	28.7

問 20 あなたの防災に対する日ごろからの取り組みや、災害などの緊急時の対応について、教えてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

緊急時の対応について、「はい」は(4)災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人などの要援護者の避難等の手助けができますかが35.7%と最も多く、次いで(3)災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですが19.4%、(1)日ごろから地域の防災訓練に参加していますかが12.2%となっています。

また、(4)災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人などの要援護者の避難等の手助けができますかでは「わからない」が36.7%と最も多くなっています。

n=1,270



(1) 日ごろから地域の防災訓練に参加していますかについて性別、年代別にみると、全体と同様の傾向となっています。

(2) 地域の防災市民組織(自治(町)会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っていますかを性別、年代別にみると、全体と同様の傾向となっています。

	n	はい	いいえ	わからない	無回答
(1) 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか					
男性	551	14.0	75.3	6.2	4.5
女性	670	10.9	76.4	7.6	5.1
18～29 歳	94	4.3	87.2	7.4	1.1
30～39 歳	129	12.4	80.6	5.4	1.6
40～49 歳	209	7.2	85.2	5.7	1.9
50～59 歳	209	10.5	81.3	4.8	3.3
60～69 歳	205	16.1	70.7	9.8	3.4
70～74 歳	125	19.2	69.6	4.0	7.2
75～79 歳	109	14.7	68.8	8.3	8.3
80 歳以上	142	14.1	60.6	11.3	14.1
(2) 地域の防災市民組織(自治(町)会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っていますか					
男性	551	9.3	75.3	10.3	5.1
女性	670	9.6	71.2	14.0	5.2
18～29 歳	94	4.3	81.9	12.8	1.1
30～39 歳	129	7.8	77.5	12.4	2.3
40～49 歳	209	9.1	73.7	15.8	1.4
50～59 歳	209	6.2	75.1	15.3	3.3
60～69 歳	205	11.2	72.7	11.7	4.4
70～74 歳	125	13.6	68.8	10.4	7.2
75～79 歳	109	12.8	71.6	8.3	7.3
80 歳以上	142	10.6	64.8	8.5	16.2

(3) 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですかについて性別にみると、女性では「はい」が22.1%と、男性に比べてやや多くなっています。

年代別にみると、80歳以上では「はい」が39.4%と、「いいえ」の38.0%を上回っています。

(4) 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人などの要援護者の避難等の手助けができますかを性別にみると、男性では「はい」が41.7%、女性では「わからない」が39.9%と最も多くなっています。

年代別にみると、50～69歳では「はい」が、80歳以上では「いいえ」が最も多くなっています。

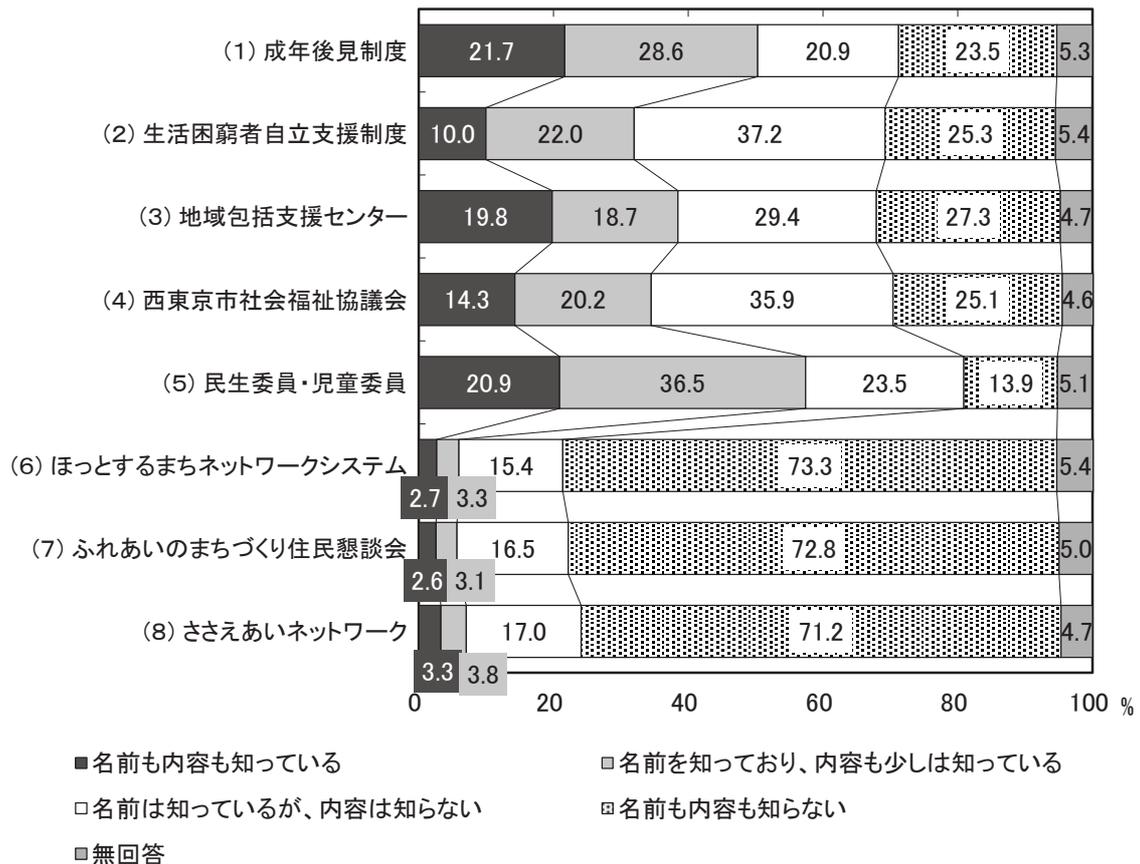
	n	はい	いいえ	わからない	無回答
(3) 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか					
男性	551	16.2	65.9	12.9	5.1
女性	670	22.1	61.0	12.7	4.2
18～29歳	94	23.4	64.9	10.6	1.1
30～39歳	129	19.4	59.7	19.4	1.6
40～49歳	209	15.8	67.0	15.8	1.4
50～59歳	209	8.6	74.6	13.4	3.3
60～69歳	205	14.6	72.7	8.8	3.9
70～74歳	125	17.6	61.6	14.4	6.4
75～79歳	109	29.4	53.2	11.0	6.4
80歳以上	142	39.4	38.0	8.5	14.1
(4) 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人などの要援護者の避難等の手助けができますか					
男性	551	41.7	19.1	33.8	5.4
女性	670	31.0	24.3	39.9	4.8
18～29歳	94	37.2	20.2	41.5	1.1
30～39歳	129	35.7	21.7	41.1	1.6
40～49歳	209	38.8	18.2	41.1	1.9
50～59歳	209	42.6	14.8	39.2	3.3
60～69歳	205	46.3	15.1	34.1	4.4
70～74歳	125	31.2	21.6	40.0	7.2
75～79歳	109	30.3	24.8	38.5	6.4
80歳以上	142	14.1	47.2	22.5	16.2

4. 福祉について

問 21 あなたは、福祉に関する次の用語や市の事業等について知っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

福祉に関する用語や市の事業等の認知度について、「名前も内容も知っている」と「名前を知っており、内容も少しは知っている」を合わせた「内容を知っている」では、(5) 民生委員・児童委員が57.4%と最も多く、次いで(1) 成年後見制度が50.3%、となっています。

n=1,270



(1) 成年後見制度について性別にみると、男性では「名前も内容も知らない」が26.5%、女性では「名前を知っており、内容も少しは知っている」が31.0%と、最も多くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「名前も内容も知らない」が4割台半ばから4割台後半、それ以外の年代では「名前を知っており、内容も少しは知っている」が2割台半ばから3割台半ばと、最も多くなっています。また、18～39歳では「内容を知らない」が5割台半ばから6割台半ばと、「内容を知っている」を上回っています。

(2) 生活困窮者自立支援制度について性別にみると、「内容を知っている」は女性の方が多くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「名前も内容も知らない」が3割台半ばから4割台前半、それ以外の年代では「名前は知っているが、内容は知らない」が3割台半ばから4割台半ばと、最も多くなっています。

	n	名前も内容も知 っている	名前を知ってお り、内容も少し は知っている	名前を知ってい るが、内容は知 らない	名前も内容も知 らない	無回答
(1) 成年後見制度						
男性	551	22.0	26.0	21.2	26.5	4.4
女性	670	21.9	31.0	20.4	21.6	4.9
18～29歳	94	19.1	14.9	17.0	48.9	0.0
30～39歳	129	19.4	22.5	10.9	45.7	1.6
40～49歳	209	20.1	30.1	24.4	23.4	1.9
50～59歳	209	23.0	32.5	21.5	18.7	4.3
60～69歳	205	25.4	31.2	25.4	15.1	2.9
70～74歳	125	20.0	36.8	21.6	14.4	7.2
75～79歳	109	22.0	29.4	24.8	17.4	6.4
80歳以上	142	23.9	24.6	15.5	21.1	14.8
(2) 生活困窮者自立支援制度						
男性	551	7.6	19.2	38.5	30.5	4.2
女性	670	12.1	24.8	36.4	21.2	5.5
18～29歳	94	8.5	13.8	35.1	42.6	0.0
30～39歳	129	4.7	24.8	32.6	35.7	2.3
40～49歳	209	7.2	18.2	44.5	28.2	1.9
50～59歳	209	10.0	25.4	36.4	24.9	3.3
60～69歳	205	15.1	23.9	38.5	18.5	3.9
70～74歳	125	10.4	30.4	36.0	16.8	6.4
75～79歳	109	13.8	21.1	35.8	22.0	7.3
80歳以上	142	9.9	18.3	34.5	21.1	16.2

(3) 地域包括支援センターについて性別にみると、男性では「名前も内容も知らない」が33.8%、女性では「名前は知っているが、内容は知らない」が29.4%と、最も多くなっています。

年代別にみると、18～49歳では「名前も内容も知らない」が4割台半ばから4割台後半、50～74歳では「名前は知っているが、内容は知らない」が3割台前半、75歳以上では「名前も内容も知っている」が2割台後半から3割台前半と、最も多くなっています。また、75歳以上では「内容を知っている」が4割台後半から5割台後半と多くなっています。

(4) 西東京市社会福祉協議会について性別にみると、男性では「名前も内容も知らない」が33.4%、女性では「名前は知っているが、内容は知らない」が38.5%と、最も多くなっています。

年代別にみると、18～39歳では「名前も内容も知らない」が4割台前半から4割台後半、40～79歳では「名前は知っているが、内容は知らない」が3割台前半から4割台前半、80歳以上では「名前も内容も知っている」が27.5%と、最も多くなっています。また、80歳以上では「内容を知っている」が多くなっています。

	n	名前も内容も知 っている	名前を知ってお り、内容も少し は知っている	名前を知ってい るが、内容は知 らない	名前も内容も知 らない	無回答
(3) 地域包括支援センター						
男性	551	15.4	16.5	30.1	33.8	4.2
女性	670	23.0	20.6	29.4	22.8	4.2
18～29歳	94	8.5	13.8	30.9	46.8	0.0
30～39歳	129	9.3	9.3	34.1	45.7	1.6
40～49歳	209	8.6	14.8	31.6	43.5	1.4
50～59歳	209	22.5	18.7	32.1	23.4	3.3
60～69歳	205	26.8	21.5	30.7	18.5	2.4
70～74歳	125	17.6	24.8	32.8	17.6	7.2
75～79歳	109	27.5	22.0	26.6	15.6	8.3
80歳以上	142	33.1	24.6	16.9	13.4	12.0
(4) 西東京市社会福祉協議会						
男性	551	11.4	18.1	32.5	33.4	4.5
女性	670	16.9	21.5	38.5	19.4	3.7
18～29歳	94	6.4	13.8	31.9	47.9	0.0
30～39歳	129	5.4	14.7	35.7	42.6	1.6
40～49歳	209	8.1	16.7	38.3	35.4	1.4
50～59歳	209	12.9	16.7	43.1	23.4	3.8
60～69歳	205	20.0	22.9	37.6	16.6	2.9
70～74歳	125	12.8	32.0	35.2	13.6	6.4
75～79歳	109	21.1	23.9	33.0	17.4	4.6
80歳以上	142	27.5	20.4	24.6	14.8	12.7

(5) 民生委員・児童委員について性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～39歳では「名前も内容も知らない」が3割台半ばから4割台前半、それ以外の年代では「名前を知っており、内容も少しは知っている」が3割台前半から4割台半ばと、最も多くなっています。また、18～39歳では「内容を知らない」が5割台後半から7割台半ばと多くなっています。

(6) ほっとするまちネットワークシステムについて性別にみると、全体と同様の傾向となっています。また、男性女性ともに、「内容を知らない」が8割台後半から9割台前半と、「内容を知っている」を上回っています。

年代別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、若い年代ほど「名前も内容も知らない」が多くなっています。

	n	名前も内容も知 っている	名前を知って おり、内容も少し は知っている	名前を知っている が、内容は知らない	名前も内容も 知らない	無回答
(5) 民生委員・児童委員						
男性	551	17.6	34.8	24.7	18.1	4.7
女性	670	23.3	38.5	22.5	11.2	4.5
18～29歳	94	7.4	19.1	33.0	40.4	0.0
30～39歳	129	8.5	31.8	24.0	34.1	1.6
40～49歳	209	12.9	43.1	24.9	17.7	1.4
50～59歳	209	21.5	37.3	29.7	7.2	4.3
60～69歳	205	26.8	40.5	22.9	6.3	3.4
70～74歳	125	23.2	46.4	20.0	4.0	6.4
75～79歳	109	29.4	31.2	20.2	11.9	7.3
80歳以上	142	33.1	33.8	12.0	7.0	14.1
(6) ほっとするまちネットワークシステム						
男性	551	2.5	2.7	13.8	76.4	4.5
女性	670	3.0	3.7	16.9	71.3	5.1
18～29歳	94	2.1	3.2	12.8	80.9	1.1
30～39歳	129	0.8	0.8	13.2	83.7	1.6
40～49歳	209	1.0	1.0	11.0	85.6	1.4
50～59歳	209	3.8	1.4	8.6	81.8	4.3
60～69歳	205	2.0	7.3	20.0	67.8	2.9
70～74歳	125	2.4	3.2	26.4	60.8	7.2
75～79歳	109	5.5	7.3	19.3	62.4	5.5
80歳以上	142	5.6	2.8	16.9	57.7	16.9

(7) ふれあいのまちづくり住民懇談会について性別・年代別ともに、全体と同様の傾向となっていますが、若い年代ほど「名前も内容も知らない」が多くなっています。

(8) ささえあいネットワークについて性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

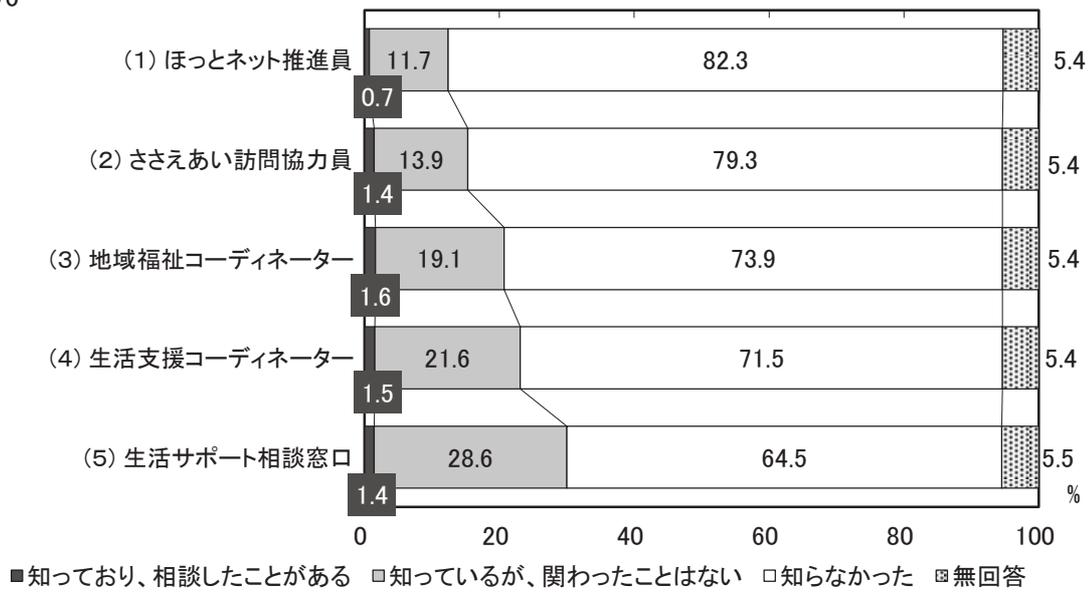
年代別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、若い年代ほど「名前も内容も知らない」が多くなっています。

	n	名前も内容も知 っている	名前を知ってお り、内容も少しは 知っている	名前を知っている が、内容は知らな い	名前も内容も知 らない	無回 答
(7) ふれあいのまちづくり住民懇談会						
男性	551	2.5	2.9	12.7	77.5	4.4
女性	670	2.7	3.4	19.1	70.1	4.6
18～29 歳	94	1.1	4.3	13.8	80.9	0.0
30～39 歳	129	0.8	0.8	14.0	82.9	1.6
40～49 歳	209	0.5	2.4	9.6	86.1	1.4
50～59 歳	209	3.3	2.4	12.0	78.5	3.8
60～69 歳	205	2.4	4.9	19.5	70.7	2.4
70～74 歳	125	2.4	3.2	27.2	60.0	7.2
75～79 歳	109	5.5	6.4	24.8	57.8	5.5
80 歳以上	142	5.6	2.1	14.8	61.3	16.2
(8) ささえあいネットワーク						
男性	551	3.1	3.3	13.4	76.0	4.2
女性	670	3.6	4.3	19.6	68.4	4.2
18～29 歳	94	2.1	5.3	16.0	76.6	0.0
30～39 歳	129	0.0	1.6	13.2	83.7	1.6
40～49 歳	209	0.5	2.4	10.5	85.2	1.4
50～59 歳	209	4.8	2.9	13.9	75.1	3.3
60～69 歳	205	3.4	6.8	20.5	66.8	2.4
70～74 歳	125	3.2	1.6	29.6	59.2	6.4
75～79 歳	109	6.4	9.2	16.5	62.4	5.5
80 歳以上	142	7.0	2.1	17.6	58.5	14.8

問 22 市が、西東京市社会福祉協議会と実施している(1)～(5)について、知っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

市が、西東京市社会福祉協議会と実施していることの認知度について、「知っており、相談したことがある」と「知っているが、関わったことはない」を合わせた「知っている」では、(5)生活サポート相談窓口が30.0%と最も多く、次いで(4)生活支援コーディネーターが23.1%、(3)地域福祉コーディネーターが20.7%となっています。

n=1,270



(1) ほっとネット推進員の認知度について性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、若い年代ほど「知らなかった」が多くなっています。また、全ての年代で、「知らなかった」が「知っている」を上回っています。

	n	知っており、 相談したこ とがある	知っているが、 関わったこ とはない	知らなかつた	無回 答
(1) ほっとネット推進員					
男性	551	0.7	10.2	84.6	4.5
女性	670	0.7	12.7	81.3	5.2
18～29 歳	94	0.0	10.6	89.4	0.0
30～39 歳	129	0.8	5.4	89.1	4.7
40～49 歳	209	0.5	4.8	91.4	3.3
50～59 歳	209	1.4	7.2	88.0	3.3
60～69 歳	205	0.0	15.6	81.5	2.9
70～74 歳	125	0.8	21.6	72.0	5.6
75～79 歳	109	0.9	20.2	76.1	2.8
80 歳以上	142	1.4	13.4	68.3	16.9

(2) ささえあい訪問協力員の認知度について性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、若い年代ほど「知らなかった」が多くなっています。

(3) 地域福祉コーディネーターの認知度について性別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、女性では「知っているが、関わったことはない」が22.8%と、男性に比べてやや多くなっています。

年代別にみると、全体と同様の傾向となっています。

	n	知っているが、 関わったこと はない	知っているが、 関わったこと はない	知らなかった	無回答
(2) ささえあい訪問協力員					
男性	551	1.3	10.9	83.1	4.7
女性	670	1.6	16.0	77.3	5.1
18～29 歳	94	0.0	9.6	90.4	0.0
30～39 歳	129	0.0	4.7	90.7	4.7
40～49 歳	209	0.5	7.2	89.0	3.3
50～59 歳	209	1.9	8.6	86.1	3.3
60～69 歳	205	1.5	17.6	77.6	3.4
70～74 歳	125	0.8	24.8	69.6	4.8
75～79 歳	109	2.8	24.8	68.8	3.7
80 歳以上	142	4.2	17.6	62.0	16.2
(3) 地域福祉コーディネーター					
男性	551	1.5	14.7	79.1	4.7
女性	670	1.5	22.8	70.6	5.1
18～29 歳	94	1.1	20.2	78.7	0.0
30～39 歳	129	0.0	20.9	74.4	4.7
40～49 歳	209	0.5	13.9	82.3	3.3
50～59 歳	209	1.4	16.3	78.9	3.3
60～69 歳	205	1.5	20.0	75.6	2.9
70～74 歳	125	1.6	25.6	66.4	6.4
75～79 歳	109	0.0	25.7	70.6	3.7
80 歳以上	142	5.6	16.9	62.0	15.5

(4) 生活支援コーディネーターの認知度について性別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、女性では「知っているが、関わったことはない」が25.5%と、男性に比べてやや多くなっています。

年代別にみると、全体と同様の傾向となっています。

(5) 生活サポート相談窓口の認知度について性別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、女性では「知っているが、関わったことはない」が32.4%と、男性に比べてやや多くなっています。

年代別にみると、全体と同様の傾向となっています。

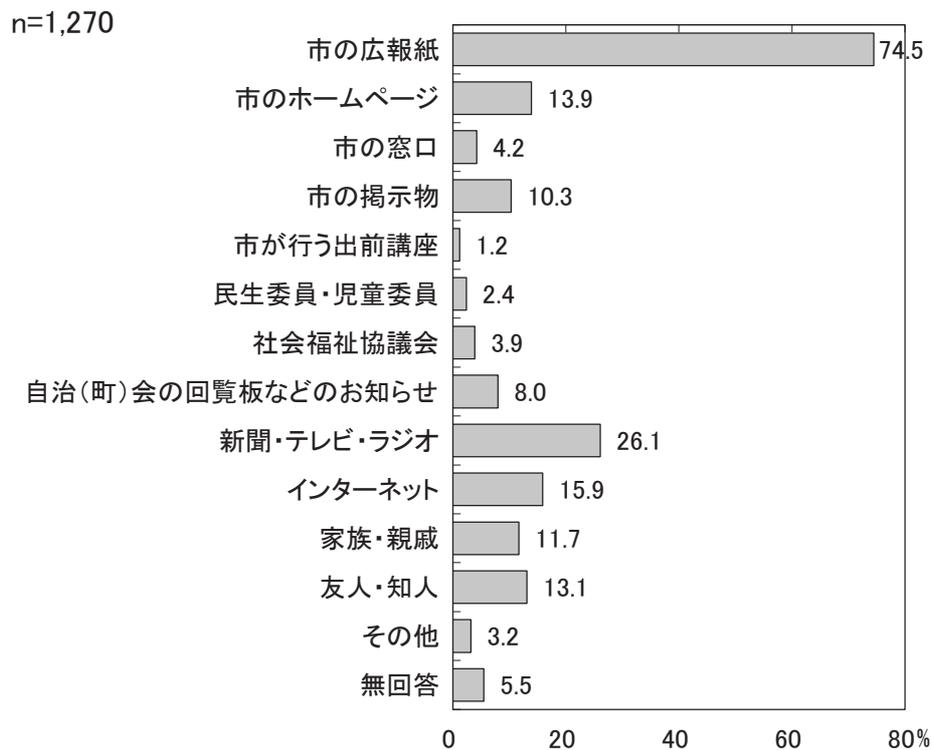
	n	知っているが、 関わったこと はない	知っているが、 関わったこと はない	知らなかった	無回答
(4) 生活支援コーディネーター					
男性	551	1.3	16.9	77.3	4.5
女性	670	1.3	25.5	67.9	5.2
18～29 歳	94	1.1	21.3	77.7	0.0
30～39 歳	129	0.8	24.8	69.8	4.7
40～49 歳	209	0.5	17.7	78.5	3.3
50～59 歳	209	1.0	16.7	78.5	3.8
60～69 歳	205	1.0	24.9	71.2	2.9
70～74 歳	125	2.4	27.2	64.0	6.4
75～79 歳	109	0.0	27.5	69.7	2.8
80 歳以上	142	4.2	17.6	62.7	15.5
(5) 生活サポート相談窓口					
男性	551	0.9	24.5	69.7	4.9
女性	670	1.6	32.4	60.9	5.1
18～29 歳	94	1.1	22.3	76.6	0.0
30～39 歳	129	0.8	31.0	63.6	4.7
40～49 歳	209	1.0	26.3	68.9	3.8
50～59 歳	209	1.9	23.0	71.8	3.3
60～69 歳	205	1.5	33.2	62.9	2.4
70～74 歳	125	0.8	36.8	56.0	6.4
75～79 歳	109	0.9	31.2	64.2	3.7
80 歳以上	142	2.1	28.9	52.8	16.2

問 23 あなたは、福祉に関する情報などをどのように得ていますか。(〇はあてはまるもの全て)

福祉に関する情報などの入手先については、「市の広報紙」が74.5%と最も多く、次いで「新聞・テレビ・ラジオ」が26.1%、「インターネット」が15.9%となっています。

性別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、女性では「市の広報紙」が78.8%と、男性に比べてやや多くなっています。

年代別にみると、18～49歳では「市のホームページ」が、18～59歳では「インターネット」が、60歳以上では「新聞・テレビ・ラジオ」が、他の年代に比べてやや多くなっています。



	n	市の広報紙	市のホームページ	市の窓口	市の掲示物	市が行う出前講座	民生委員・児童委員	社会福祉協議会
男性	551	69.7	15.8	3.1	8.3	1.1	2.2	3.3
女性	670	78.8	12.2	4.6	11.5	1.3	2.5	4.6
18～29 歳	94	45.7	18.1	2.1	7.4	0.0	1.1	2.1
30～39 歳	129	69.0	20.9	6.2	14.0	0.8	0.0	1.6
40～49 歳	209	77.0	20.6	1.4	6.7	0.5	0.5	1.4
50～59 歳	209	76.6	13.9	4.3	6.7	0.5	1.4	1.4
60～69 歳	205	78.0	9.3	3.4	13.7	1.0	3.4	3.9
70～74 歳	125	82.4	12.0	3.2	12.8	1.6	4.0	6.4
75～79 歳	109	85.3	5.5	5.5	14.7	2.8	2.8	7.3
80 歳以上	142	73.2	9.2	6.3	7.0	3.5	6.3	10.6

	n	板などのお知らせ 自治(町)会の回覧	新聞・テレビ・ラジオ	インターネット	家族・親戚	友人・知人	その他	無回答
男性	551	7.6	25.0	19.1	13.1	9.4	3.8	5.6
女性	670	8.2	26.7	13.4	10.3	16.3	3.0	4.3
18～29 歳	94	3.2	22.3	29.8	22.3	7.4	7.4	3.2
30～39 歳	129	5.4	14.0	20.9	10.9	7.8	4.7	6.2
40～49 歳	209	3.3	18.7	24.9	15.3	11.5	2.9	2.9
50～59 歳	209	4.8	23.9	22.0	9.6	12.9	2.4	3.8
60～69 歳	205	13.2	28.8	12.2	6.3	14.6	3.9	4.4
70～74 歳	125	12.8	33.6	8.0	11.2	16.0	1.6	5.6
75～79 歳	109	9.2	29.4	3.7	10.1	17.4	3.7	5.5
80 歳以上	142	12.0	40.1	2.1	11.3	16.9	2.1	9.2

問 24 あなたが、地域で暮らす中で困ったときは、誰(機関)に相談したいと思いますか。
(○はあてはまるもの全て)

地域で暮らす中で困ったときの相談相手については、「家族・親戚」が70.7%と最も多く、次いで「市役所」が46.8%、「友人・知人」が45.2%となっています。

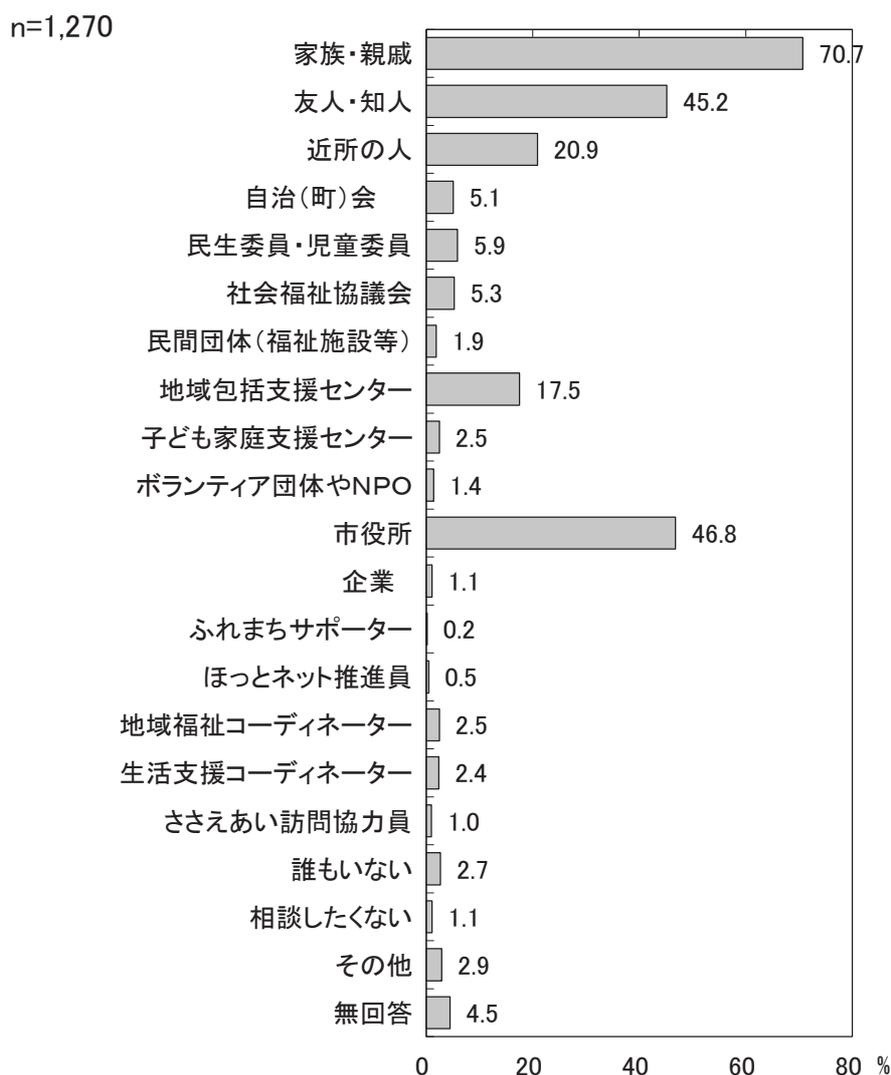
性別にみると、女性では「友人・知人」が53.1%と、男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、若い年代では「友人・知人」が多く、年代が上がるにつれ少なくなっています。また、80歳以上では「地域包括支援センター」が34.5%と、他の年代に比べて多くなっています。

圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

地域での人とのつきあいやかかわりが必要だと思えるか別にみると、“必要だと思う”“まあまあ必要だと思う”では「家族・親戚」「友人・知人」「近所の人」「地域包括支援センター」が、他の項目に比べて多くなっています。一方、“必要でない”では、「誰もいない」が1割を超えています。

福祉に関するボランティア活動への関心度別にみると、“非常に関心がある”“ある程度関心がある”では「近所の人」「地域包括支援センター」が、他の項目に比べてやや多くなっています。



	n	家族・親戚	友人・知人	近所の人	自治(町)会	民生委員・児童委員	社会福祉協議会	民間団体(福祉施設等)	地域包括支援センター	子ども家庭支援センター	ボランティア団体やNPO	市役所
男性	551	67.7	36.3	18.9	6.2	6.9	5.8	2.2	13.4	1.3	1.5	46.1
女性	670	74.0	53.1	23.0	4.3	4.9	4.8	1.6	20.7	3.4	1.3	48.1
18～29 歳	94	87.2	60.6	14.9	2.1	2.1	0.0	2.1	2.1	4.3	3.2	28.7
30～39 歳	129	82.9	58.9	24.8	6.2	0.8	2.3	1.6	4.7	10.9	0.0	45.7
40～49 歳	209	75.1	56.9	24.4	3.3	3.8	4.3	3.3	8.1	4.8	1.0	53.1
50～59 歳	209	64.1	45.0	17.7	3.3	4.3	5.3	2.9	18.2	0.5	3.3	48.8
60～69 歳	205	68.8	44.4	24.4	8.8	5.9	4.4	1.5	19.5	0.5	1.0	52.7
70～74 歳	125	68.0	36.8	15.2	4.8	9.6	8.0	0.0	27.2	0.0	1.6	44.8
75～79 歳	109	70.6	31.2	21.1	5.5	7.3	11.9	0.0	24.8	0.0	0.9	48.6
80 歳以上	142	61.3	27.5	22.5	6.3	13.4	6.3	2.1	34.5	0.0	0.0	42.3
圏域												
中部地区	281	69.0	44.5	17.4	4.3	4.6	4.6	2.1	19.6	2.8	2.1	49.1
西部地区	332	72.9	45.2	22.0	6.0	5.1	4.2	1.2	16.3	2.4	0.3	44.0
北東部地区	271	70.5	47.6	21.8	3.0	7.0	4.1	2.6	16.2	2.2	1.5	49.1
南部地区	336	72.0	45.2	22.9	6.8	6.5	7.7	1.8	17.6	2.4	1.8	47.3
問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかわりが必要だと思いますか												
必要だと思う	446	73.8	51.6	35.0	8.7	9.2	7.2	2.0	24.2	2.2	1.6	49.3
まあまあ必要だと思う	593	72.7	44.5	15.3	3.2	4.0	4.2	1.9	13.8	3.2	1.3	46.0
ほとんど必要ないと思う	103	60.2	35.9	3.9	1.0	1.0	1.0	1.9	10.7	1.9	1.0	35.0
必要でない	15	60.0	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	33.3
問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか												
非常に関心がある	51	66.7	47.1	27.5	9.8	13.7	15.7	3.9	29.4	0.0	2.0	49.0
ある程度関心がある	620	71.0	49.5	25.6	7.1	7.6	6.9	2.1	22.1	3.9	1.9	51.9
あまり関心がない	429	76.0	44.8	16.1	2.1	3.5	2.8	1.6	9.3	1.6	0.9	43.8
全く関心がない	94	62.8	26.6	11.7	2.1	2.1	0.0	1.1	12.8	1.1	1.1	33.0

	n	企業	ふれまちサポーター	ほっとネット推進員	地域福祉コーディネーター	生活支援コーディネーター	ささえあい訪問協力員	誰もいない	相談したくない	その他	無回答
男性	551	1.5	0.2	0.5	2.0	2.2	0.5	4.0	1.8	2.7	4.5
女性	670	0.9	0.1	0.4	3.1	2.5	1.3	1.6	0.6	3.1	3.4
18～29 歳	94	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	2.1	1.1
30～39 歳	129	3.1	0.0	1.6	3.1	3.1	0.0	0.0	0.8	0.8	4.7
40～49 歳	209	1.9	0.0	0.0	2.9	1.9	0.5	3.8	1.4	4.8	2.9
50～59 歳	209	1.0	0.5	0.5	1.9	1.9	0.5	4.3	1.0	4.8	3.3
60～69 歳	205	0.0	0.5	0.0	3.9	3.9	1.0	2.9	1.0	2.9	4.9
70～74 歳	125	0.0	0.0	0.0	1.6	1.6	1.6	4.0	3.2	3.2	4.0
75～79 歳	109	0.9	0.0	0.9	0.9	3.7	3.7	0.9	0.0	0.9	2.8
80 歳以上	142	0.0	0.0	1.4	4.9	2.1	1.4	2.8	0.7	1.4	7.0
圏域											
中部地区	281	1.8	0.4	0.7	2.8	2.5	0.7	2.8	1.8	2.1	4.3
西部地区	332	0.9	0.0	0.3	3.6	2.7	1.5	2.4	0.9	2.4	5.7
北東部地区	271	1.1	0.0	0.7	1.1	3.3	0.4	1.5	0.4	3.0	3.0
南部地区	336	0.6	0.3	0.3	2.7	1.2	1.2	3.9	1.2	4.2	2.7
問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかわりが必要だと考えますか											
必要だと思う	446	0.7	0.2	0.4	2.9	2.5	1.1	2.0	0.7	2.5	3.6
まあまあ必要だと思う	593	0.8	0.2	0.5	2.9	2.7	0.8	2.4	0.7	2.5	3.2
ほとんど必要ないと思う	103	1.9	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	7.8	5.8	3.9	3.9
必要でない	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	6.7
問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか											
非常に関心がある	51	0.0	0.0	2.0	5.9	3.9	3.9	2.0	0.0	5.9	2.0
ある程度関心がある	620	0.8	0.3	0.5	3.1	2.9	1.0	1.8	0.6	2.3	4.8
あまり関心がない	429	1.4	0.0	0.2	1.6	1.9	0.5	3.7	0.5	2.3	2.6
全く関心がない	94	2.1	0.0	0.0	0.0	2.1	0.0	5.3	6.4	7.4	3.2

問 25 あなたが、地域で暮らす中で、実際に相談したことがある窓口はどこですか。(問 24 の選択肢を参考にお書きください)また、相談してよかったこと(解決できたこと、相談してよかった機関名・団体名など)があればお書きください。

実際に相談したことがある窓口としては、「市役所」が 99 件、「地域包括支援センター」が 72 件と特に多く、次いで、「社会福祉協議会」が 12 件、「家族・親族」が 11 件、「友人・知人」が 10 件と続いています。

相談窓口	件数
市役所	99
地域包括支援センター	72
社会福祉協議会	12
家族・親族	11
友人・知人	10
民生委員・児童委員	8
近所の人	7
介護保険事業所	7
弁護士無料相談・市民相談	6
子育て支援センター・児童館	5
警察	5
自治(町)会	3
障害者相談支援センター・障害者総合支援センター	3
議員	3
消費者センター	2
その他	11

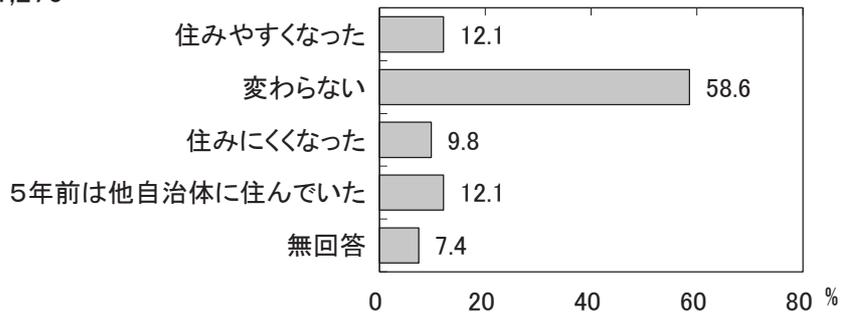
問 26 5年前と比べて、西東京市の住みやすさはどう変化しましたか。(○は1つ)

5年前と比べて、西東京市の住みやすさはどう変化したかについては、「変わらない」が58.6%と最も多く、次いで「住みやすくなった」、「5年前は他自治体に住んでいた」がともに12.1%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～39歳では「5年前は他自治体に住んでいた」が2割台半ばから3割台前半と、他の年代に比べて多くなっています。

n=1,270



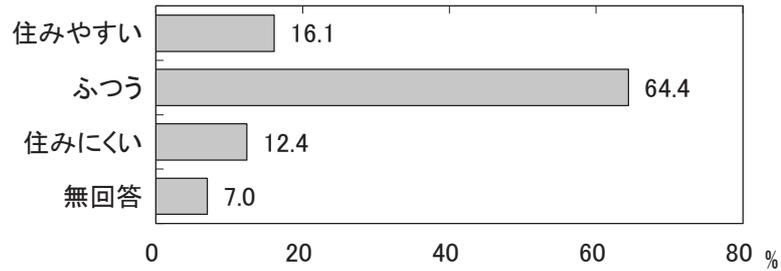
	n	住みやすくなった	変わらない	住みにくくなった	5年前は他自治体に住んでいた	無回答
男性	551	13.2	61.5	8.0	11.6	5.6
女性	670	10.9	57.5	10.9	12.8	7.9
18～29歳	94	12.8	51.1	8.5	24.5	3.2
30～39歳	129	8.5	45.7	6.2	33.3	6.2
40～49歳	209	12.4	61.7	11.0	11.5	3.3
50～59歳	209	8.1	65.6	11.0	10.0	5.3
60～69歳	205	10.7	60.5	9.8	10.2	8.8
70～74歳	125	14.4	63.2	8.8	8.0	5.6
75～79歳	109	14.7	60.6	11.0	3.7	10.1
80歳以上	142	16.9	58.5	8.5	2.8	13.4
圏域						
中部地区	281	10.3	62.3	8.5	10.7	8.2
西部地区	332	15.4	52.7	10.8	12.0	9.0
北東部地区	271	11.4	59.0	10.7	15.1	3.7
南部地区	336	10.4	63.4	8.3	11.6	6.3

問 27 あなたがお住まいのところは、高齢者や障害者、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

居住地区が、高齢者や障害者、子どもにとって住みやすいまちだと思うかについては、「ふつう」が64.4%と最も多く、次いで「住みやすい」が16.1%、「住みにくい」が12.4%となっています。

性別、年代別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

n=1,270



	n	住みやすい	ふつう	住みにくい	無回答
男性	551	16.0	67.5	10.5	6.0
女性	670	16.1	63.6	13.7	6.6
18～29 歳	94	17.0	67.0	13.8	2.1
30～39 歳	129	16.3	63.6	14.7	5.4
40～49 歳	209	13.4	65.6	15.8	5.3
50～59 歳	209	11.0	73.7	10.0	5.3
60～69 歳	205	15.1	61.5	16.1	7.3
70～74 歳	125	20.0	64.8	8.0	7.2
75～79 歳	109	19.3	66.1	9.2	5.5
80 歳以上	142	21.8	58.5	7.7	12.0
圏域					
中部地区	281	15.3	64.1	12.5	8.2
西部地区	332	16.3	64.2	12.3	7.2
北東部地区	271	12.9	69.4	12.5	5.2
南部地区	336	19.0	64.3	11.9	4.8

《問 27 で「3. 住みにくい」とお答えの方におたずねします》

問 27-1 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

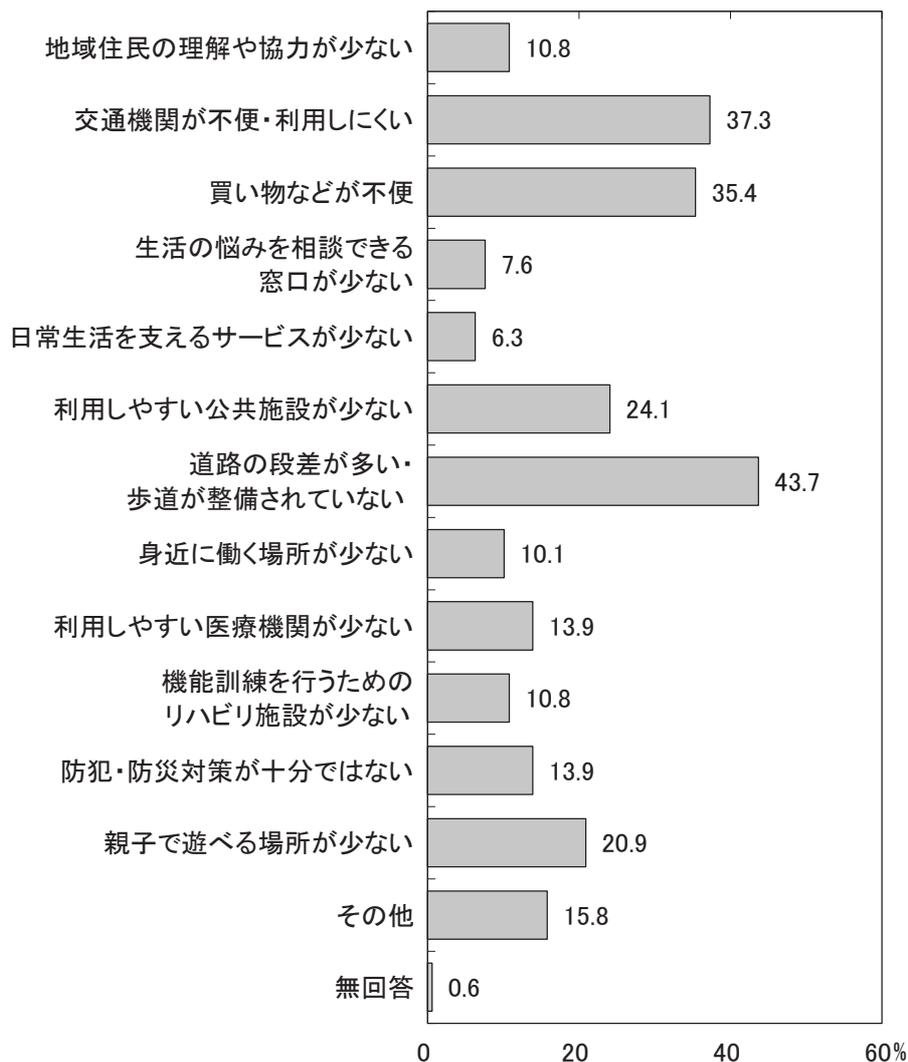
住みにくいと思う理由については、「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」が43.7%と最も多く、次いで「交通機関が不便・利用しにくい」が37.3%、「買い物などが不便」が35.4%となっています。

性別にみると、男性では「交通機関が不便・利用しにくい」「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」がともに37.9%、女性では「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」が45.7%と、最も多くなっています。

年代別にみると、30～39歳では「親子で遊べる場所が少ない」が52.6%、70歳以上では「買い物などが不便」が、80歳以上では「交通機関が不便・利用しにくい」が54.5%と多くなっています。

圏域別にみると、中部地区・西部地区では「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」が、北東部地区・南部地区では「買い物などが不便」が最も多くなっています。

n=158



	n	地域住民の理解や協力が少ない	交通機関が不便・利用しにくい	買い物などが不便	生活の悩みを相談できる窓口が少ない	日常生活を支えるサービスが少ない	利用しやすい公共施設が少ない	道路の段差が多い・歩道が整備されていない
男性	58	10.3	37.9	34.5	8.6	8.6	29.3	37.9
女性	92	12.0	34.8	32.6	6.5	5.4	20.7	45.7
18～29歳	13	0.0	53.8	23.1	0.0	0.0	15.4	69.2
30～39歳	19	10.5	31.6	31.6	0.0	0.0	21.1	36.8
40～49歳	33	6.1	24.2	24.2	9.1	6.1	21.2	36.4
50～59歳	21	28.6	28.6	23.8	14.3	9.5	33.3	52.4
60～69歳	33	9.1	39.4	33.3	9.1	9.1	27.3	45.5
70～74歳	10	10.0	50.0	60.0	0.0	0.0	10.0	40.0
75～79歳	10	20.0	30.0	50.0	20.0	20.0	50.0	20.0
80歳以上	11	9.1	54.5	54.5	0.0	9.1	9.1	36.4
圏域								
中部地区	35	8.6	28.6	17.1	8.6	8.6	25.7	40.0
西部地区	41	19.5	39.0	14.6	7.3	4.9	17.1	56.1
北東部地区	34	8.8	47.1	52.9	2.9	0.0	26.5	29.4
南部地区	40	7.5	30.0	50.0	10.0	12.5	27.5	42.5

	n	身近に働く場所が少ない	利用しやすい医療機関が少ない	機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない	防犯・防災対策が十分ではない	親子で遊べる場所が少ない	その他	無回答
男性	58	15.5	13.8	8.6	12.1	24.1	17.2	0.0
女性	92	6.5	14.1	10.9	16.3	18.5	16.3	1.1
18～29歳	13	0.0	0.0	23.1	15.4	23.1	23.1	0.0
30～39歳	19	21.1	26.3	0.0	10.5	52.6	47.4	0.0
40～49歳	33	12.1	6.1	3.0	15.2	30.3	9.1	0.0
50～59歳	21	14.3	19.0	9.5	14.3	4.8	19.0	0.0
60～69歳	33	6.1	12.1	15.2	15.2	9.1	15.2	0.0
70～74歳	10	10.0	30.0	20.0	10.0	30.0	0.0	0.0
75～79歳	10	10.0	30.0	20.0	30.0	10.0	10.0	0.0
80歳以上	11	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	9.1
圏域								
中部地区	35	11.4	5.7	11.4	11.4	25.7	25.7	2.9
西部地区	41	2.4	19.5	7.3	14.6	22.0	12.2	0.0
北東部地区	34	11.8	20.6	2.9	11.8	26.5	26.5	0.0
南部地区	40	15.0	10.0	17.5	20.0	10.0	5.0	0.0

問 28 地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解決する取り組みが必要だと思いませんか。(〇は1つ)

地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解決する取り組みが必要だと思うかについては、「どちらかといえば必要だと思う」が42.2%と最も多く、次いで「必要だと思う」が41.6%、「あまり必要ではない」が9.4%となっています。

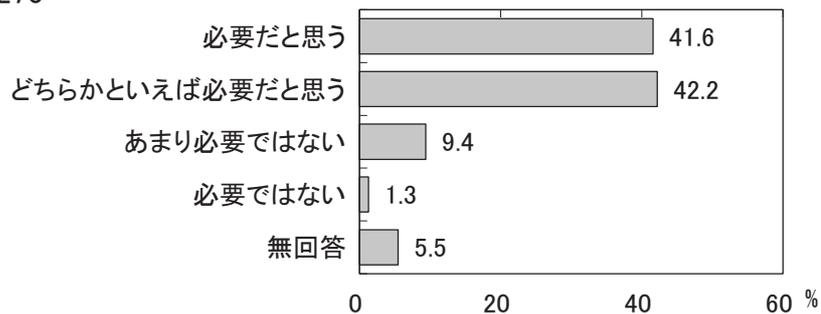
性別にみると、男性では「どちらかといえば必要だと思う」が43.9%、女性では「必要だと思う」が43.3%と、最も多くなっています。

年代別にみると、18～59歳では「どちらかといえば必要だと思う」が4割台半ばから5割台後半、60歳以上では「必要だと思う」が4割台前半から5割台前半と、最も多くなっています。

圏域別にみると、中部地区、北東部地区では「どちらかといえば必要だと思う」が4割台半ば、西部地区、南部地区では「必要だと思う」が4割台前半と、最も多くなっています。

地域での人とのつきあいやかかわりが必要だと考えるか別にみると、“(つきあいやかかわりが) 必要だと思う”では「(取り組みが) 必要だと思う」が55.8%、それ以外の項目では「どちらかといえば必要だと思う」が3割台後半から5割台前半と、最も多くなっています。

n=1,270



	n	必要だと思う	どちらかといえば必要だと思う	あまり必要ではない	必要ではない	無回答
男性	551	39.7	43.9	9.3	2.0	5.1
女性	670	43.3	41.9	9.4	0.7	4.6
18～29 歳	94	30.9	57.4	9.6	2.1	0.0
30～39 歳	129	35.7	44.2	10.1	3.9	6.2
40～49 歳	209	41.1	47.4	6.2	1.4	3.8
50～59 歳	209	37.3	51.2	7.2	1.0	3.3
60～69 歳	205	47.3	39.0	8.8	0.0	4.9
70～74 歳	125	42.4	40.8	9.6	1.6	5.6
75～79 歳	109	43.1	37.6	12.8	0.0	6.4
80 歳以上	142	51.4	24.6	14.1	1.4	8.5
圏域						
中部地区	281	39.9	44.8	7.8	1.8	5.7
西部地区	332	42.8	40.4	9.0	1.2	6.6
北東部地区	271	40.2	45.4	9.2	0.7	4.4
南部地区	336	43.5	41.7	11.0	1.5	2.4
問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかかわりが必要だと考えますか						
必要だと思う	446	55.8	33.2	5.6	0.9	4.5
まあまあ必要だと思う	593	33.7	50.3	10.8	0.7	4.6
ほとんど必要ないと思う	103	32.0	39.8	17.5	4.9	5.8
必要でない	15	26.7	46.7	6.7	20.0	0.0

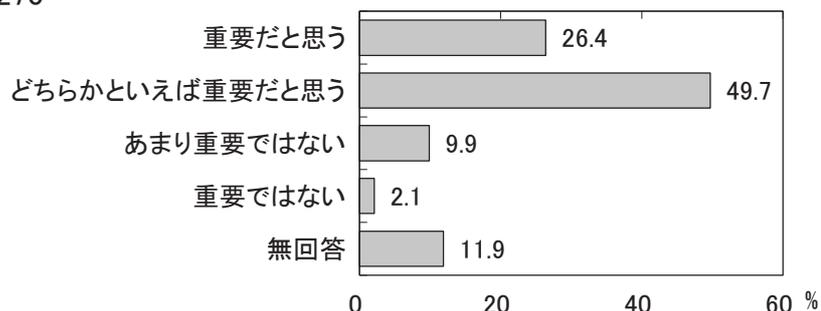
5. 「ほっとネット」について

問 29 市には、地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みがあります。このような仕組みについてどう思いますか。(〇は1つ)

地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みをどう思うかについては、「どちらかといえば重要だと思う」が49.7%と最も多く、次いで「重要だと思う」が26.4%、「あまり重要ではない」が9.9%となっています。

性別、年代別にみると、全体と同様の傾向となっています。

n=1,270



	n	重要だと思う	どちらかといえば重要だと思う	あまり重要ではない	重要ではない	無回答
男性	551	26.3	48.5	10.2	3.3	11.8
女性	670	26.6	51.8	9.4	1.2	11.0
18～29 歳	94	23.4	60.6	7.4	5.3	3.2
30～39 歳	129	20.9	64.3	9.3	2.3	3.1
40～49 歳	209	26.8	56.0	7.7	1.0	8.6
50～59 歳	209	26.8	53.1	8.6	1.9	9.6
60～69 歳	205	26.3	50.7	9.3	2.4	11.2
70～74 歳	125	29.6	40.0	13.6	0.0	16.8
75～79 歳	109	30.3	34.9	13.8	2.8	18.3
80 歳以上	142	26.8	38.0	10.6	2.8	21.8

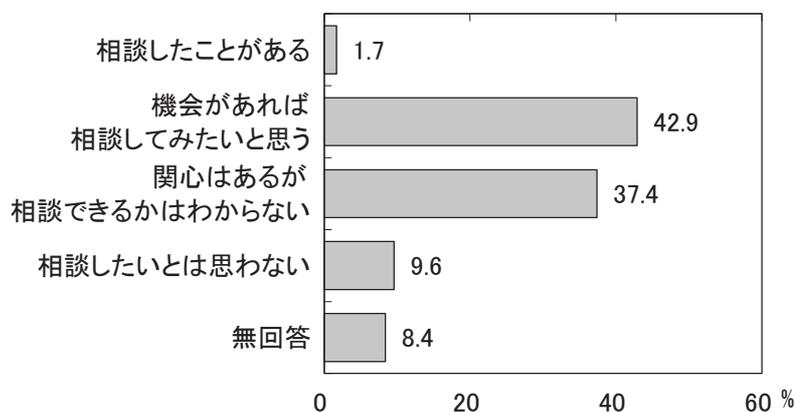
問 30 地域の皆さんからの、生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口として、「地域福祉コーディネーター」を設置しています。今後、日常生活の中で何か困りごとがあったときに、相談してみたいと思いますか。(〇は1つ)

生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口である「地域福祉コーディネーター」に、今後、日常生活の中で何か困りごとがあったときに、相談してみたいと思うかについては、「機会があれば相談してみたいと思う」が42.9%と最も多く、次いで「関心はあるが相談できるかはわからない」が37.4%、「相談したいとは思わない」が9.6%となっています。

性別にみると、女性では「機会があれば相談してみたいと思う」が46.9%と、男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、70～74歳では「関心はあるが相談できるかはわからない」が38.4%と最も多く、それ以外は「機会があれば相談してみたいと思う」が4割台で最も多くなっています。

n=1,270



	n	相談したことがある	機会があれば相談してみたいと思う	関心はあるが相談できるかはわからない	相談したいとは思わない	無回答
男性	551	1.5	39.0	38.5	12.2	8.9
女性	670	1.8	46.9	36.4	7.3	7.6
18～29歳	94	2.1	44.7	37.2	12.8	3.2
30～39歳	129	0.8	44.2	41.9	10.9	2.3
40～49歳	209	1.0	47.4	35.9	9.1	6.7
50～59歳	209	1.9	42.6	41.1	7.7	6.7
60～69歳	205	1.5	42.4	40.0	8.3	7.8
70～74歳	125	0.8	32.0	38.4	15.2	13.6
75～79歳	109	2.8	48.6	32.1	8.3	8.3
80歳以上	142	2.8	43.7	29.6	7.0	16.9

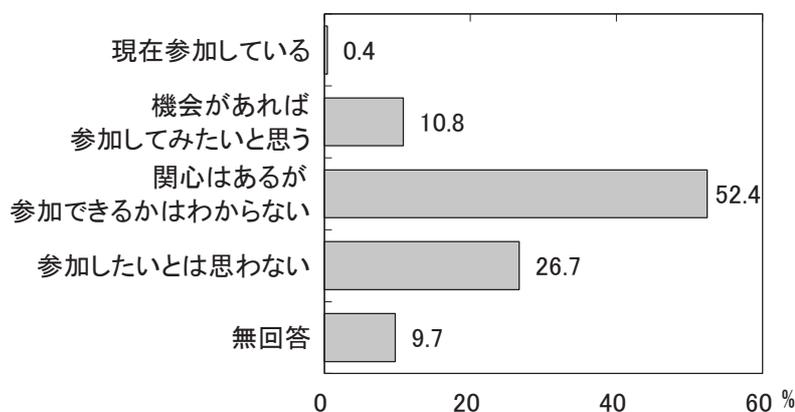
問 31 ほっとネットの中で、地域の問題や課題を発見し解決のために協力してくださる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。(〇は1つ)

地域の問題や課題を発見し解決のために協力してくださる市民の方(ほっとネット推進員)の活動に今後、参加してみたいと思うかについては、「関心はあるが参加できるかはわからない」が52.4%と最も多く、次いで「参加したいとは思わない」が26.7%、「機会があれば参加してみたいと思う」が10.8%となっています。

性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～39歳と75～79歳では、「機会があれば参加してみたいと思う」がやや多くなっています。

n=1,270



	n	現在参加している	機会があれば参加してみたいと思う	関心はあるが参加できるかはわからない	参加したいとは思わない	無回答
男性	551	0.5	10.7	50.6	29.0	9.1
女性	670	0.3	10.7	54.2	24.9	9.9
18～29歳	94	0.0	14.9	45.7	36.2	3.2
30～39歳	129	0.8	14.0	52.7	30.2	2.3
40～49歳	209	0.0	11.5	55.5	27.3	5.7
50～59歳	209	0.5	11.0	50.2	31.1	7.2
60～69歳	205	0.0	11.7	60.5	19.0	8.8
70～74歳	125	0.0	7.2	57.6	20.8	14.4
75～79歳	109	0.9	13.8	55.0	16.5	13.8
80歳以上	142	1.4	2.8	38.7	34.5	22.5

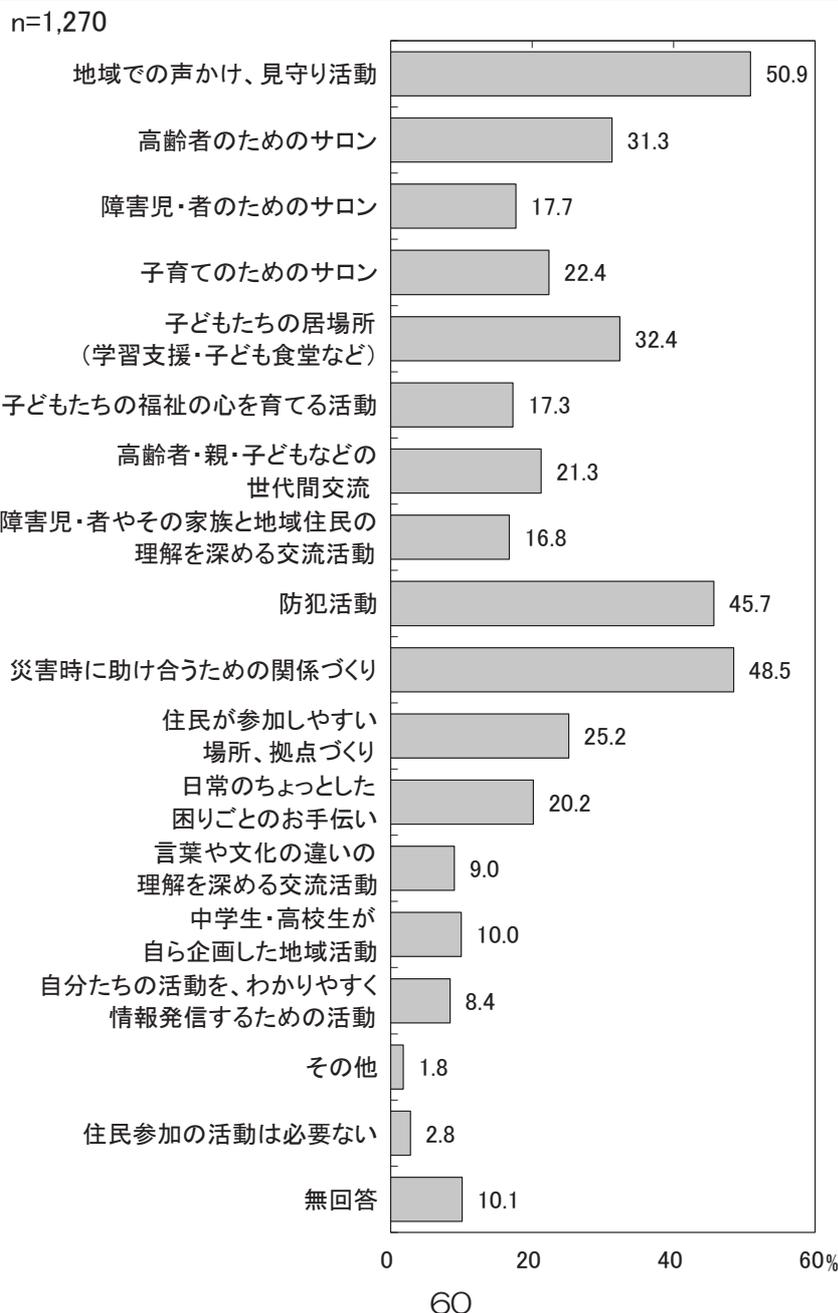
6. 今後について

問 32 あなたは、安心して暮らせるまちのために、住民参加の取り組みとしてどのような活動が重要だと思いますか。(〇はあてはまるもの全て)

安心して暮らせるまちのために、住民参加の取り組みとしてどのような活動が重要だと思うかについては、「地域での声かけ、見守り活動」が50.9%と最も多く、次いで「災害時に助け合うための関係づくり」が48.5%、「防犯活動」が45.7%となっています。

性別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、30～39歳では「子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)」が、「40～49歳では「防犯活動」が58.4%、60～69歳では「災害時に助け合うための関係づくり」が57.1%と、最も多くなっています。また、75～79歳では「高齢者のためのサロン」が43.1%、18～49歳では「子育てのためのサロン」が3割台前半から4割台前半、「子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)」が4割台前半から5割台後半と、他の年代に比べて多くなっています。



	n	地域での声かけ、見守り活動	高齢者のためのサロン	障害児・者のためのサロン	子育てのためのサロン	子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)	子どもたちの福祉の心を育てる活動	高齢者・親・子どもなどの世代間交流	障害児・者やその家族と地域住民の理解を深める交流活動	防犯活動
男性	551	48.3	28.9	16.7	21.1	31.8	16.9	20.7	16.2	45.4
女性	670	53.6	33.0	18.5	23.7	33.4	18.5	21.6	17.8	46.6
18～29 歳	94	51.1	27.7	22.3	37.2	40.4	18.1	12.8	12.8	44.7
30～39 歳	129	49.6	31.0	19.4	40.3	57.4	29.5	25.6	20.2	50.4
40～49 歳	209	49.8	34.0	24.4	30.6	45.5	21.1	28.7	22.5	58.4
50～59 歳	209	54.5	29.7	17.7	20.6	31.6	18.2	20.6	17.2	47.4
60～69 歳	205	54.1	28.8	15.6	17.1	28.3	16.1	18.0	15.1	46.3
70～74 歳	125	52.0	27.2	12.0	15.2	20.8	12.0	15.2	14.4	36.8
75～79 歳	109	50.5	43.1	17.4	12.8	16.5	13.8	26.6	16.5	40.4
80 歳以上	142	45.1	28.9	11.3	9.2	16.9	12.0	18.3	14.1	34.5
圏域										
中部地区	281	50.2	27.0	16.0	21.7	34.2	20.6	18.9	17.4	46.3
西部地区	332	53.9	28.6	16.0	24.1	33.1	18.4	20.5	15.4	49.1
北東部地区	271	46.1	32.5	18.1	21.8	30.6	15.5	20.3	17.0	42.1
南部地区	336	53.6	36.0	20.5	22.3	32.7	16.7	24.7	18.5	46.1

	n	災害時に助け合うための関係づくり	住民が参加しやすい場所、拠点づくり	日常のちょっとした困りごとのお手伝い	言葉や文化の違いの理解を深める交流活動	中学生・高校生が自ら企画した地域活動	自分たちの活動を、わかりやすく情報発信するための活動	その他	住民参加の活動は必要ない	無回答
男性	551	47.9	25.4	18.9	8.9	10.7	8.5	3.1	3.1	10.0
女性	670	49.6	24.9	21.8	8.8	9.9	8.5	0.9	2.1	9.9
18～29 歳	94	38.3	17.0	16.0	12.8	6.4	6.4	3.2	4.3	5.3
30～39 歳	129	46.5	26.4	20.9	10.1	15.5	3.9	0.8	4.7	3.9
40～49 歳	209	51.7	23.4	19.6	11.5	14.8	7.7	2.9	1.0	7.7
50～59 歳	209	54.1	20.1	18.7	12.4	11.0	7.2	2.9	2.9	7.7
60～69 歳	205	57.1	31.2	23.4	7.8	9.3	13.7	1.5	1.0	7.8
70～74 歳	125	46.4	25.6	16.8	4.8	5.6	7.2	0.8	1.6	16.0
75～79 歳	109	42.2	37.6	28.4	4.6	9.2	8.3	0.9	3.7	12.8
80 歳以上	142	40.8	21.1	19.7	4.2	6.3	11.3	1.4	3.5	20.4
圏域										
中部地区	281	44.8	21.4	14.9	9.3	10.7	8.9	1.8	2.5	11.0
西部地区	332	51.2	25.6	20.2	8.1	10.5	9.6	2.4	2.4	8.7
北東部地区	271	49.4	27.3	19.2	8.1	9.2	5.9	0.4	1.8	10.0
南部地区	336	49.4	26.5	26.5	9.8	10.4	9.2	2.4	3.3	9.8

問 33 上記(問 32)のような住民参加の取り組みを進めるにあたって、何が必要だと思えますか。(〇はあてはまるもの全て)

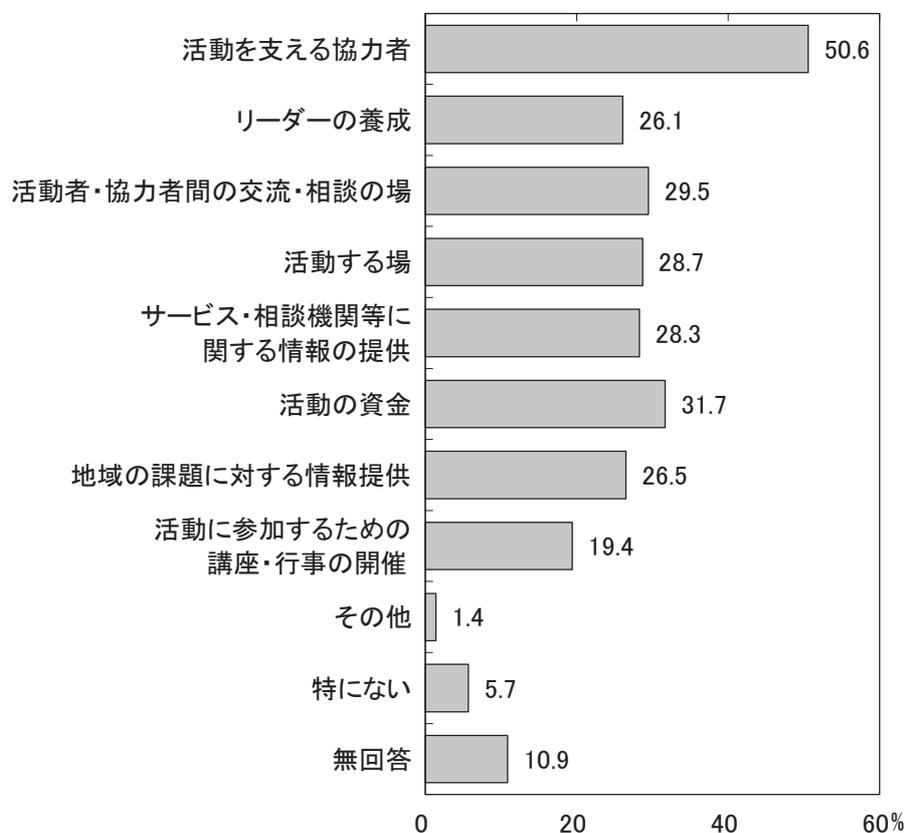
住民参加の取り組みを進めるにあたって、必要だと思うことについては、「活動を支える協力者」が50.6%と最も多く、次いで「活動の資金」が31.7%、「活動者・協力者間の交流・相談の場」が29.5%となっています。

性別にみると、女性では「活動を支える協力者」が男性に比べ多くなっています。

年代別にみると、全体と同様の傾向となっていますが、30～39歳では「活動する場」が40.3%、40～49歳では「活動の資金」が40.2%と、他の年代に比べて多くなっています。

圏域別にみると、中部地区では「活動する場」が、西部地区では「サービス・相談機関等に関する情報の提供」と「地域の課題に対する情報提供」が他の地区に比べ多くなっています。

n=1,270



	n	活動を支える協力者	リーダーの養成	活動者・協力者間の交流・相談の場	活動する場	サービス・相談機関等に関する情報の提供	活動の資金	地域の課題に対する情報の提供	活動に参加するための講座・行事の開催	その他	特になし	無回答
男性	551	45.7	26.3	28.9	28.3	27.6	33.2	27.4	18.9	1.1	6.7	10.5
女性	670	55.2	26.4	29.9	29.6	29.9	30.6	26.0	20.3	1.6	4.5	10.6
18～29 歳	94	48.9	17.0	35.1	36.2	26.6	37.2	25.5	9.6	3.2	8.5	3.2
30～39 歳	129	55.0	24.0	34.1	40.3	27.1	37.2	23.3	19.4	0.8	3.1	3.1
40～49 歳	209	51.7	26.3	34.0	34.0	34.9	40.2	31.1	23.9	2.4	4.8	8.1
50～59 歳	209	51.2	26.8	33.0	28.7	31.6	32.1	25.4	23.9	1.4	4.8	7.7
60～69 歳	205	50.7	28.8	26.3	28.8	32.2	27.3	33.2	22.0	2.0	3.4	9.3
70～74 歳	125	50.4	28.8	23.2	16.0	25.6	22.4	20.0	16.0	0.0	4.8	19.2
75～79 歳	109	52.3	31.2	29.4	29.4	22.0	27.5	22.0	22.9	0.0	12.8	11.0
80 歳以上	142	46.5	24.6	19.0	18.3	21.8	28.2	25.4	11.3	0.7	5.6	24.6
圏域												
中部地区	281	48.8	21.7	24.9	32.0	27.8	31.3	21.7	16.0	0.7	6.4	11.7
西部地区	332	52.7	27.4	32.5	28.9	33.4	34.9	33.4	21.4	1.8	3.9	11.4
北東部地区	271	49.8	27.7	27.3	27.3	26.2	30.6	24.0	17.3	1.1	4.8	10.7
南部地区	336	52.1	28.3	31.8	28.0	27.1	30.1	26.2	22.9	1.8	6.8	8.6

問 34 今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(〇は1つ)

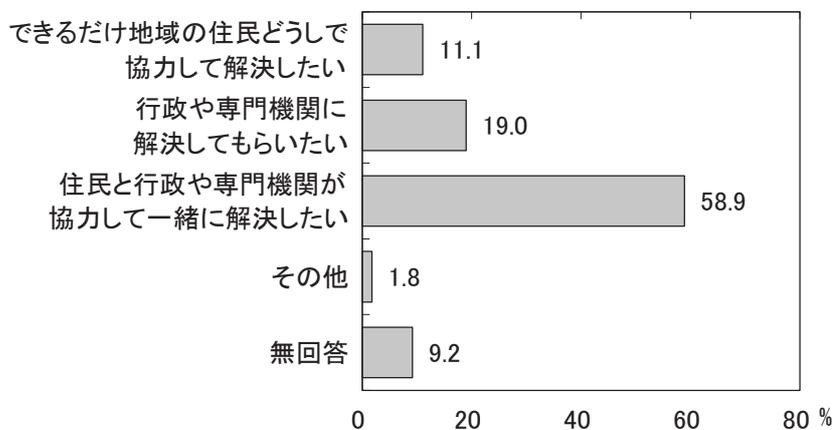
今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思うかについては、「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」が 58.9%と最も多く、次いで「行政や専門機関に解決してもらいたい」が 19.0%、「できるだけ地域の住民どうして協力して解決したい」が 11.1%となっています。

性別、圏域別にみると、全体と同様の傾向となっています。

年代別にみると、18～29 歳では「できるだけ地域の住民どうして協力して解決したい」が 21.3%と、他の年代に比べてやや多くなっています。

地域での人とのつきあいやかかわりが必要だと考えるか別にみると、“必要でない”では「行政や専門機関に解決してもらいたい」が 73.3%と、他の項目に比べて多くなっています。

n=1,270



	n	できるだけ地域の住民どうして協力して	行政や専門機関に解決してもらいたい	住民と行政や専門機関が協力して一緒に	その他	無回答
男性	551	12.7	20.0	56.3	2.2	8.9
女性	670	9.1	18.2	61.9	1.6	9.1
18～29 歳	94	21.3	21.3	52.1	1.1	4.3
30～39 歳	129	8.5	23.3	65.9	0.0	2.3
40～49 歳	209	5.3	19.1	66.0	2.9	6.7
50～59 歳	209	3.3	19.6	68.4	1.0	7.7
60～69 歳	205	11.2	19.0	59.0	2.4	8.3
70～74 歳	125	12.0	13.6	56.8	2.4	15.2
75～79 歳	109	17.4	21.1	47.7	0.9	12.8
80 歳以上	142	17.6	15.5	47.2	3.5	16.2
圏域						
中部地区	281	7.8	20.6	59.1	2.1	10.3
西部地区	332	12.3	15.4	60.8	2.7	8.7
北東部地区	271	8.1	20.7	60.1	1.5	9.6
南部地区	336	13.7	19.9	57.4	1.2	7.7
問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかかわりが必要だと考えますか						
必要だと思う	446	16.4	11.4	62.1	1.1	9.0
まあまあ必要だと思う	593	9.1	20.6	61.2	1.3	7.8
ほとんど必要ないと思う	103	5.8	38.8	42.7	4.9	7.8
必要でない	15	6.7	73.3	6.7	13.3	0.0

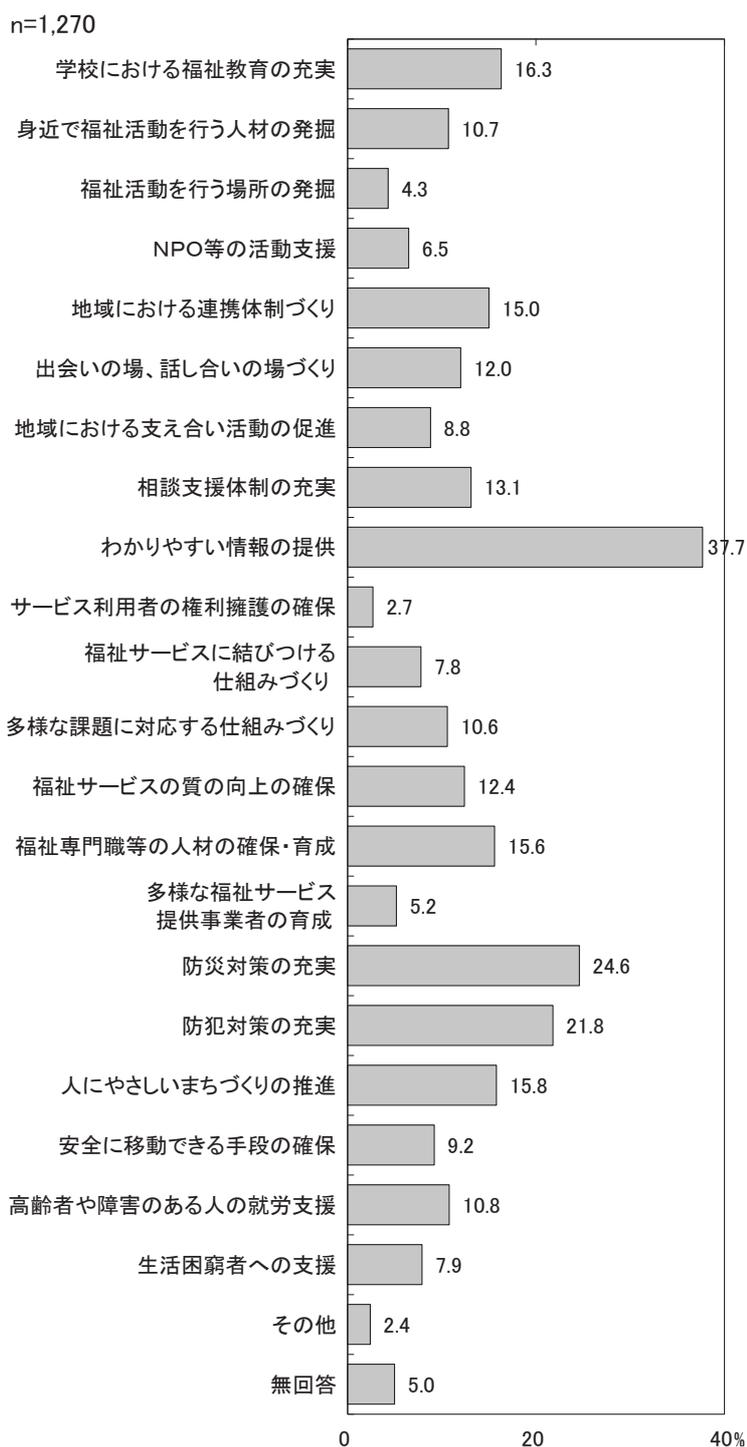
問 35 地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれですか。

(〇は3つまで)

地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれかについては、「わかりやすい情報の提供」が37.7%と最も多く、次いで「防災対策の充実」が24.6%、「防犯対策の充実」が21.8%となっています。

性別にみると、女性では「わかりやすい情報の提供」が41.3%と、男性に比べて多くなっています。

年代別にみると、18～59歳では「防災対策の充実」が、30～69歳では「多様な課題に対応する仕組みづくり」が、他の年代に比べて多くなっています。



	n	学校における福祉教育の充実	身近で福祉活動を行う人材の発掘	福祉活動を行う場所の発掘	NPO等の活動支援	地域における連携体制づくり	出会いの場、話し合いの場づくり	地域における支え合い活動の促進	相談支援体制の充実	わかりやすい情報の提供	サービス利用者の権利擁護の確保	福祉サービスに結びつける仕組みづくり
男性	551	16.0	10.0	4.7	7.3	16.5	13.6	8.0	13.4	33.2	3.4	7.6
女性	670	16.3	12.1	4.0	5.5	14.0	11.0	9.9	13.7	41.3	2.2	8.2
18～29 歳	94	23.4	8.5	4.3	1.1	14.9	14.9	6.4	10.6	39.4	3.2	6.4
30～39 歳	129	23.3	10.9	4.7	3.9	12.4	14.0	14.7	7.8	35.7	0.8	7.0
40～49 歳	209	21.1	5.7	1.9	5.7	16.7	8.6	3.8	13.9	44.5	1.4	8.6
50～59 歳	209	15.3	12.0	3.8	6.7	20.6	12.0	8.1	17.2	36.8	4.8	9.1
60～69 歳	205	12.2	10.2	4.4	8.3	15.6	11.2	9.8	15.6	42.0	3.9	10.7
70～74 歳	125	12.8	16.0	4.8	7.2	12.0	12.8	9.6	12.8	36.0	1.6	4.0
75～79 歳	109	11.9	15.6	6.4	5.5	15.6	17.4	14.7	11.0	35.8	2.8	4.6
80 歳以上	142	10.6	13.4	6.3	9.2	9.2	11.3	9.2	14.8	26.1	2.8	9.2

	n	多様な課題に対応する仕組みづくり	福祉サービスの質の向上の確保	福祉専門職等の人材の確保・育成	多様な福祉サービス提供事業者の育成	防災対策の充実	防犯対策の充実	人にやさしいまちづくりの推進	安全に移動できる手段の確保	高齢者や障害のある人の就労支援	生活困窮者への支援	その他	無回答
男性	551	11.8	11.1	14.5	4.9	27.0	23.8	16.7	8.5	11.8	8.2	3.4	3.8
女性	670	10.1	13.3	16.9	5.4	22.2	19.3	15.4	9.4	9.9	7.5	1.8	5.7
18～29 歳	94	9.6	12.8	6.4	3.2	33.0	23.4	16.0	9.6	9.6	8.5	3.2	2.1
30～39 歳	129	13.2	10.1	12.4	4.7	27.9	24.0	22.5	14.0	10.1	7.8	4.7	1.6
40～49 歳	209	14.8	7.7	14.8	4.3	34.0	34.4	15.8	8.6	9.6	6.2	2.9	3.3
50～59 歳	209	12.0	12.9	19.6	7.7	30.1	23.0	11.5	5.7	11.5	7.7	1.4	1.4
60～69 歳	205	13.7	15.1	17.1	4.9	20.5	21.5	21.0	10.7	11.2	6.8	3.4	3.9
70～74 歳	125	6.4	14.4	17.6	4.8	16.0	4.8	12.8	9.6	12.0	9.6	1.6	10.4
75～79 歳	109	5.5	11.9	16.5	3.7	16.5	13.8	11.9	4.6	12.8	10.1	1.8	7.3
80 歳以上	142	6.3	14.1	16.9	6.3	12.0	15.5	15.5	10.6	9.2	7.7	1.4	11.3

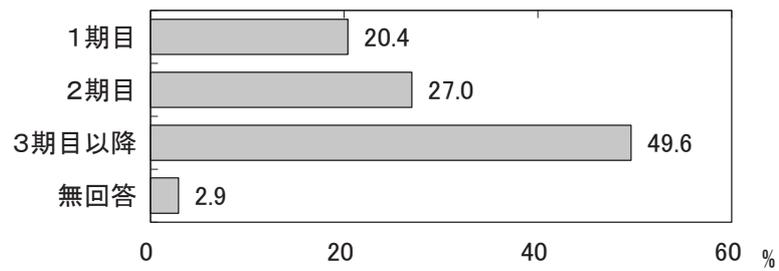
Ⅲ 民生委員・児童委員調査結果

1. 活動について

問1 あなたは現在何期目ですか。(○は1つ)

現在民生委員・児童委員が何期目かについては、「3期目以降」が49.6%と最も多く、次いで「2期目」が27.0%、「1期目」が20.4%となっています。

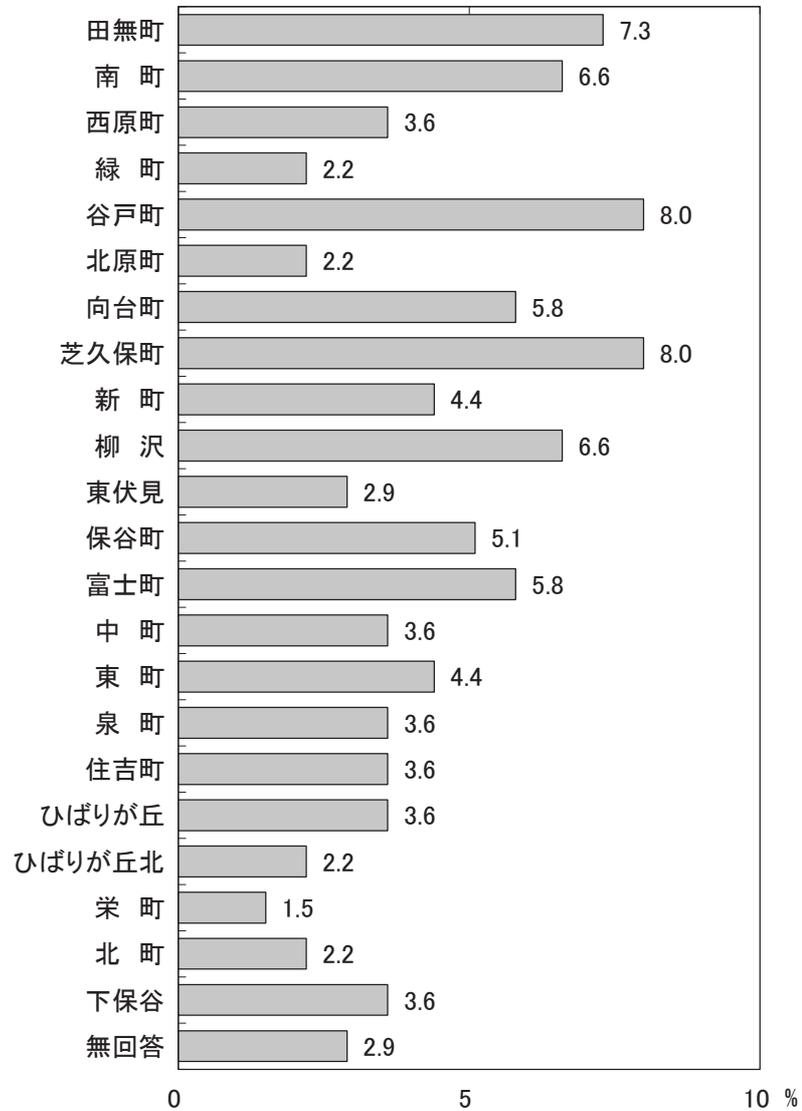
n=137



問2 あなたが担当されている地区はどちらですか。(〇は1つ)

担当地区は、「谷戸町」、「芝久保町」がともに8.0%と最も多く、次いで「田無町」が7.3%となっています。

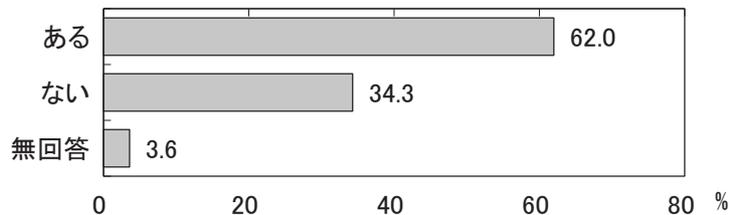
n=137



問3 あなたは、地域の課題を解決するために、行政(市、県、国などの行政機関)に相談したり、手助けを求めたりしたことがありますか。(〇は1つ)

地域の課題を解決するために、行政(市、県、国などの行政機関)に相談したり、手助けを求めたりしたことがあるかについては、「ある」が62.0%と、「ない」の34.3%を上回っています。

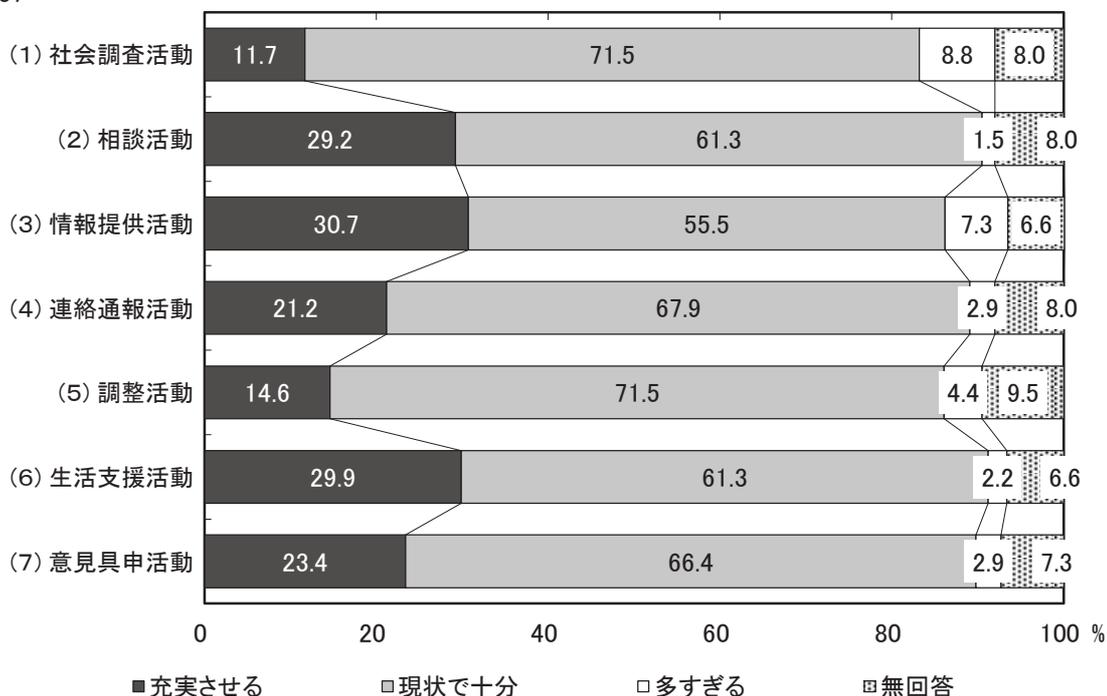
n=137



問4 あなたは、民生委員・児童委員活動をどのようにお考えですか。(〇はそれぞれ1つずつ)

民生委員・児童委員活動への考え方について、「充実させる」では、(3)情報提供活動が30.7%と最も多く、次いで(6)生活支援活動が29.9%、(2)相談活動が29.2%となっています。

n=137



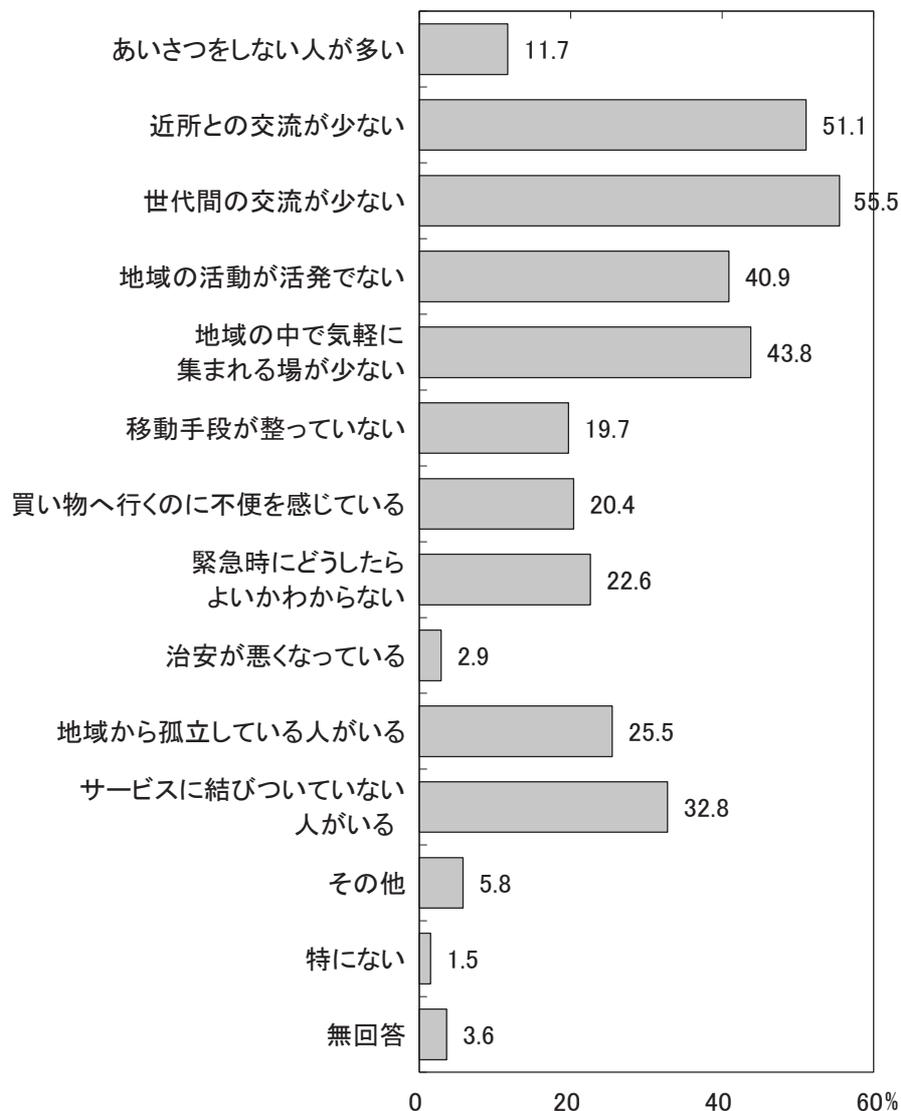
2. 地域について

問5 現在、担当されている地域の中で課題に感じることは何ですか。(〇はあてはまるもの全て)

現在、担当地域の中で課題に感じることについては、「世代間の交流が少ない」が55.5%と最も多く、次いで「近所との交流が少ない」が51.1%、「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」が43.8%となっています。

担当地区別にみると、北東部地区では「地域の中で気軽に集まれる場が少ない」が特に多くなっています。

n=137



	n	あいさつをしない人が多い	近所との交流が少ない	世代間の交流が少ない	地域の活動が活発でない	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	移動手段が整っていない	買い物へ行くのに不便を感じている	緊急時にどついたらよいかわからない
担当地区									
中部地区	30	6.7	60.0	56.7	43.3	43.3	23.3	10.0	30.0
西部地区	35	17.1	57.1	60.0	57.1	40.0	8.6	8.6	11.4
北東部地区	32	18.8	50.0	46.9	43.8	53.1	28.1	28.1	28.1
南部地区	36	5.6	44.4	63.9	25.0	44.4	22.2	36.1	25.0

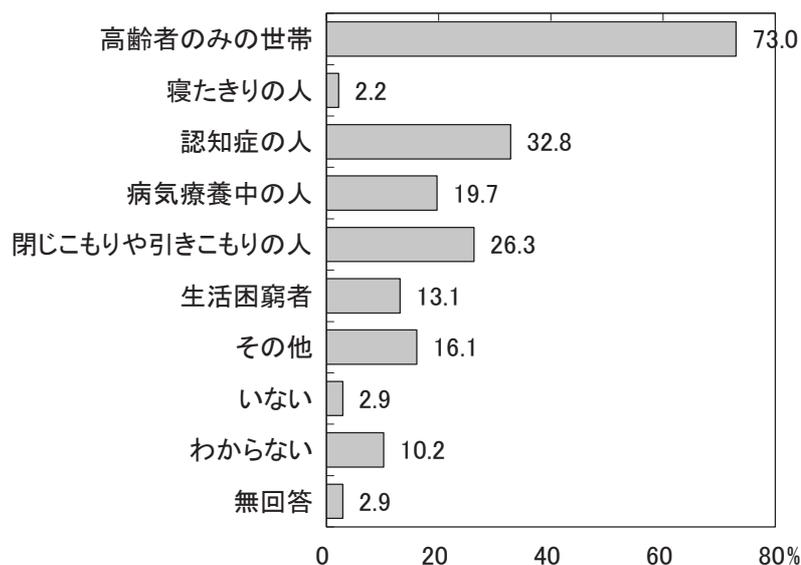
	n	治安が悪くなっている	地域から孤立している人がいる	サービスに結びついていない人がいる	その他	特にない	無回答
担当地区							
中部地区	30	3.3	23.3	33.3	6.7	3.3	0.0
西部地区	35	5.7	28.6	25.7	11.4	2.9	0.0
北東部地区	32	3.1	31.3	37.5	6.3	0.0	3.1
南部地区	36	0.0	22.2	38.9	0.0	0.0	0.0

問6 現在、担当されている地域の中で、次のような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいますか。(〇はあてはまるもの全て)

現在、担当地域の中で、どのような見守り等支援が必要な人や、気にかかる人(何らかの課題を抱えている人)がいるかについては、「高齢者のみの世帯」が73.0%と最も多く、次いで「認知症の人」が32.8%、「閉じこもりや引きこもりの人」が26.3%となっています。

担当地区別にみると、西部地区では「認知症の人」が、中部地区では「病気療養中の人」が、北東部地区では、「生活困窮者」が他の地区に比べ多くなっています。

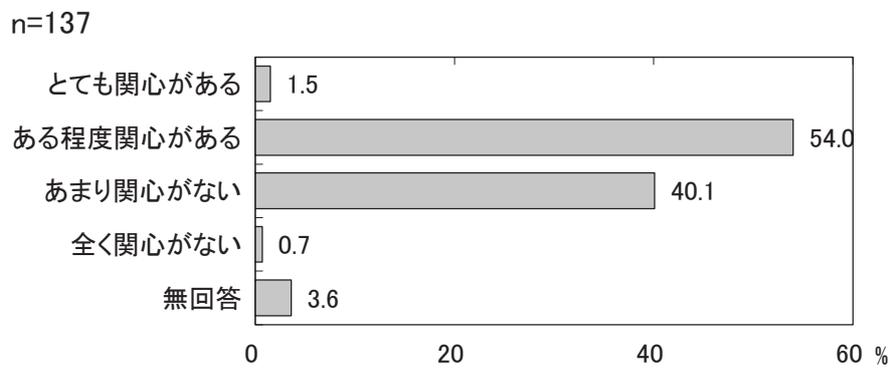
n=137



	n	高齢者のみの世帯	寝たきりの人	認知症の人	病気療養中の人	閉じこもりや引きこもりの人	生活困窮者	その他	いない	わからない	無回答
担当地区											
中部地区	30	73.3	3.3	26.7	30.0	30.0	13.3	23.3	0.0	3.3	0.0
西部地区	35	68.6	2.9	51.4	17.1	25.7	14.3	8.6	0.0	22.9	0.0
北東部地区	32	84.4	3.1	28.1	18.8	21.9	21.9	12.5	6.3	6.3	0.0
南部地区	36	75.0	0.0	27.8	16.7	30.6	5.6	22.2	5.6	8.3	0.0

問7 担当の地域の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思いますか。(○は1つ)

担当地域の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思うかについては、「ある程度関心がある」が54.0%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が40.1%、「とても関心がある」が1.5%となっています。

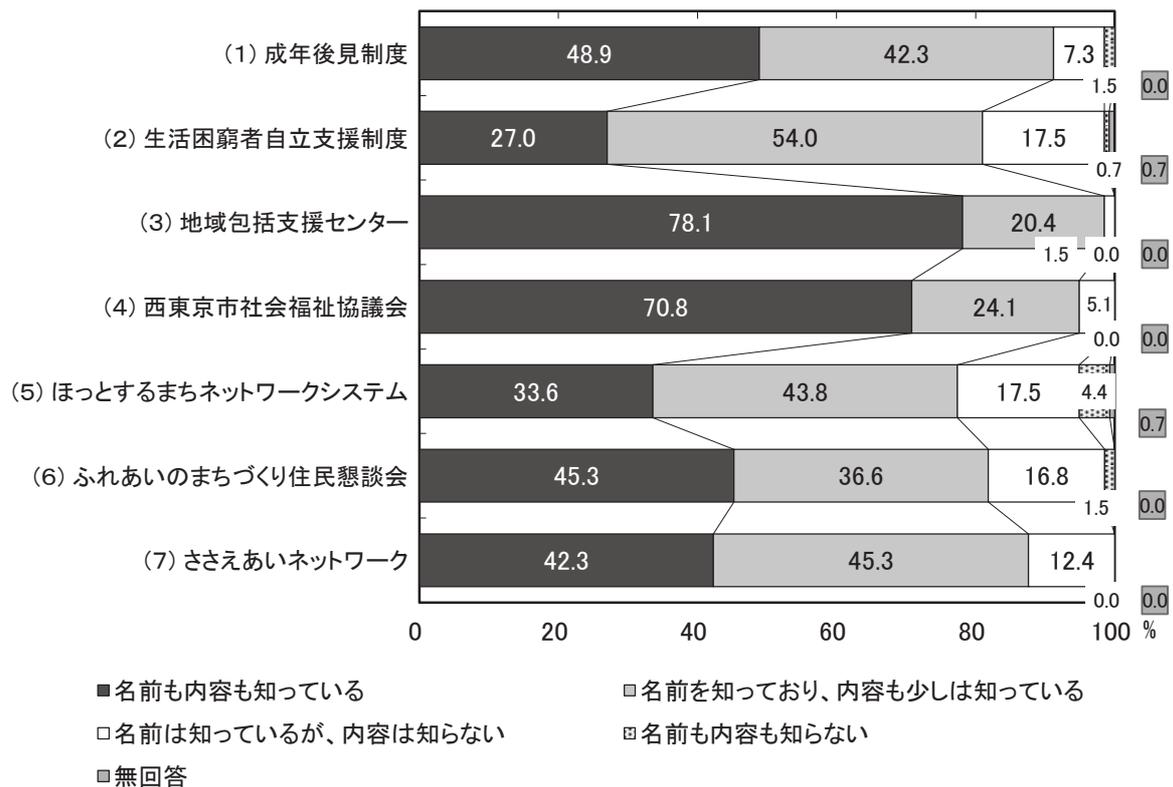


3. 福祉について

問 8 あなたは、福祉に関する次の用語や市の事業等について知っていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

福祉に関する用語や市の事業等の認知度について、「名前も内容も知っている」と「名前を知っており、内容も少しは知っている」を合わせた「内容を知っている」では、(3)地域包括支援センターが 98.5%と最も多く、次いで(4)西東京市社会福祉協議会が 94.9%、(1)成年後見制度が 91.2%となっています。

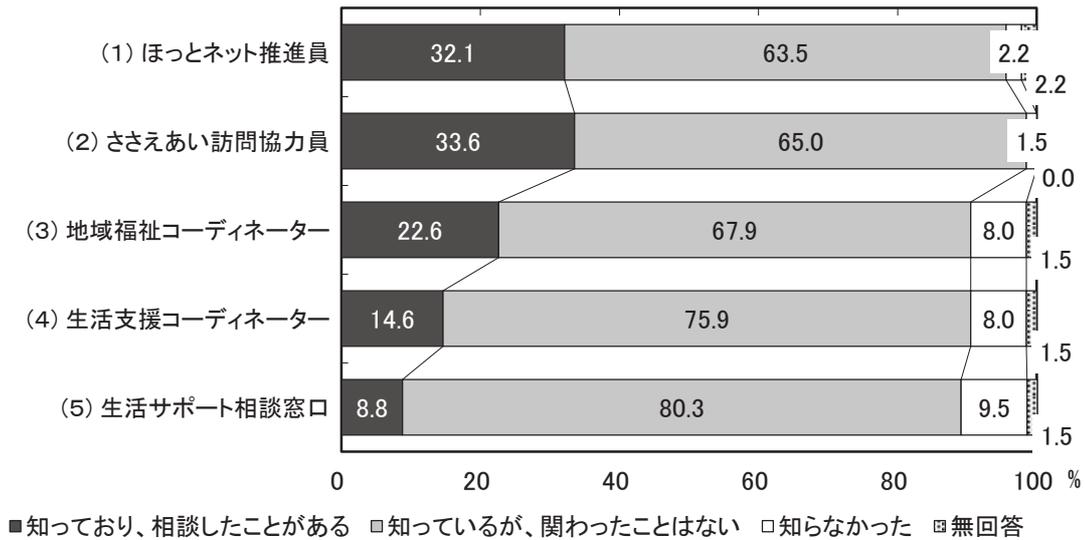
n=137



問9 市が、西東京市社会福祉協議会と実施している(1)~(5)について、民生委員・児童委員として、相談や連携をしたことはありますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

市が、西東京市社会福祉協議会と実施していることを、民生委員・児童委員として、相談や連携をしたことがあるかについて、「知っており、相談したことがある」と「知っているが、関わったことはない」を合わせた「知っている」では、(2)ささえあい訪問協力員が98.6%と最も多く、次いで(1)ほっとネット推進員”が95.6%、(3)地域福祉コーディネーター、(4)生活支援コーディネーターがともに90.5%となっています。

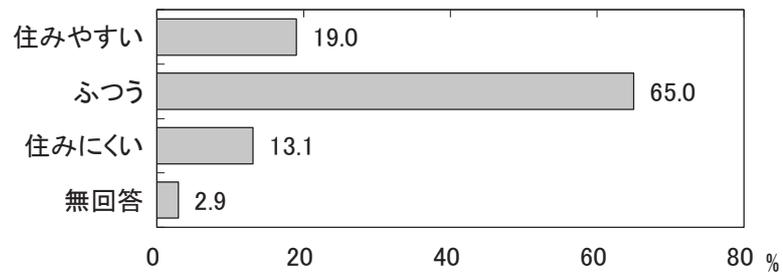
n=137



問 10 担当されている地域は、高齢者や障がい者、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(〇は1つ)

担当地域は、高齢者や障がい者、子どもにとって住みやすいまちだと思うかについては、「ふつう」が65.0%と最も多く、次いで「住みやすい」が19.0%、「住みにくい」が13.1%となっています。

n=137

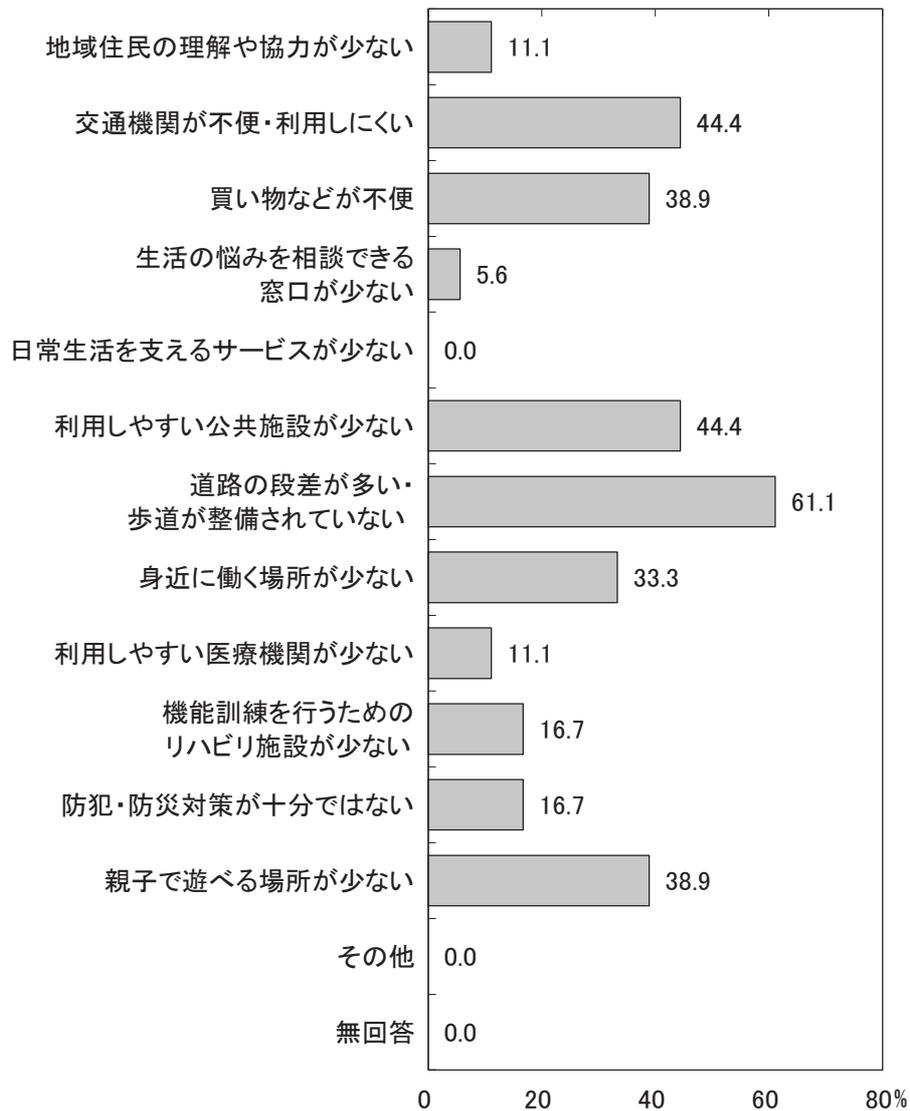


《問 10 で「3. 住みにくい」とお答えの方におたずねします》

問 10-1 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

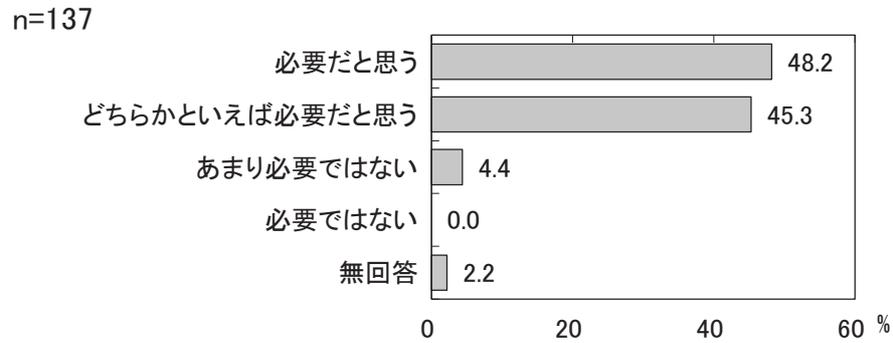
住みにくいと思う理由は、「道路の段差が多い・歩道が整備されていない」が61.1%と最も多く、次いで「交通機関が不便・利用しにくい」、「利用しやすい公共施設が少ない」がともに44.4%となっています。

n=18



問 11 地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解消する取り組みが必要だと思いませんか。(○は1つ)

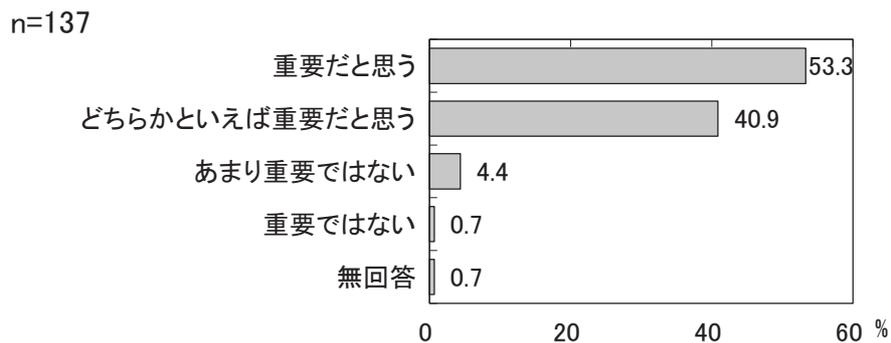
地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解消する取り組みが必要だと思うかについては、「必要だと思う」が48.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば必要だと思う」が45.3%、「あまり必要ではない」が4.4%となっています。



4. 「ほっとネット」について

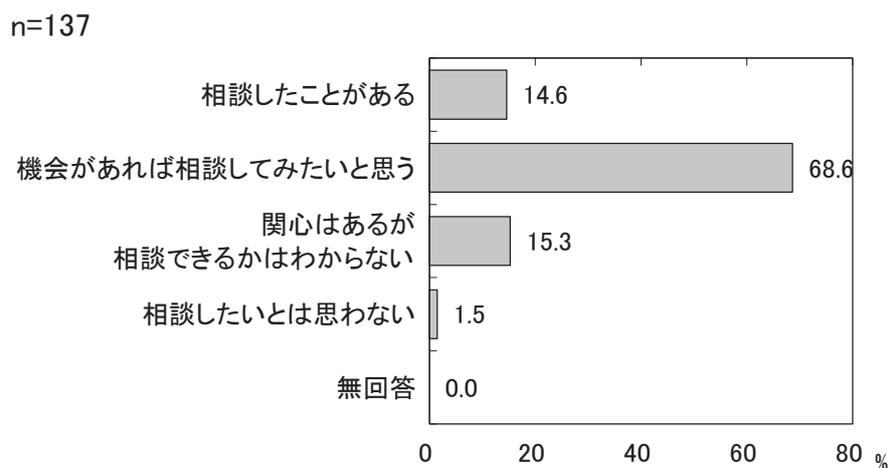
問 12 市には、地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みがあります。このような仕組みについてどう思いますか。(○は1つ)

地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みをどう思うかについては、「重要だと思う」が53.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば重要だと思う」が40.9%、「あまり重要ではない」が4.4%となっています。



問 13 地域の皆さんからの、生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口として、「地域福祉コーディネーター」を設置しています。今後、活動の中で地域の方の困りごとを聞いた時に、相談してみたいと思いますか。(○は1つ)

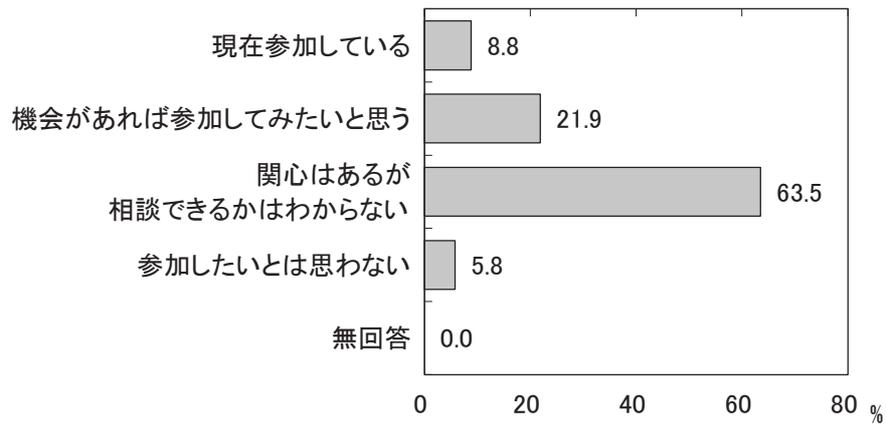
生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口である「地域福祉コーディネーター」に、今後、日常生活の中で何か困りごとがあったときに、相談してみたいと思うかについては、「機会があれば相談してみたいと思う」が68.6%と最も多く、次いで「関心はあるが相談できるかはわからない」が15.3%、「相談したことがある」が14.6%となっています。



問 14 ほっとネットの中で、地域の問題や課題を発見し解決のために協力して下さる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。
(○は1つ)

地域の問題や課題を発見し解決のために協力して下さる市民の方(ほっとネット推進員)の活動に今後、参加してみたいと思うかについては、「関心はあるが参加できるかはわからない」が63.5%と最も多く、次いで「機会があれば参加してみたいと思う」が21.9%、「現在参加している」が8.8%となっています。

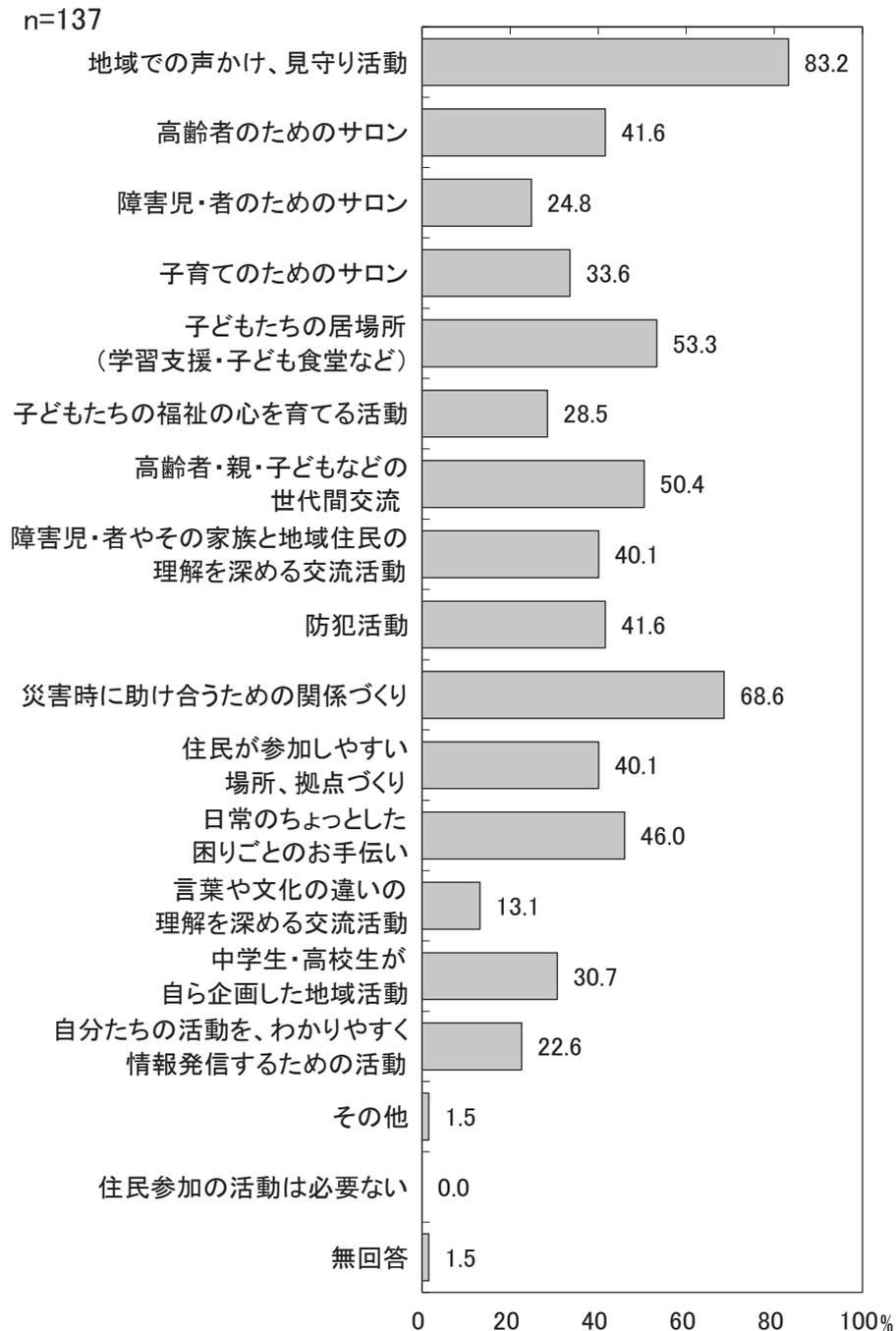
n=137



5. 今後について

問 15 あなたは、安心して暮らせるまちのために、住民参加の取り組みとしてどのような活動が重要だと思いますか。(〇はあてはまるもの全て)

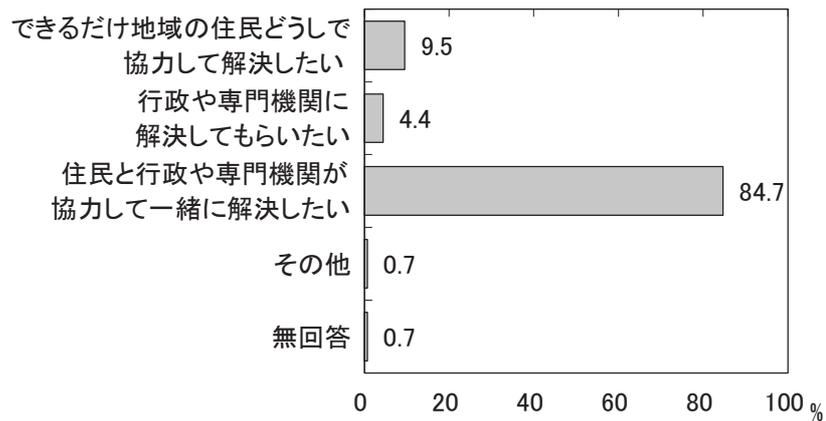
安心して暮らせるまちのために、住民参加の取り組みとしてどのような活動が重要だと思うかについては、「地域での声かけ、見守り活動」が83.2%と最も多く、次いで「災害時に助け合うための関係づくり」が68.6%、「子どもたちの居場所(学習支援・子ども食堂など)」が53.3%となっています。



問 16 今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(○は1つ)

今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思うかについては、「住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい」が84.7%と最も多く、次いで「できるだけ地域の住民どうして協力して解決したい」が9.5%、「行政や専門機関に解決してもらいたい」が4.4%となっています。

n=137

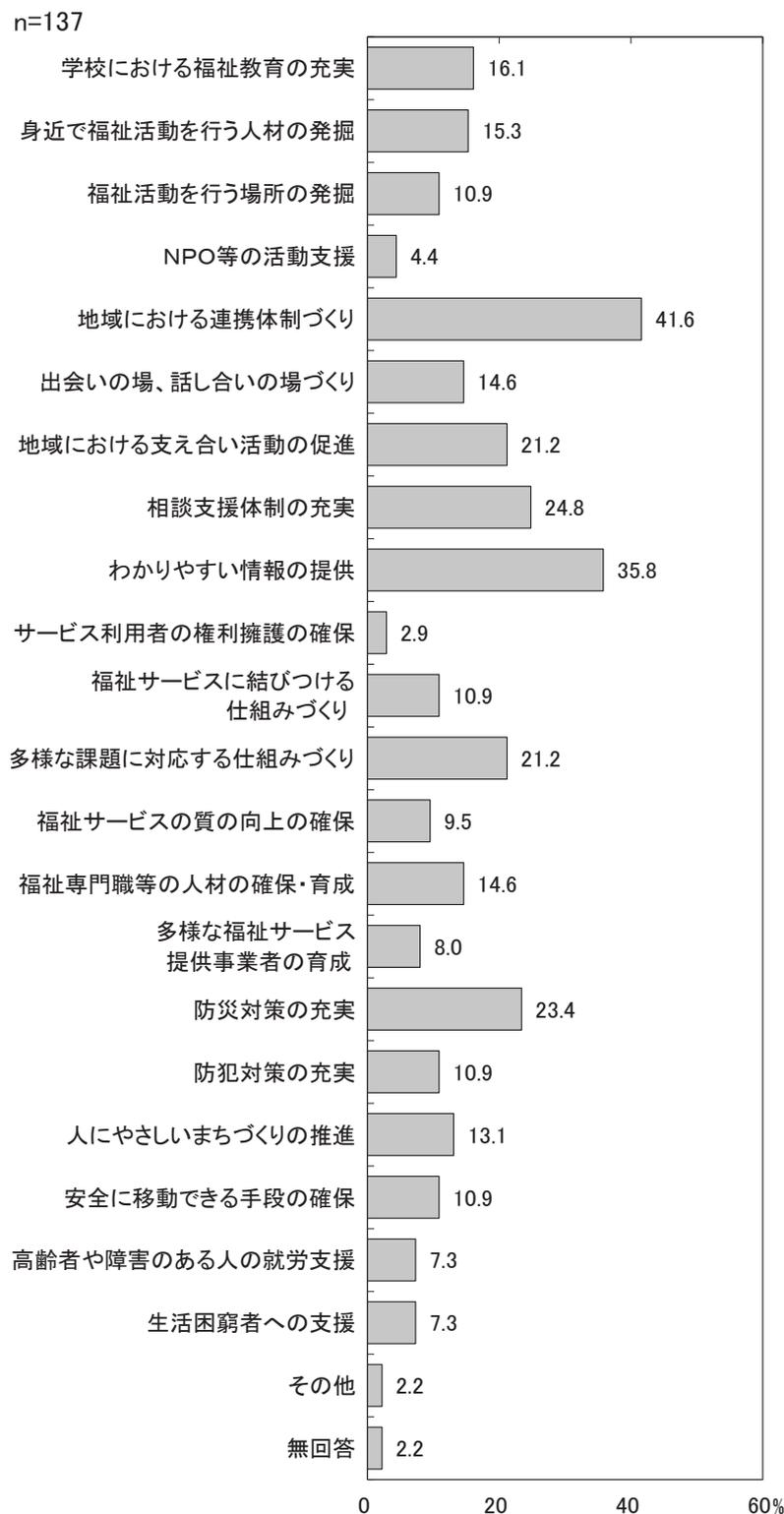


問 17 地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれですか。

(〇は3つまで)

地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれかについては、「地域における連携体制づくり」が 41.6%と最も多く、次いで「わかりやすい情報の提供」が 35.8%、「相談支援体制の充実」が 24.8%となっています。

担当地区別にみると、「地域における連携体制づくり」については全ての地区で、「わかりやすい情報の提供」は西部地区と南部地区で最も多くなっています。



	n	学校における福祉教育の充実	身近で福祉活動を行う人材の発掘	福祉活動を行う場所の発掘	NPO等の活動支援	地域における連携体制づくり	出会いの場、話し合いの場づくり	地域における支え合い活動の促進	相談支援体制の充実	わかりやすい情報の提供	サービス利用者の権利擁護の確保	福祉サービスに結びつける仕組みづくり
担当地区												
中部地区	30	13.3	13.3	13.3	10.0	46.7	16.7	26.7	36.7	33.3	3.3	23.3
西部地区	35	8.6	20.0	5.7	2.9	42.9	14.3	14.3	22.9	42.9	5.7	5.7
北東部地区	32	21.9	9.4	12.5	3.1	40.6	9.4	28.1	18.8	31.3	0.0	12.5
南部地区	36	22.2	16.7	13.9	2.8	36.1	19.4	19.4	22.2	36.1	0.0	5.6

	n	多様な課題に対応する仕組みづくり	福祉サービスの質の向上の確保	福祉専門職等の人材の確保・育成	多様な福祉サービス提供事業者の育成	防災対策の充実	防犯対策の充実	人にやさしいまちづくりの推進	安全に移動できる手段の確保	高齢者や障害のある人の就労支援	生活困窮者への支援	その他	無回答
担当地区													
中部地区	30	16.7	10.0	23.3	16.7	23.3	6.7	20.0	6.7	13.3	6.7	3.3	0.0
西部地区	35	25.7	2.9	8.6	14.3	22.9	22.9	5.7	8.6	8.6	8.6	0.0	5.7
北東部地区	32	6.3	6.3	9.4	0.0	15.6	3.1	15.6	18.8	3.1	3.1	3.1	3.1
南部地区	36	33.3	19.4	19.4	0.0	30.6	5.6	13.9	8.3	5.6	11.1	2.8	0.0

■ 経年比較

1. 一般市民

1. あなたのことについて

問 1 あなたの性別をお教えてください。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	男性	37.9	44.0	43.4
2	女性	61.4	55.7	52.8
	無回答	0.8	0.3	3.9

問 2 あなたの年齢をお教えてください。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	18～29 歳	9.7	10.4	7.4
2	30～39 歳	19.3	16.2	10.2
3	40～49 歳	19.8	21.2	16.5
4	50～59 歳	17.4	18.8	16.5
5	60～69 歳	21.3	21.0	16.1
6	70～74 歳			9.8
7	75～79 歳	11.8	12.3	8.6
8	80 歳以上			11.2
	無回答	0.7	0.0	3.8

問 3 あなたの世帯構成をお教えてください。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	ひとり暮らし	10.9	11.1	13.5
2	夫婦ふたり暮らし	24.5	23.0	27.1
3	親と同居(二世帯)	14.6	15.6	12.2
4	子どもと同居(二世帯)	38.6	42.3	35.3
5	子どもと親又は孫の三世帯同居	5.3	3.4	4.6
6	その他の世帯	5.0	3.6	2.8
	無回答	1.1	0.9	4.4

問 4 あなたご自身は、西東京市に住むようになってから何年になりますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	2年以内	6.9	11.6	5.9
2	3～5年	14.3	10.0	8.1
3	6～10 年	13.9	16.7	10.2
4	11～20 年	20.8	22.1	21.5
5	21～30 年	13.8	14.2	14.6
6	31 年以上	29.8	24.9	35.2
	無回答	0.5	0.5	4.5

問 5 あなたは、現在どの地区にお住まいですか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	田無町	/	5.8	6.3
2	南 町		5.8	5.7
3	西原町		3.2	3.5
4	緑 町		2.3	1.8
5	谷戸町		7.3	6.4
6	北原町		2.3	2.2
7	向台町		8.5	7.8
8	芝久保町		9.9	9.9
9	新 町		4.3	4.6
10	柳 沢		6.1	6.0
11	東伏見		2.8	2.4

12	保谷町	/	5.9	5.7
13	富士町		5.2	4.9
14	中 町		3.5	3.8
15	東 町		2.6	3.7
16	泉 町		4.2	4.6
17	住吉町		4.0	3.2
18	ひばりが丘		4.7	4.6
19	ひばりが丘北		2.5	1.9
20	栄 町		2.2	1.9
21	北 町		1.9	2.1
22	下保谷		4.0	3.1
	無回答		1.1	3.9

問 6 あなたのお住まいの形態は、次のどれですか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	持家(一戸建て)	/	50.4	50.7
2	借家(一戸建て)		2.0	2.2
3	持家(集合住宅)		19.1	20.6
4	借家(集合住宅)		24.2	20.6
5	寮		0.8	0.2
6	その他		2.3	1.9
	無回答		1.2	3.9

問 7 あなたの職業は、次のどれですか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	農林漁業	0.1	0.3	0.1
2	自営業・家族従業	6.2	5.5	5.4
3	自由業	1.6	1.5	2.0
4	会社員	27.6	29.6	24.0
5	公務員	3.6	3.6	4.1
6	パート・アルバイト	12.8	15.2	14.3
7	派遣等	2.7	1.8	1.7
8	専業主婦(夫)	21.4	20.5	14.8
9	学 生	3.0	3.5	2.3
10	無 職	15.6	14.2	23.7
11	その他	4.2	4.3	3.4
	無回答	1.1	0.1	4.3

問 8 あなたは、これからも西東京市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	住み続けたい	47.4	47.1	52.9
2	当分は住み続けたい	25.2	26.0	24.5
3	できれば転居したい	8.2	4.7	4.6
4	転居したい	3.0	2.0	1.3
5	わからない	14.8	14.0	11.4
	無回答	1.5	6.2	5.3

2. 近所づきあいや地域での暮らしについて

問 9 あなたは、ふだん近所の方とどの程度のつきあいをしていますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	ほとんど顔も知らない	5.8	8.6	7.9
2	顔は知っているが、声をかけたことがない	2.4	1.8	3.1
3	顔を合わせれば、あいさつする	71.0	71.8	72.0

4	2～3日留守にするときは、声をかける	10.1	6.3	5.9
5	常備品が切れた時に、貸し借りをすることがある	1.4	0.9	1.3
6	家族ぐるみで親交をもち、時々家を行き来する	4.9	4.5	4.1
7	その他	1.6	0.8	0.5
	無回答	2.7	5.3	5.2

問 10 あなたは、地域での人とのつきあいやかわりが必要だと考えますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	必要だと思う	42.1	34.8	35.1
2	まあまあ必要だと思う	48.1	48.5	46.7
3	ほとんど必要ないと思う	3.7	6.9	8.1
4	必要でない	0.9	0.9	1.2
	無回答	5.1	8.9	8.9

問 10-1 あなたは、どのようなときに地域とのかかわりの必要性を感じますか。(○は3つまで) (MA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=824)	平成 24 年 (n=1,094)	平成 29 年 (n=1,039)
1	近所の人に気軽に相談したいと思ったとき	21.9	21.6	23.5
2	高齢者の孤独死や虐待、火災からの逃げ遅れなどを聞いたとき	54.3	55.6	44.2
3	子どもの虐待やいじめ、誘拐などを聞いたとき	35.2	31.7	24.3
4	言葉や文化の違いで、地域に溶け込めない外国籍の人を見かけたとき	5.5	3.2	3.8
5	災害が発生したニュースや災害時に地域の人々が助け合うニュースを聞いたとき	66.9	71.5	62.8
6	近所で空き巣の被害を聞いたとき	34.8	23.4	21.5
7	近所に手助けが必要な人を見かけたとき	31.0	36.2	29.0
8	防犯活動やふれあいのまちづくり住民懇談会など、地域ぐるみで取り組んでいる活動があることを聞いたとき	17.7	17.9	16.6
9	地域の行事に参加したとき	7.4	11.4	10.2
10	その他	3.4	2.3	2.7
	無回答	0.7	0.9	1.3

問 12 現在、あなたの住んでいる地域の中で課題に感じることは何ですか。(○はあてはまるもの全て) (MA)

No.	カテゴリ	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	あいさつをしない人が多い	17.3	14.2
2	近所との交流が少ない	32.7	30.0
3	世代間の交流が少ない	23.4	17.2
4	地域の活動が活発でない	20.4	17.2
5	地域の中で気軽に集まれる場が少ない	17.4	14.2
6	移動手段が整っていない	10.6	7.2
7	買い物へ行くのに不便を感じている		9.3
8	緊急時にどうしたらよいかわからない	33.1	22.0
9	治安が悪くなっている	7.7	5.5
10	地域から孤立している人がいる	6.1	3.7
11	サービスに結びついていない人がいる	4.5	2.6
12	その他	7.6	4.6
13	特になし		25.4
	無回答	17.8	6.9

問 14 あなたが、もし高齢・障害や病気、事故などで日常生活が不自由になったとき、地域の人たちに何をしてほしいですか。(○は3つまで) (MA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	趣味などの話し相手	9.3	8.9	8.5
2	安否確認の見守り、声かけ	43.1	37.4	31.7
3	ゴミ出し	12.3	11.7	12.4
4	ペットの世話	1.9	2.0	3.4
5	庭の手入れ	3.4	3.3	5.4
6	ちょっとした買い物	15.4	16.7	13.5
7	短時間の子どもの預かり	5.0	3.6	3.6

8	通院・外出などの手伝い	18.6	16.3	12.3
9	お弁当の配食	11.9	10.0	8.3
10	食事の支度や片付け	14.9	8.5	8.0
11	掃除・洗濯	18.6	12.6	12.5
12	家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換	4.6	4.4	7.2
13	急病時の対応	45.8	44.6	36.9
14	災害時の手助け	44.9	42.0	39.7
15	子育てや介護など悩み事の相談	3.1	2.5	3.4
16	地域の情報提供	10.5	8.8	7.6
17	その他	1.8	2.4	2.3
18	特になし	7.1	11.2	11.1
	無回答	1.3	6.6	6.0

問 15 地域の高齢者や障害者、子育て家庭などが安心して暮らすために、あなたご自身ができることは何ですか。(〇は3つまで) (MA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	趣味などの話し相手	17.9	21.6	19.8
2	安否確認の見守り、声かけ	53.7	55.2	40.5
3	ゴミ出し	18.2	15.0	16.0
4	ペットの世話	2.6	3.3	3.9
5	庭の手入れ	4.5	3.9	4.4
6	ちょっとした買い物	31.0	31.5	22.8
7	短時間の子どもの預かり	8.1	7.4	6.6
8	通院・外出などの手伝い	11.1	7.7	8.1
9	お弁当の配食	3.8	2.9	2.8
10	食事の支度や片付け	3.9	2.5	2.1
11	掃除・洗濯	9.5	4.5	6.1
12	家具類や生活機器などの簡単な取付、修繕、交換	3.0	7.4	6.0
13	急病時の対応	26.6	26.3	18.5
14	災害時の手助け	42.5	43.6	30.5
15	子育てや介護など悩み事の相談	6.0	6.0	5.0
16	地域の情報提供	9.2	7.0	5.7
17	その他	2.5	3.1	2.7
18	特になし	7.7	9.3	13.6
	無回答	2.3	2.0	6.8

3. 地域での活動について

問 16 あなたは、現在自治(町)会に加入していますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	加入している	32.7	24.5	28.3
2	加入していない	65.3	68.5	64.5
	無回答	2.0	7.0	7.2

問 16-1 加入していない理由は何ですか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=597)	平成 24 年 (n=905)	平成 29 年 (n=819)
1	自治(町)会がない	29.5	34.7	35.4
2	自治(町)会があるのかどうか知らない	39.7	33.4	28.3
3	加入の必要性を感じない	4.0	3.6	5.4
4	会費を払いたくない	0.2	0.1	0.0
5	暇がない	5.5	6.1	5.5
6	人づきあいがわずらわしい	0.7	1.2	2.0
7	自治(町)会は不要である	1.2	0.8	1.6
8	加入に誘われない	4.4	5.3	5.1
9	その他	5.0	4.1	3.9
10	特に理由はない	7.4	9.9	11.1

	無回答	2.5	0.8	1.7
--	-----	-----	-----	-----

問 17 あなたは、福祉に関するボランティア活動に関心がありますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	非常に関心がある	6.2	3.4	4.0
2	ある程度関心がある	49.2	53.2	48.8
3	あまり関心がない	36.1	33.8	33.8
4	全く関心がない	6.1	6.6	7.4
	無回答	2.3	3.1	6.0

問 18 あなたは、福祉に関するボランティア活動に参加したことがありますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	ある	19.1	14.6	16.0
2	ない	78.9	80.1	76.7
	無回答	2.0	5.3	7.3

問 18-1 あなたが、ボランティア活動に参加したことがないのは、どのような理由ですか。(○はあてはまるもの全て)
(MA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=721)	平成 24 年 (n=1,058)	平成 29 年 (n=974)
1	活動したい気持ちはあるが、仕事や家事が忙しく時間がない	48.7	42.7	37.0
2	活動したい気持ちはあるが、きっかけがつかめない	26.5	23.4	19.0
3	身近に活動グループや仲間がいないのでよくわからない	38.4	37.0	30.5
4	健康に自信がないので難しい	15.1	14.5	22.4
5	家族や職場の理解が得られないので難しい	2.8	3.2	1.4
6	興味を持てる活動がない	12.3	10.3	10.4
7	その他	7.6	4.5	6.5
8	ボランティア活動はしたくない(問 19 の回答は不要です)	5.3	6.8	6.8
	無回答	1.8	1.2	2.5

問 19 あなたは、今後、福祉に関するボランティア活動に参加したいとお考えですか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	積極的に参加したい	/	1.7	2.0
2	できるだけ参加したい		46.6	37.7
3	あまり参加したくない		32.3	35.7
4	参加したくない		7.0	9.7
	無回答		12.4	14.8

問 20 (1) 日ごろから地域の防災訓練に参加していますか。(SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	はい	/	8.8	12.2
2	いいえ		79.4	75.4
3	わからない		7.7	6.9
	無回答		4.1	5.4

問 20 (2) 地域の防災市民組織(自治(町)会などを母体に、地域の住民が防災活動をする組織)に入っていますか。
(SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	はい	/	6.4	9.4
2	いいえ		76.6	72.5
3	わからない		12.6	12.4
	無回答		4.3	5.7

問 20 (3) 災害などの緊急時に、避難所への誘導などの手助けが必要ですか。(SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	はい	/	21.3	19.4
2	いいえ		62.4	62.9
3	わからない		12.6	12.6
	無回答		3.7	5.1

問 20 (4) 災害などの緊急時に、高齢者世帯や障害のある人などの要援護者の避難等の手助けができますか。(SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	はい		37.4	35.7
2	いいえ		21.6	22.0
3	わからない		37.1	36.7
	無回答		3.9	5.6

4. 福祉について

問 21 (1) 成年後見制度 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	名前も内容も知っている		74.6	21.7
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		12.1	28.6
3	名前は知っているが、内容は知らない		3.2	20.9
4	名前も内容も知らない		3.0	23.5
	無回答		7.1	5.3

問 21 (4) 西東京市社会福祉協議会 (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	名前も内容も知っている	3.9	15.9	14.3
2	名前を知っており、内容も少しは知っている	16.8	15.6	20.2
3	名前は知っているが、内容は知らない	38.1	36.1	35.9
4	名前も内容も知らない	37.7	26.0	25.1
	無回答	3.4	6.4	4.6

問 21 (5) 民生委員・児童委員 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	名前も内容も知っている		28.4	20.9
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		31.8	36.5
3	名前は知っているが、内容は知らない		23.2	23.5
4	名前も内容も知らない		9.4	13.9
	無回答		7.2	5.1

問 21 (6) ほっとするまちネットワークシステム (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	名前も内容も知っている		2.6	2.7
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		3.0	3.3
3	名前は知っているが、内容は知らない		15.5	15.4
4	名前も内容も知らない		70.4	73.3
	無回答		8.5	5.4

問 21 (7) ふれあいのまちづくり住民懇談会 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	名前も内容も知っている		2.9	2.6
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		3.3	3.1
3	名前は知っているが、内容は知らない		14.8	16.5
4	名前も内容も知らない		70.9	72.8
	無回答		8.0	5.0

問 21 (8) ささえあいネットワーク (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	名前も内容も知っている		3.6	3.3
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		4.7	3.8
3	名前は知っているが、内容は知らない		17.1	17.0
4	名前も内容も知らない		66.5	71.2

	無回答		8.0	4.7
--	-----	--	-----	-----

問 23 あなたは、福祉に関する情報などをどのように得ていますか。(○はあてはまるもの全て) (MA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	市の広報紙		77.9	74.5
2	市のホームページ		13.4	13.9
3	市の窓口		4.5	4.2
4	市の掲示物		12.4	10.3
5	市が行う出前講座		0.8	1.2
6	民生委員・児童委員		3.0	2.4
7	社会福祉協議会		5.5	3.9
8	自治(町)会の回覧板などのお知らせ		8.8	8.0
9	新聞・テレビ・ラジオ		24.8	26.1
10	インターネット			15.9
11	家族・親戚		12.6	11.7
12	友人・知人		13.6	13.1
13	その他		4.7	3.2
	無回答		7.2	5.5

問 27 あなたがお住まいのところは、高齢者や障害者、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=914)	平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	住みやすい	8.9	11.4	16.1
2	ふつう	65.8	68.2	64.4
3	住みにくい	22.9	12.9	12.4
	無回答	2.4	7.4	7.0

問 27-1 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。(○は3つまで) (MA)

No.	カテゴリ	平成 20 年 (n=209)	平成 24 年 (n=170)	平成 29 年 (n=158)
1	地域住民の理解や協力が少ない	19.6	21.8	10.8
2	交通機関が不便・利用しにくい	32.5	38.7	37.3
3	買い物などが不便	26.3	32.4	35.4
4	生活の悩みを相談できる窓口が少ない	11.0	8.5	7.6
5	日常生活を支えるサービスが少ない	17.2	15.5	6.3
6	利用しやすい公共施設が少ない	20.6	18.3	24.1
7	道路の段差が多い・歩道が整備されていない	54.5	44.4	43.7
8	身近に働く場所が少ない	8.6	9.9	10.1
9	利用しやすい医療機関が少ない	23.0	15.5	13.9
10	機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない	5.3	9.2	10.8
11	防犯・防災対策が十分ではない	13.9	22.5	13.9
12	親子で遊べる場所が少ない	14.4	10.6	20.9
13	その他	14.8	21.8	15.8
	無回答			0.6

問 28 地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解決する取り組みが必要だと思いますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	必要だと思う		38.8	41.6
2	どちらかといえば必要だと思う		46.2	42.2
3	あまり必要ではない		6.4	9.4
4	必要ではない		1.3	1.3
	無回答		7.4	5.5

5. 「ほっとネット」について

問 29 市には、地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みがあります。このような仕組みについてどう思いますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	重要だと思う		34.8	26.4
2	どちらかといえば重要だと思う		41.9	49.7

3	あまり重要ではない		6.9	9.9
4	重要ではない		1.5	2.1
	無回答		14.9	11.9

問 30 地域の皆さんからの、生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口として、「地域福祉コーディネーター」を設置しています。今後、日常生活の中で何か困りごとがあったときに、相談してみたいと思いますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	相談したことがある			1.7
2	機会があれば相談してみたいと思う		29.6	42.9
3	関心はあるが相談できるかはわからない		44.7	37.4
4	相談したいとは思わない		12.5	9.6
	無回答		13.2	8.4

問 31 ほっとネットの中で、地域の問題や課題を発見し解決のために協力してくださる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	現在参加している			0.4
2	機会があれば参加してみたいと思う		7.4	10.8
3	関心はあるが参加できるかはわからない		50.3	52.4
4	参加したいとは思わない		28.2	26.7
	無回答		14.2	9.7

6. 今後について

問 35 地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれですか。(○は3つまで) (MA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=1,321)	平成 29 年 (n=1,270)
1	学校における福祉教育の充実		24.4	16.3
2	身近で福祉活動を行う人材の発掘		11.4	10.7
3	福祉活動を行う場所の発掘		5.1	4.3
4	NPO等の活動支援		5.3	6.5
5	地域における連携体制づくり		15.1	15.0
6	出会いの場、話し合いの場づくり		10.5	12.0
7	地域における支え合い活動の促進		9.1	8.8
8	相談支援体制の充実		14.6	13.1
9	わかりやすい情報の提供		35.9	37.7
10	サービス利用者の権利擁護の確保		2.6	2.7
11	福祉サービスに結びつける仕組みづくり		7.3	7.8
12	多様な課題に対応する仕組みづくり		10.6	10.6
13	福祉サービスの質の向上の確保		14.1	12.4
14	福祉専門職等の人材の確保・育成		11.7	15.6
15	多様な福祉サービス提供事業者の育成		5.0	5.2
16	防災対策の充実		18.5	24.6
17	防犯対策の充実		14.3	21.8
18	人にやさしいまちづくりの推進		11.7	15.8
19	安全に移動できる手段の確保		7.6	9.2
20	高齢者や障害のある人の就労支援		9.8	10.8
21	生活困窮者への支援			7.9
22	その他		1.4	2.4
	無回答		15.4	5.0

2. 民生委員・児童委員

問1 あなたは現在何期目ですか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)
1	1期目		23.6	20.4
2	2期目		18.0	27.0
3	3期目以降		57.3	49.6
	無回答		1.1	2.9

問2 あなたが担当されている地区はどちらですか。(SA)

No.	カテゴリ		平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)
1	田無町		10.1	7.3
2	南町		7.9	6.6
3	西原町		5.6	3.6
4	緑町		3.4	2.2
5	谷戸町		7.9	8.0
6	北原町		2.2	2.2
7	向台町		5.6	5.8
8	芝久保町		6.7	8.0
9	新町		4.5	4.4
10	柳沢		3.4	6.6
11	東伏見		2.2	2.9
12	保谷町		5.6	5.1
13	富士町		2.2	5.8
14	中町		5.6	3.6
15	東町		4.5	4.4
16	泉町		2.2	3.6
17	住吉町		3.4	3.6
18	ひばりが丘		4.5	3.6
19	ひばりが丘北		0.0	2.2
20	栄町		1.1	1.5
21	北町		2.2	2.2
22	下保谷		3.4	3.6
	無回答	5.6	2.9	

問3 あなたは、地域の課題を解決するために、行政(市、県、国などの行政機関)に相談したり、手助けを求めたりしたことがありますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ	平成20年調査 (n=106)	平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)
1	ある	59.4	80.9	62.0
2	ない	34.0	18.0	34.3
	無回答	6.6	1.1	3.6

問4 (1) 社会調査活動 (SA)

No.	カテゴリ		平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)
1	充実させる		16.9	11.7
2	現状で十分		74.2	71.5
3	多すぎる		4.5	8.8
	無回答		4.5	8.0

問4 (2) 相談活動 (SA)

No.	カテゴリ		平成24年 (n=89)	平成29年 (n=137)
1	充実させる		33.7	29.2
2	現状で十分		58.4	61.3
3	多すぎる		2.2	1.5
	無回答		5.6	8.0

問4 (3) 情報提供活動 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	充実させる		43.8	30.7
2	現状で十分		50.6	55.5
3	多すぎる		1.1	7.3
	無回答		4.5	6.6

問 4 (4) 連絡通報活動 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	充実させる		34.8	21.2
2	現状で十分		57.3	67.9
3	多すぎる		2.2	2.9
	無回答		5.6	8.0

問 4 (5) 調整活動 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	充実させる		16.9	14.6
2	現状で十分		71.9	71.5
3	多すぎる		4.5	4.4
	無回答		6.7	9.5

問 4 (6) 生活支援活動 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	充実させる		23.6	29.9
2	現状で十分		66.3	61.3
3	多すぎる		3.4	2.2
	無回答		6.7	6.6

問 4 (7) 意見具申活動 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	充実させる		28.1	23.4
2	現状で十分		62.9	66.4
3	多すぎる		3.4	2.9
	無回答		5.6	7.3

問 5 現在、担当されている地域の中で課題に感じることは何ですか。(〇はあてはまるもの全て) (MA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	あいさつをしない人が多い		13.5	11.7
2	近所との交流が少ない		64.0	51.1
3	世代間の交流が少ない		52.8	55.5
4	地域の活動が活発でない		46.1	40.9
5	地域の中で気軽に集まれる場が少ない		51.7	43.8
6	移動手段が整っていない		20.2	19.7
7	買い物へ行くのに不便を感じている		—	20.4
8	緊急時にどうしたらよいかわからない		42.7	22.6
9	治安が悪くなっている		6.7	2.9
10	地域から孤立している人がいる		31.5	25.5
11	サービスに結びついていない人がいる		41.6	32.8
12	その他		10.1	5.8
13	特にない		—	1.5
	無回答	1.1	3.6	

問 7 担当の地域の住民は、地域での支え合いや助け合いの活動に関心があると思いますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	とても関心がある		2.2	1.5
2	ある程度関心がある		53.9	54.0
3	あまり関心がない		41.6	40.1
4	全く関心がない		1.1	0.7

	無回答		1.1	3.6
--	-----	--	-----	-----

問 8 (1) 成年後見制度 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	名前も内容も知っている		76.4	48.9
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		19.1	42.3
3	名前は知っているが、内容は知らない		3.4	7.3
4	名前も内容も知らない		0.0	1.5
	無回答		1.1	0.0

問 8 (4) 西東京市社会福祉協議会 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	名前も内容も知っている		86.5	70.8
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		11.2	24.1
3	名前は知っているが、内容は知らない		0.0	5.1
4	名前も内容も知らない		0.0	0.0
	無回答		2.2	0.0

問 8 (5) ほっとするまちネットワークシステム (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	名前も内容も知っている		46.1	33.6
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		34.8	43.8
3	名前は知っているが、内容は知らない		13.5	17.5
4	名前も内容も知らない		3.4	4.4
	無回答		2.2	0.7

問 8 (6) ふれあいのまちづくり住民懇談会 (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	名前も内容も知っている		60.7	45.3
2	名前を知っており、内容も少しは知っている		21.3	36.5
3	名前は知っているが、内容は知らない		13.5	16.8
4	名前も内容も知らない		2.2	1.5
	無回答		2.2	0.0

問 10 担当されている地域は、高齢者や障がい者、子どもにとって住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	住みやすい		19.1	19.0
2	ふつう		59.6	65.0
3	住みにくい		19.1	13.1
	無回答		2.2	2.9

問 10-1 あなたが住みにくいと思う理由は何ですか。(○は3つまで) (MA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=17)	平成 29 年 (n=18)
1	地域住民の理解や協力が少ない		23.5	11.1
2	交通機関が不便・利用しにくい		52.9	44.4
3	買い物などが不便		47.1	38.9
4	生活の悩みを相談できる窓口が少ない		5.9	5.6
5	日常生活を支えるサービスが少ない		5.9	0.0
6	利用しやすい公共施設が少ない		35.3	44.4
7	道路の段差が多い・歩道が整備されていない		58.8	61.1
8	身近に働く場所が少ない		11.8	33.3
9	利用しやすい医療機関が少ない		0.0	11.1
10	機能訓練を行うためのリハビリ施設が少ない		23.5	16.7
11	防犯・防災対策が十分ではない		17.6	16.7
12	親子で遊べる場所が少ない		35.3	38.9
13	その他		5.9	0.0
	無回答	0.0	0.0	

問 11 地域で安心して暮らせるために、日ごろの生活の中で生じる困りごとなどを解消する取り組みが必要だと思いますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	必要だと思う	/	57.3	48.2
2	どちらかといえば必要だと思う		34.8	45.3
3	あまり必要ではない		4.5	4.4
4	必要ではない		0.0	0.0
	無回答		3.4	2.2

問 12 市には、地域の中でお互いに支え合い、課題を解決していくための「ほっとするまちネットワークシステム(通称、ほっとネット)」という仕組みがあります。このような仕組みについてどう思いますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	重要だと思う	/	56.2	53.3
2	どちらかといえば重要だと思う		37.1	40.9
3	あまり重要ではない		4.5	4.4
4	重要ではない		0.0	0.7
	無回答		2.2	0.7

問 13 地域の皆さんからの、生活上の困りごとの相談を受け付ける窓口として、「地域福祉コーディネーター」を設置しています。今後、活動の中で地域の人の困りごとを聞いた時に、相談してみたいと思いますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	相談したことがある	/	—	14.6
2	機会があれば相談してみたいと思う		66.3	68.6
3	関心はあるが相談できるかはわからない		31.5	15.3
4	相談したいとは思わない		1.1	1.5
	無回答		1.1	0.0

問 14 ほっとネットの中で、地域の問題や課題を発見し解決のために協力してくださる市民の方(ほっとネット推進員)を募集しています。今後、参加してみたいと思いますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	現在参加している	/	—	8.8
2	機会があれば参加してみたいと思う		24.7	21.9
3	関心はあるが参加できるかはわからない		56.2	63.5
4	参加したいとは思わない		16.9	5.8
	無回答		2.2	0.0

問 16 今後、地域の中で起こる困りごとや心配なことに対して、どのような方法で解決するのが良いと思いますか。(〇は1つ) (SA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	できるだけ地域の住民どうしで協力して解決したい	/	10.1	9.5
2	行政や専門機関に解決してもらいたい		4.5	4.4
3	住民と行政や専門機関が協力して一緒に解決したい		80.9	84.7
4	その他		1.1	0.7
	無回答		3.4	0.7

問 17 地域福祉推進のために市が優先的に取り組むべきだと考える施策はどれですか。(〇は3つまで) (MA)

No.	カテゴリ		平成 24 年 (n=89)	平成 29 年 (n=137)
1	学校における福祉教育の充実	/	22.5	16.1
2	身近で福祉活動を行う人材の発掘		19.1	15.3
3	福祉活動を行う場所の発掘		7.9	10.9
4	NPO等の活動支援		5.6	4.4
5	地域における連携体制づくり		38.2	41.6
6	出会いの場、話し合いの場づくり		19.1	14.6
7	地域における支え合い活動の促進		18.0	21.2

8	相談支援体制の充実	28.1	24.8
9	わかりやすい情報の提供	28.1	35.8
10	サービス利用者の権利擁護の確保	0.0	2.9
11	福祉サービスに結びつける仕組みづくり	5.6	10.9
12	多様な課題に対応する仕組みづくり	16.9	21.2
13	福祉サービスの質の向上の確保	9.0	9.5
14	福祉専門職等の人材の確保・育成	10.1	14.6
15	多様な福祉サービス提供事業者の育成	7.9	8.0
16	防災対策の充実	16.9	23.4
17	防犯対策の充実	4.5	10.9
18	人にやさしいまちづくりの推進	11.2	13.1
19	安全に移動できる手段の確保	9.0	10.9
20	高齢者や障害のある人の就労支援	13.5	7.3
21	生活困窮者への支援	—	7.3
22	その他	2.2	2.2
	無回答	1.1	2.2

■ 自由意見

1. 市民調査自由意見抜粋

※原則的に原文ママ

1) みんなで助け合い・支え合う地域をつくるために、何かアイデアがあれば教えてください。あなたができること、地域で取り組むべきことなど、何でも結構です。

あいさつ	私はワンちゃんのお散歩の時、すれ違う老人の方に積極的にごあいさつをするよう心がけています。半分以上の方が立ち止まって会話をされます。自然と知り合いになり笑顔になれます。やはりあいさつは素晴らしいとつくづく思います。地域でもあいさつは必要だと感じています。
	朝・夕の散歩時、通学・通勤の方々に声かけをしています。ワンワンパトロールを推進し、地域の連携を進めるべきと思います。
	まずは「あいさつ」をしっかりする。あいさつもなしだと知らない人のままで、他人を見ると不安な気持ちしか生まれません！小学校などでも自分が子どもの頃はそのように教育されていた。まずは市の職員から元気に「あいさつ」をする様にしては。
交流	地域交流イベント(祭など)を増やす。
	支えが必要な人との交流の場。多摩六都科学館や、東伏見公園などで。
	地域での行事の活性化。まずは各地域で助け合う事大事だと思える様に、小さな行事(年に2~3回程度でも可)から取り組むと良いと思う。
	子育て世代と高齢者が多い街だと思いますが、2つの世代間でお互いに交流したり、理解し合えるような機会や場所がないと助け合ったり、支え合ったりするのは困難だと思います。
	小学校を活用して地域の絆が増えていけばいいと思います。小さな子からお年寄りと一緒に出来る行事があると楽しいし、交流が増えると思う。小さなうちからお年寄りと交流する事はすごく大事な気がします。
	退職された先生たちをむかえて地域で教育カフェをやっています。年に2回相談したい人は沢山いると思いますが、人があまり集まりません。もっと集まってくれればと思っています。
	町内会がないため、自分の住んでいる地域にどのような人がいるのか正直、全く分かりません。地域の人々が、いざという時に助け合えるような、老若男女が集う地域のイベントなどを増やして、交流を深めていけるとよいなと思います。
	春なら花見、夏ならスイカ割、秋は焼き芋を焼き、冬は雪合戦など、お金を使わずに地域ぐるみで集まるイベントを作れば、いざという時に一致団結できるのではないのでしょうか。
場	今までも支え合い訪問協力、ふれまち活動、ミニディ、ボランティア等に参加して来たが今一つ発展性に乏しい。いつも同じ顔触れで内容も奉仕的なものが多く、皆が楽しく利用価値を認めて集まれるような地域の寄り合い場所が欲しい。

	<p>集会場等、皆さんが集まり、話が出来たり手助け出来そうな人には手を貸してあげる、話し合いの場所があると便利。</p> <p>要介護の認定を受けるほどではないけど、家に閉じこもりがちな老人が集まれる場所、趣味のサークルなどがあればいいと思う。</p>
声掛け	<p>声を掛け合い、困っていることが何なのか把握する事。会社を退職したまだ動ける男性に活躍して欲しい。</p> <p>とにかく、声掛けだと思います。元々八王子市の田舎住まいだった為か、西東京市の人は何となく冷たい感じがしました。ただ子どもと出掛けるとみんな笑顔で接して下さるのでそこはとても嬉しかったです。</p> <p>今は安全面からむやみに子どもに声も掛けられないご時世が寂しいですね。子育てを終えた私に出来る事は子ども達への暖かい見守りでしょうか。”おはようございます”、”気を付けて行ってらっしゃい”、子ども達、そして隣人に対して出来る事の声掛けだけはやっていきたいと思います。</p>
見守り	<p>1.小学校・中学校でいじめ問題もあるかと思う。シルバーさんの方々に1クラス1~2名の見守りをしていただいたらどうかと思います。目は届くし、シルバーの方々も働くことに喜びがあるのでは？2.孤独死などを防ぐために「今日も大丈夫」の旗を目印で玄関にぶらさげてもらう。近隣や巡回の(シルバーさん等)人にチェックしてもらうなど。</p> <p>各地域でローテーションによる見守り隊を編成し、その家族ごとに活動を実施する。ひと家族5~10日間の見守り。(ローテーション表とチェックリストを作成)※見守り担当者は原則出掛ける事は出来ない！</p>
組織	<p>65歳以上の人材活用の場を発掘するためのNPO活動を広くアピールし、活性化させる。</p> <p>PTA、育成会の大切さを広めたい。子育て世代で地域とのつながりが出来る始めの一步ではないかと。</p>
気軽な活動参加	<p>気持ちではなかなかきっかけがありません。だれでも参加して協力できるような地域活動を広めて頂ければ関心がある方は出てくるのではと思います。</p> <p>現状、異なった立場の人とは接することがほぼないように感じます。特に身近に子どもがいないと、町の動き等、能動的に知って行こうとする機会は少ないです。年齢や立場を問わずに共有、参加できるものがあるとより良いかと思います。</p> <p>ヘルパー2級、認知症サポーターを持っています。何も大それた事はせず、目の前の方に五感をフル活用して寄り添い、共感共有、お手伝いをして参る所存です。</p>
災害	<p>災害時の地域支援活動について、具体的な有事の際の行動等を確立できる様な取組に参加しておきたい。</p> <p>地域ごと(自治会)での防災対策訓練、防犯活動。</p> <p>防災対策はこれからは大切なので体制を整えて欲しい。近所の人との助け合いも重要だと思います。</p>

仕組み	市民のボランティア活動が持続可能かつ、発展的になるためにはボランティアリーダーになれる市民の養成が必要だと思います。他の市や区を参考にして、そのようなシステム作りをお願いしたいと思います。
	地域住民全員によって支え合う部分と、ある程度の報酬のある(ワンコインでお手伝い等)支え合いのシステムも必要だと思う。
	ボランティアの参加をポイント制にして、将来困った時にそのポイントを利用して優先的にサービスを受けられるようにするなど、仕組の構築。
	助けが必要な人がどこにいるのかわかりません。何か手伝える事があれば手伝いたいと思っています。そこをつなぐ掲示板! ? 的なものが、時間のある時、気軽にのぞけて行動出来たらお互い良いかと。
	介護のお手伝いを気軽に出来るシステムがあるといいと思います。
	1.自分が住む地域や市に興味や関心を持つよう、子ども向けと大人向けに西東京市検定を設ける。2.地域行事や福祉に関する講習講座や、ボランティア活動に参加するごとにポイントがつき、一定ポイントに達すると、市内店舗で利用できる買物券がもらえる。
情報	ボランティアの気持ち、お手伝いしたい気持ちがあっても、具体的な行動の仕方が分からず、行動に移す事の出来ない人が多いのでは…と思います。情報の発信をお願いします。
	弱者の美談や成功例だけでなく、弱者の一般的に困っている事などを広く理解してもらい情報発信して、多くの方が弱者に対して手助け出来る事を知るようにして欲しい。
	SNS を利用した地域情報の発信。若い世代(10、20代)の地域活動参加(ボランティア、非ボランティアを問わず)を促進する枠組みの整備(例としてシルバー人材センターの様な組織、サービス)。
生活困窮等の対応	生活困窮世帯の子どもへの支援。食品会社の期限が近い食品や生活用品を配布したり、子ども0円食堂、等、取り組んでほしい。
	子ども食堂や貧困に注視していきたいです。
	地域で行っている子ども食堂に参加する。もっと知ってもらうためにPRする。
相談	自治会、子ども会、老人会などの住民が交流、相談出来る地域組織の設立。そのための行政側の支援。
	介護等の相談が出来る人を各地域に配置できれば良い。民生委員だけでは負担が大きい。

2) そのほか、何かご意見などがあれば教えてください。

意識醸成	有難い事に地域問題が顕在化していない地域だと思う。ただ、地域に関心がないのは問題かも知れない。
	住民参加、地域人材の活用は限界がある。各地の自治体が声掛けをしても地域の支え合いが中々形成されて行かない現実がある。
	「ほっとネット」等、福祉に関する事にいままであまり関心が薄くこれからは注意してみます。
近所付き合い	個人情報保護法が気になって近所づきあいが希薄になってきた。
	現住所の中町3丁目は自治会がありませんので近所の付き合いは少なく、情報が殆ど無い現状ですが、自治会はどのように作られて行くのでしょうか。人口は着々と増加しているようですが、新しい住宅街の地域では近所付き合いが希薄になる傾向です。
交流	大型のマンションが増え、自治会の役割、近所の人とのつながりが薄れているように感じます。もっと地域の人と知り合うチャンスがあればいいと思います。
	我家は中学生と高校生の子がいます。少子高齢化社会の中で、小さな子どもと接する機会が昔と比べて少ないなと感じます。保育園・幼稚園～大学まで、学校の枠を越えて交流することができたら良いなと思います。子ども達だけでなく、高齢者がそこに加わっても良いかと思います。弱者に対する思いやりの気持ちが養われたり、子ども達の自立心が芽生えたりすることができると思います。
	学校の空き教室等で世代間交流は出来ないのでしょうか。
	市全体よりも小さな地域のまちおこしの文化祭活動をあちこちで広げて欲しい。
	よくいる世話好き、近所の事に詳しい、そんなおばちゃんおじちゃんと若い世代が仲良くなれるといいなと思います。
	昭和50年より現在地に居住しているが、当時と現在も相変わらずの隣近所地域との付き合いは相も変わらず地域交流は無く、若干の不安と心寂しさを感じます。
	みんなが集まる場所、「アスタの2階」とかは朝から老人が一杯で福祉活動を広めて欲しい。
	ひばりが丘団地内で、テラス118の活動は大変参考になり、参加したいと思うイベントや出会いがある。とても若々しく、所謂福祉くささがない。
	地域の方たちとも随分顔見知りになりまして、大変親切にしてくれています。もっともっと地域との交流を増やし、笑顔あふれる街にしていければいいなと思います。
活動	子どもを安く預かってもらえる場所が欲しい。または地域の活動の際の託児システム。保育園には入れず仕事ができないため地域の一時保育に預けてまで地域の活動をする余裕はありません。
	子育て世代や働き盛りの世代は、なかなか地域の活動に参加出来ないのが現実です。子どもが参加したくなるような行事の中にそのような活動を組み込んで頂ければ、子育て世代は参加しやすくなると思います。

	<p>自治会が高齢化している。若い者にも参加して貰い、自治会の活性化を計りたいと思っている。現状のままで行くと自治会ではなく老人会となる。</p> <p>団体には優遇されているように見えるが、個人で参加するものや余暇をすごす場所がない。グループで過ごすことが苦手なものが、社会と関わりのできる企画や楽しみがもてる暮らしを期待しています。今後とも住みやすい西東京市をお願い致します。</p> <p>元気な高齢者も多いので、気軽に自分が役立つ場があればその人自身の生活も充実すると思う。現状どのような活動がなされているか良く分からないので、体験談等で内容を周知させることも必要か。</p>
相談	<p>地域における相談支援体制が複雑化しており分かりにくくなっている。住民にとって分かりやすい地域福祉の支援体制づくりが必要である。</p> <p>事業制度、窓口がたくさんあり高齢者にはどこに相談したらいいかわかりにくい気がします。市役所に連絡すればそれぞれ必要な窓口につけてくれるのでしょうか。声かけをしにくい世の中ですが、困っている人がいたら積極的に行っていこうと思います。</p> <p>私は月に1回、地域の一人暮らし老人の食事会のお手伝いをしております。できれば、各地域にあれば、一人暮らし老人も相談相手にもなり、喜ばれると思っております。是非計画してください。</p> <p>気軽に相談できるように、窓口をもっと市民にアピールしたほうが良いと思う。</p>
助け合い	<p>高齢者や足腰の不自由な方を皆さまと共に日常におきのお助けいたしたく存じます。私の体験として。歩道、踏切等を歩いておられる足腰の不自由な方に対して手を取って歩きましたら大変喜んで下さいました。また軽石の平な所に腰をおろして休んでおられた老人の方に大丈夫ですかと声をかけてやりましたら、散歩中で疲れて休んでいるところです。大丈夫ですと言われてました。声をかけるのもいいかなと思いました。</p> <p>助けて下さいと言われて、嫌だという人はあまりいないと思う。だが、何か困っていますか？と聞く人もいないと思う。こんな事で困っています、助けてくれる人いますか？など具体的な発信があれば、協力できる人を見つけることは簡単になるのではないかな。</p> <p>マンション暮らしでなかなかコミュニケーションが取れません。趣味のメンバーとは日常の付き合いも少なく、もっと例えば公民館で催しているサークル etc に参加し、近所の方々とお付き合いが出来ると良いなあと考えています。そうすると、いざという時に助け合えるかなと考える今日この頃です。</p> <p>今年の8月に転居してきました。地域のことはまだほとんど分かりません。市の広報紙などを拝見するくらいです。自分の年齢を考えると(夫婦2人なので)地域で支え合う活動、体制がなければ先々自分が困るだろうとも思います。</p>
ボランティア	<p>あるボランティアをしています。大変良い環境でやりやすいです。それは或る人の一言でした。”仕事がまだあって中々参加が充実出来なくて…””いいのヨ！そんな事気にしないで！ボランティアなのだから出来る時でいいの！”この一言で楽になりました。</p>

	<p>自分は内装業ですが、頼み事が有れば、出来る事が有ればお手伝いしたいと思えます。他にボランティアの事で自分に出来る事が有ればと考えております。</p>
	<p>これから高齢化して行きますが、60、70、80代と若くして元気な人が多い様に思うので、少し代金を自治体が出して自分の地域の事は自分たちでやる。(体の不自由な人のゴミ出しや家の中ではなく、外の掃除、見回りなど)現金ではなく商品券などでもいいのかも知れません。元気な高齢者に仕事をして頂けたらなどと思いました。</p>
	<p>今、福祉関係では有りませんがボランティア活動をしています。3年目になりますがボランティアで有りながらそこに大きな”義務”が発生し少々苦しく思う時もあります。福祉に対してもボランティアで何でも進めようとするボランティアに参加している人が苦しくなるような制度は作って欲しくありません。私自身あと10年経ったら今の様に働けなくなっていた時に安心して制度が利用出来る様になっていると良いと考えます。</p>
	<p>有償のお仕事として週に何日か短時間なら福祉の仕事が出来る方はいらっしやると思うので、無資格者でもお手伝い出来る場があると活躍出来ると思います。地区会館など週に1度でも地域に開放して、気楽に立寄れるお茶飲み場などになれば良いかなと。</p>
福祉全般	<p>障害のある人の就労支援について事業を強力に進めて下さい。</p>
	<p>本当に必要な人に、必要なサービスがいくような、困っているのに声をあげられない人(あげ方がわからない人)に、サポートがいくような、そういう支援体制を作っていただければと思います。</p>
	<p>福祉とは関係ありませんが、ひばりヶ丘北地区に0~5歳児まで入れる認可保育所をお願いします。この地域には保育園は0~2歳児までしかなく大変困っている家族が沢山います。「人に優しい町づくり」の為に宜しくお願い致します。</p>
	<p>子育てを通じて地域に友人が出来ましたが、以前住んで居た(他府県)所より児童館で行われる活動が少なく残念でした。未就園児の時は特に親同士の交流がもっと欲しいし必要だと思うので、週1回くらい同世代の子どもを持つ親が集まれる幼稚園のプレみたいな活動をして欲しかったです。</p>
	<p>障害のある人が医療を受けやすい病院が近くにない。遠方の病院まで通わざるを得ない。介助者がいなくて医療を受けられなくなるのが心配。介助者が体調をくずした時に肢体不自由の子どもを預かってもらえる施設が市内にない。困った時に相談する所が一本化されていないのでどこに声をかけたら速やかに対応していただけるかわからない。</p>

	<p>福祉の話や生活に困った人の話になると女性や高齢者に身体の不自由な人たちにはスポットライトがあたるのに、30～50代くらいの男性(特に独身)で体や心に害するほど働いている人(超過労、長時間労働→不眠で24時間や月350時間くらい仕事で時間を拘束されている人)には最低賃金並の時給位の収入でもある程度、月の給与が出ているとみられるので、相談する場所や仕組みがない。※働けて、収入も出るのだから、自分で何とかしろと周囲にも言われる。実際身体を壊して一か月半休職し、他職場に変わったら収入が月8万円ダウンし手取りで12万円代になってしまい苦しい…。生活保護には収入が無茶をすればあるが、親も高齢で年金などを理由に連帯保証人になれず色々な時に苦勞する。独身男性40代では都営や他県の市営でも入居資格の枠すらない。このままではいずれ住居の行く先もなくなってしまいます。ロストジェネレーションの人たちにもっと光を…。</p>
	<p>買い物や病院に行くと、お年寄りや障がい者の方と一緒にお手伝いをなさっているサポートの方をお見かけします。とてもいいことだと思います。とても住みよくて良い街だと西東京市について思います。</p>
	<p>1人暮らしになり(夫が3月に亡くなったので)生保を受け、生活はできますが、1人暮らし(自立でき生活できる人)の家がなかなかみつからず困っています。都営、西東京地元募集の家も(2人以上)が多く、抽選ではなかなか当たりません。1人暮らしの生活を何かの形で応援していただけたらと思います。ちなみに私は60代です。</p>
	<p>母子家庭とかの子ども、貧しい子ども達が気軽に来れる町食堂をたくさん作り、元気な老人を参加させる。老人にも生きがいや生活リズムが出てくるし、子ども達も元気になる。そういうお手伝いでしたらやりたい。もちろん市の援助がいりますが…。</p>
<p>情報</p>	<p>今回の質問の中で知らなかったことが結構多かった。従って、もっとわかりやすい情報提供方法(例えば、各市への資料配布等)を考えて欲しい。</p> <p>パソコン、スマホの扱えない高齢者にとって市役所からのお知らせ等が詳しくは「ホームページで…」というのは大変困ります。高齢者向けの簡単に扱える連絡方法があれば大変助かるのですが…。</p> <p>「広報西東京」は内容が多すぎて読む意欲が失せてしまう。高齢者に関係がある記事は同じページに載せて下さい。</p> <p>アンケートに答えながら知らない事の方が多かったので驚いてしまいました。駅や商業施設、人目につく場所などに掲示があればもっと情報が得られるかなと思いました。</p> <p>私達若者は地域福祉活動に興味が無いし、かかわる事が面倒くさい。西東京市は年寄りが多いけど、これからの西東京市を活性化するにはSNSやYoutubeなど若者文化を市がもっと学んで発信すべき。熊本市長のツイッターが面白いので是非研究してみてください。</p> <p>何かお役に立てることがあれば積極的に参加したい気持ちがあっても、フルタイムで働いている間は「市報」でさえも読み切れないくらいでした。ご近所のこと、西東京市内のこと、なかなか「知らない」ことが多いです。この一年間は離職して…例えば「田無総合福祉センター」の存在を初めて知りました。私自身の反省でもあります。</p>

	<p>私は3年前に西東京市に移り住みましたが、西東京市の情報や地域の事はもちろん何も入ってくる要素がないせいか、何もわかりません。何かしらの情報を気軽に得ることができるものや事を提供して下さることを願います(貼り紙や声かけなど)。</p> <p>”どんな時に””どんな利用ができるのか”ほとんど分からないので、関心すらなかった様に思います。色々な情報をもっと分かりやすく広めて頂けたらいいのではないかと思います。</p>
道路・交通	<p>東京老人ホームの場所を考えるとバス停が非常に遠いので足の不自由な人は杖をついて歩くのが大変。もっとバスを走らせてほしい。バスの数が少ない(保谷田無町)、学校が多いので道路が狭く、車多くて危険。</p> <p>住みやすい街だと思います。高齢者と子ども達が多いので、安全に暮らすという点で道路の整備に力を注いで欲しい。危険な所は多々あると思うので他の街に比べて街灯が少ないというか暗いと思います。あとは自転車についても考えて欲しいです。利用者が多いのに道が危なくて(狭くて)、車との共存が厳しいと思います。</p> <p>はなバスを良く使わせて頂いています。とても助かっていますが常に混みあっていて妊娠中に上の子とベビーカーが有る時にはベビーカーを支えながら、上の子を抱っこしなければならず、大変でした。乗れずに(満員だった)通過されてしまう事もあり、その後30分以上待つ事もありました。出来れば本数を増やして貰いたいです。</p> <p>交通網の充実。はなバス等の交通手段をもっと増やして欲しい。市役所やメインの道路は整備されているようですが、一步入った、しかも通学通路になっても道はガタガタ、継ぎ接ぎで車イスもスムーズに通れない所が多々有ります。より細やかに整備して欲しい。</p>
マナー	<p>ゴミをすてる場所に決まった曜日以外に捨てる人がいます。必ずゴミは自分でしっかり守って地域を楽しい場所として生活して欲しいと思ってます。</p> <p>近隣の学童が登下校時にあいさつを全くしない子が見受けられる。こちらから積極的にあいさつしても全く反応の無い子がいて、家庭でも学校でも将来社会人になる人ですから今から基本的なマナーを身に付ける必要が有るので皆で励行して行きたい。</p>
市政全般	<p>超高齢社会に突入した現在、自助、共助の重要性を痛感しているが、そのためには健康な高齢者の活動を支援するためのボトムアップの政策は必須と思われます。施策も形骸化したものではなく、実効性のある内容であって欲しい。</p> <p>行政が関わる前に地域の中での解決ができれば1番だと思うがこじれてしまった時は行政の力が必要だと思う。</p> <p>自助と公助と共助。これを明確にした上で、対応策を検討すべきです。時間や資金及び人的資源には限りがあります。それを有効活用するためにも、何をいつまでにどこまでやるかの明確化、見える化が必要だと思いました。施策ありきでは必ず失敗します。</p>
アンケート	<p>コミセンが老若男女が気軽に利用出来るようにする。新聞を置くなど設備、備品の充実。アンケート結果の内容を精査して、実現に向かって改良していく。アンケートの実施だけで終わらせないで欲しい。</p>

	<p>病気や介護などで困っている方達にお聞きすると具体的な事が分かると思います。またいろいろなサービスを利用した人にその都度アンケートに答えてもらうと良いと思う。地域単位子どもが参加できるお祭りなどがあると良いと思う。</p>
	<p>こういったアンケート調査を実施し、住民の声を吸い上げる取り組みは素晴らしいと思います。ですが、話が漠然としすぎて、あまり身近なものと感じることができませんでした。もう少し具体的な内容や具体例を添えて頂けると、回答しやすいのではないかと思います。</p>

地域福祉に関するアンケート調査結果報告書

発行・編集：西東京市健康福祉部生活福祉課

発行年月日：平成30年3月

〒202-8555 東京都西東京市中町1丁目5番1号（保谷庁舎）

電話：042-438-4024（直通）

FAX：042-423-4321